2020
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学短期大学部　2年次

HOKUSHO COLLEGE

令和２年度　北翔大学・北翔大学短期大学　学事日程

月		火		水		木		金		土		日		備考
				4／1		4／2	健康診断	4／3	生涯スポーツ学部オリエンテーション	4／4	健康診断	4／5		
4／6	短期大学部オリエンテーション	4／7	教育文化学部オリエンテーション	4／8	生涯スポーツ学部オリエンテーション	4／9	短期大学部オリエンテーション	4／10	教育文化学部オリエンテーション	4／11		4／12		
4／13	①	4／14	①	4／15	①	4／16	①	4／17	①	4／18		4／19		
4／20	②	4／21	②	4／22	②	4／23	②	4／24	②	4／25		4／26		教育学科養護教諭コース３年次 養護実習：４/10～５/１
4／27	③	4／28	③	4／29	③昭和の日	4／30	③	5／1	③	5／2		5／3	憲法記念日	
5／4	みどりの日	5／5	こどもの日	5／6	振替休日	5／7	④	5／8	④	5／9		5／10		こども学科２年次 教育実習：５/18～６/５
5／11	④	5／12	④	5／13	④	5／14	⑤	5／15	⑤	5／16		5／17		
5／18	⑤	5／19	⑤	5／20	⑤	5／21	⑥	5／22	⑥	5／23		5／24		
5／25	⑥	5／26	⑥	5／27	⑥	5／28	⑦	5／29	⑦	5／30		5／31		
6／1	⑦	6／2	⑦	6／3	⑦	6／4	⑧	6／5	⑧	6／6		6／7		
6／8	⑧	6／9	⑧	6／10	⑧	6／11	⑨	6／12	⑨	6／13		6／14		
6／15	⑨	6／16	⑨	6／17	⑨	6／18	⑩	6／19	⑩	6／20		6／21		健康福祉学科(介護) ４年次 訪問介護実習：６/16～６/26
6／22	⑩	6／23	⑩	6／24	⑩	6／25	⑪	6／26	⑪	6／27		6／28		健康福祉学科(介護) ２年次 介護基礎実習:６/24～26
6／29	⑪	6／30	⑪	7／1	⑪	7／2	⑫	7／3	⑫	7／4		7／5		教育学科養護教諭コース２年次 看護学臨床実習：７月～９月
7／6	⑫	7／7	⑫	7／8	⑫	7／9	⑬	7／10	⑬	7／11		7／12		
7／13	⑬	7／14	⑬	7／15	⑬	7／16	⑭	7／17	⑭	7／18		7／19		
7／20	⑭	7／21	⑭	7／22	⑭	7／23	⑮海の日	7／24	⑮スポーツの日	7／25		7／26		
7／27	⑮	7／28	⑮	7／29	⑮	7／30	補講・試験日(木)	7／31	補講・試験日(金)	8／1		8／2		こども学科２年次 保育実習Ⅰ・Ⅱ（保育所）：８月～９月
8／3	補講・試験日(月)	8／4	補講・試験日(火)	8／5	補講・試験日(水)	8／6		8／7		8／8		8／9		心理カウンセリング学科４年次 精神保健福祉援助実習：８月～９月
8／10	山の日	8／11		8／12		8／13		8／14		8／15		8／16		心理カウンセリング学科３年次 心理実習：８月～９月
8／17		8／18		8／19		8／20		8／21		8／22		8／23		教育学科４年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ ：８/17～８/29
8／24		8／25		8／26		8／27		8／28		8／29		8／30		教育学科３年次
8／31		9／1		9／2		9／3		9／4		9／5	創立記念日	9／6		教育実習Ⅰ(幼･小)： 幼稚園８/24～９/11 小学校 ８月中旬～９月中旬
9／7		9／8		9／9		9／10		9／11		9／12		9／13		健康福祉学科(介護) ３年次 介護実習Ⅱ：８/17～９/25
9／14		9／15		9／16		9／17		9／18		9／19		9／20		健康福祉(他) ３年次･ 健康福祉(介) ４年次 相談援助実習：８/17～９/23
9／21	敬老の日	9／22	秋分の日	9／23		9／24	オリエンテーション	9／25	大学祭準備	9／26	大学祭	9／27		
9／28	①	9／29	①	9／30	① 前学期学位記授与式	10／1	①	10／2	①	10／3		10／4		
10／5	②	10／6	②	10／7	②	10／8	②	10／9	②	10／10		10／11		
10／12	③	10／13	③	10／14	③	10／15	③	10／16	③	10／17		10／18		こども学科２年次 保育実習Ⅰ（施設）：10月～12月
10／19	④	10／20	④	10／21	④	10／22	④	10／23	④	10／24		10／25		
10／26	⑤	10／27	⑤	10／28	⑤	10／29	⑤	10／30	⑤	10／31		11／1		
11／2	⑥	11／3	⑥文化の日	11／4	⑥	11／5	⑥	11／6	⑥	11／7		11／8		
11／9	⑦	11／10	⑦	11／11	⑦	11／12	⑦	11／13	⑦	11／14		11／15		
11／16	⑧	11／17	⑧	11／18	⑧	11／19	⑧	11／20	⑧	11／21		11／22		
11／23	⑨勤労感謝の日	11／24	⑨	11／25	⑨	11／26	⑨	11／27	⑨	11／28		11／29		
11／30	⑩	12／1	⑩	12／2	⑩	12／3	⑩	12／4	⑩	12／5		12／6		
12／7	⑪	12／8	⑪	12／9	⑪	12／10	⑪	12／11	⑪	12／12		12／13		
12／14	⑫	12／15	⑫	12／16	⑫	12／17	⑫	12／18	⑫	12／19		12／20		
12／21	⑬	12／22	⑬	12／23	⑬	12／24		12／25		12／26		12／27		
12／28		12／29		12／30		12／31		1／1	元旦	1／2		1／3		
1／4	11/23の振替休日	1／5		1／6		1／7	⑬	1／8	⑬	1／9		1／10		
1／11	成人の日	1／12	11/３の振替休日	1／13	⑭	1／14	⑭	1／15	⑭	1／16		1／17		
1／18	⑭	1／19	⑭	1／20	⑮	1／21	⑮	1／22	⑮	1／23		1／24		
1／25	⑮	1／26	⑮	1／27	補講・試験日(水)	1／28	補講・試験日(木)	1／29	補講・試験日(金)	1／30		1／31		心理カウンセリング学科３年次 精神保健福祉援助実習：２月～３月
2／1	補講・試験日(月)	2／2	補講・試験日(火)	2／3		2／4		2／5		2／6		2／7		心理カウンセリング学科２年次 心理実習：２月～３月
2／8		2／9		2／10		2／11	建国記念の日	2／12		2／13		2／14		教育学科３年次 保育実習Ⅰ(保育所)：２/８～２/20
2／15		2／16		2／17		2／18		2／19		2／20		2／21		健康福祉学科(介護) ２年次 介護実習Ⅰ：２/15～３/12
2／22		2／23	天皇誕生日	2／24		2／25		2／26		2／27		2／28		
3／1		3／2		3／3		3／4		3／5		3／6		3／7		教育学科３年次 保育実習Ⅰ(施設)：３/１～３/13
3／8		3／9		3／10		3／11		3／12		3／13		3／14		
3／15		3／16		3／17		3／18	学位記授与式	3／19		3／20	春分の日	3／21		
3／22		3／23		3／24		3／25		3／26		3／27		3／28		
3／29		3／30		3／31										

※　備考欄の実習日程については、変更になる場合があります。

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2020（令和２）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。
授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

・授業のねらい
・到達目標
・授業計画
・準備学習の内容（事前・事後の学習）
・使用するテキスト（教科書）や、参考書
・成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
・質問への対応（連絡先など）
・その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。○○発表会、○○報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（３人から６人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返り	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実に起こる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

短大共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 2年次 前	2年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
健康体育（実技を含む）	講義・実技		2	花井篤子		ライフデザイン学科こども学科同時展開		1
				長尾明也				
				畠山孝子				
こどもと安全	講義		2	菊地達夫			[こ]保育士_選択	2
外国の歴史と文化	実習	2		担当教員	○	集中講義		3

《免許・資格欄表記》［こ］：こども学科
実務経験欄：実務経験のある教員等による授業科目に該当する科目

ライフデザイン学科　学科専門科目　コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 2年次 前	2年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
基礎ユニット群								
韓国語	講義	2		田光子				5
中国語	講義	2		田恩蘋				6
ドイツ語	講義	2		菊地達夫				7
フランス語	講義	2		江口修				8
スペイン語	講義	2		林田智子				9
ライフデザインユニット群								
専門ゼミⅠ	演習	②		担当教員				10
専門ゼミⅡ	演習		②	担当教員				11
油彩	演習	2		林亨				12
ファッションとリフォーム	実習		1	加藤万紀	○			13
チームビルディングゲーム	実技	1		平井伸之 田光子 村松幹男				14
インターンシップⅡ	演習	2		田口智子	○	集中講義		15

ライフデザイン学科　学科専門科目　コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 2年次 前	2年次 後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
キャリアデザインコースユニット群								
会計学	講義		2	湯澤直樹				16
企業と経営	講義	2		田口智子	○			17
現代と経済	講義	2		簇本智之				18
エコと経済	講義	2		湯澤直樹				19
秘書実務Ⅱ	講義・実習	2		田口智子	○	含実習		20
ビジネス関連法規Ⅰ	講義	2		倉本英明				21
ビジネス関連法規Ⅱ	講義		2	倉本英明				22
マネジメントゲーム	演習	2		簇本智之		集中講義		23
ファッション舞台アートコースユニット群　ファッションユニット群								
メイクアップ演習(ネイルアートを含む)	講義・演習		2	二橋絵美 小笠原諒				24
テキスタイル	実習	1		大信田静子				25
ドレーピング	実習	1		加藤万紀				26
キッズファッション	実習	1		大信田静子				27
ファッション論(服飾文化史を含む)	講義		2	加藤万紀				28
ファッション造形実習Ⅲ	実習	2		加藤万紀	○			29
ファッション造形実習Ⅳ	実習		2	大信田静子				30
ファッションデジタルアート	実習		1	大信田静子				31
アクセサリークラフトB	実習		1	辻美恵子				32
ショップディスプレイ	実習	2		早坂眞梨子	○			33
ステージプランニング実習	実習		1	端谷真子		札幌円山キャンパス実施科目 集中講義		34

ライフデザイン学科　学科専門科目　コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 2年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
ファッション舞台アートコースユニット群　舞台芸術ユニット群								
ラジオ・ドラマ製作	演習	2		平井伸之		一部集中講義		35
				田光子				
				村松幹男				
				冨井昭次	○			
特殊効果	演習		2	吉田ひでお	○	札幌円山キャンパス実施科目		36
舞台芸術研修	演習	2		村松幹男		集中講義		37
				田光子				
				平井伸之				
舞台装置入門(舞台デッサンを含む)	演習	2		福田恭一	○	札幌円山キャンパス実施科目		38
舞台木材道具製作演習	演習	2		平井伸之		一部集中講義		39
				村松幹男				
				福田恭一	○			
舞台映像編集	実習	1		森井綾	○			40
ファッション舞台アートコースユニット群　舞台芸術ユニット群								
舞踊研究	実習		1	村松幹男		札幌円山キャンパス実施科目		41
				田光子				
				平井伸之				
身体表現	実技	1		村松幹男		札幌円山キャンパス実施科目		42
				田光子				
				平井伸之				
照明・音響実習Ⅰ	実習	1		村松幹男		札幌円山キャンパス実施科目		43
				田光子				
				平井伸之				
				鈴木静悟	○			
				冨井昭次	○			
				服部正巳	○			
				干場美恵子	○			
				百瀬俊介	○			
照明・音響実習Ⅱ	実習		1	村松幹男		札幌円山キャンパス実施科目		44
				田光子				
				平井伸之				
				鈴木静悟	○			
				冨井昭次	○			
				服部正巳	○			
				干場美恵子	○			
				百瀬俊介	○			

こども学科　学科専門科目　コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次・単位数 2年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許・資格	ページ
器楽応用	実技	1		橋本卓三			[こ]幼・小2種_必修、保育士_必修	45
				石田敏明				
				浅沼恵輔				
				砂田眞理子				
				中川洋子				
				中島幸治				
				村上秀子				
こどものファッション	演習		2	大信田静子			[こ]保育士_選択	46
こどもと野外活動	演習		2	類家斉	○	集中講義	[こ]幼2種_選択、保育士_選択	47
				太田俊一	○			
赤ちゃん学	講義	2		中島啓子	○		[こ]保育士_選択	48
総合実践演習	演習		2	橋本卓三			[こ]保育士_選択	49
				石田敏明				
幼児身体教育学	演習		2	長尾明也			[こ]保育士_選択	50
応用教育セミナーⅠ	講義	2		担当教員				51
応用教育セミナーⅡ	講義		2	担当教員				52
保育士関連科目								
こども家庭支援論	講義		2	中島啓子	○		[こ]保育士_必修	53
こども家庭支援の心理学	講義	2		松田久美			[こ]保育士_必修	54
こどもの理解と援助	演習	1		清水桂子	○		[こ]保育士_必修	55
保育の計画と評価	講義	2		小林美花	○		[こ]保育士_必修	56
乳児保育Ⅱ	演習	1		小林美花	○		[こ]保育士_必修	57
こどもの健康と安全	演習	1		小林八重子	○		[こ]保育士_必修	58
障害児保育	演習	2		渡辺泰行	○		[こ]保育士_必修	59
子育て支援	演習		1	西原真由美			[こ]保育士_必修	60
保育実習Ⅰ	実習	4		保田真希		学外実習	[こ]保育士_必修	61
				小林美花	○	集中講義		
				清水桂子				
保育実習指導ⅠB	演習		1	保田真希			[こ]保育士_必修	62
				小林美花	○			
				清水桂子	○			
保育実践演習	演習		2	小林美花	○		[こ]保育士_必修	63
				入江彩子				
				中島啓子	○			
				保田真希				
現代こども学	講義		2	菜原桂子	○	保育コース必修科目	[こ]保育士_選択	64
保育実習Ⅱ	実習	2		小林美花	○	学外実習	[こ]保育士_選必	65
				清水桂子	○	集中講義		
				保田真希				

こども学科　学科専門科目　コース共通科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
保育士関連科目								
保育実習Ⅲ	実習	2		保田真希		学外実習	[こ]保育士_選必	66
				小林美花	○	集中講義		
				清水桂子	○			
保育実習指導Ⅱ	演習	1		小林美花	○		[こ]保育士_選必	67
				清水桂子	○			
				保田真希				
保育実習指導Ⅲ	演習	1		保田真希		集中講義	[こ]保育士_選必	68
				小林美花	○			
				清水桂子	○			
幼稚園教諭関連科目								
幼児理解の理論と方法	講義		2	松田久美			[こ]幼2種_必修	69
保育士・幼稚園教諭関連科目								
保育内容人間関係	演習	2		菜原桂子	○		[こ]幼2種_選必、保育士_必修	70
保育内容健康	演習		2	小林八重子	○		[こ]幼2種_選必、保育士_必修	71
幼稚園・小学校教諭関連科目								
教育課程論	講義	2		高橋さおり			[こ]幼·小2種_必修	72
教育実習講義Ⅱ	講義	2		菜原桂子	○		[こ]幼·小2種_必修	73
				長尾明也	○			
				中島啓子	○			
				松田久美	○			
教育実習	実習	4	4	菜原桂子	○	事後指導を含む学外実習 集中講義	[こ]幼·小2種_必修	74
				長尾明也				
				中島啓子				
				松田久美				
教職実践演習（幼·小）	演習		2	松田久美	○		[こ]幼·小2種_必修	75
				荒川巌	○			
				高橋さおり	○			
				類家斉	○			

こども学科　学科専門科目　コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業形態	年次·単位数 2年次 前	後	教員名	実務経験	展開他	免許·資格	ページ
保育コース								
こどもの遊び論	演習	2		長尾明也		保育コース必修科目		76
こどもの表現遊び研究	演習	2		清水桂子	○			77
こどもの造形遊び研究	演習	2		入江彩子				78
こどもの運動遊び研究	演習	2		大宮真一				79
音楽コース								
こどものリズム表現Ⅱ	演習		2	武井歌織	○		[こ]リトミック幼·保1級_必修	80
音楽療法概論	演習	2		澤田悦子		音楽コース必修科目		81
音楽療法演習	演習		2	澤田悦子		音楽コース必修科目		82
こどものうた研究	演習	2		橋本卓三				83
				石田敏明				
こどもの合奏研究	演習	2		石田敏明				84
				橋本卓三				
こどもの音楽研究	演習	2		橋本卓三				85
				石田敏明				
教育コース　小学校教諭関連科目								
小学校英語	講義	1		類家斉	○	教育コース必修科目	[こ]小2種_必修	86
国語科指導法	講義	2		高橋さおり			[こ]小2種_選必	87
社会科指導法	講義	2		菊地達夫			[こ]小2種_選必	88
算数科指導法	講義	2		荒川巌	○		[こ]小2種_選必	89
理科指導法	講義	2		類家斉	○		[こ]小2種_選必	90
				太田俊一	○			
生活科指導法	講義	2		菊地達夫			[こ]小2種_選必	91
音楽科指導法	講義	2		石田敏明			[こ]小2種_選必	92
				橋本卓三				
図画工作科指導法	講義	2		入江彩子			[こ]小2種_選必	93
家庭科指導法	講義	2		角田成子	○		[こ]小2種_選必	94
体育科指導法	講義	2		長尾明也	○		[こ]小2種_選必	95
英語科指導法	講義	1		類家斉	○	教育コース必修科目	[こ]小2種_選必	96
生徒指導(進路指導を含む)	講義	2		荒川巌	○		[こ]小2種_必修	97
小学校教育授業研究	講義		2	高橋さおり				98
				荒川巌	○			
				菊地達夫				
				類家斉	○			

短 期 大 学 部
共 通 科 目

科目名	健康体育(実技を含む)	授業形態	講義・実技	単位数	2
教員名	花井　篤子、長尾　明也、畠山　孝子				

授業の目的

ねらい

運動不足や身体の不活動が健康に悪影響を与え、適度な運動が健康の維持・増進に不可欠であるということは周知の事実です。本授業では、健康を目的とした運動の果たす役割について、運動の理論から実技までを幅広く学びます。
運動が心や身体に与える影響、生涯にわたる健康づくりのあり方(生涯スポーツとしての運動)やその意義について学習します。
具体的には、運動の原則や健康づくりのための運動プログラムの紹介、運動処方の考え方などの内容に加えて、障害者スポーツの紹介、女性とスポーツの現状、肥満や腰痛改善のための運動処方などのテーマに沿って学びます。

到達目標

(1)健康運動を実践する上での基礎知識を修得する。
(2)実技では球技の基礎的技能を習得し、健康づくりのための運動方法の学習と体験をする。
(3)講義と実技を通して、健康生活のための安全で、有効な運動の必要性を理解する。
(4)トレーニングの基本について理解を深める。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の概要の説明と、グループ分け後、移動して実技を実施する。(実技：花井篤子・畠山孝子・長尾明也) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておく。健康体育を実践するうえでの基礎知識を予習しておく。	E	第13回	【テーマ】バドミントン3 【計画内容】試合運営と審判法を学ぶ。(畠山孝子) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をする。	E、L
第2回	【テーマ】バレーボール1 【計画内容】バレーボールの基礎技術を学ぶ。(長尾明也) 【授業時間外の学修内容】バレーボールのルールを理解しておく。	E、L	第14回	【テーマ】バドミントン4 【計画内容】リーグ戦。(畠山孝子) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をする。	E、L
第3回	【テーマ】バレーボール2 【計画内容】バレーボールの試合運営を学ぶ。(長尾明也) 【授業時間外の学修内容】バレーボールのルールを理解しておく。	E、L	第15回	【テーマ】バドミントン5 【計画内容】リーグ戦。(畠山孝子) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をする。	E、L
第4回	【テーマ】バスケットボール1 【計画内容】バスケットボールの基礎技術を学ぶ。(長尾明也) 【授業時間外の学修内容】バスケットボールのルールを理解しておく。	E、L	第16回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の概要と講義ふり返りレポートについて説明する。(講義：花井篤子) 【授業時間外の学修内容】健康の定義について調べてくること。	A
第5回	【テーマ】バスケットボール2 【計画内容】バスケットボールの試合運営を学ぶ。(長尾明也) 【授業時間外の学修内容】バスケットボールのルールを理解しておく。	E、L	第17回	【テーマ】健康の果たす役割とその意義 【計画内容】健康の果たす役割とその意義について学び、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】健康の必要性について調べる。	A、G、L
第6回	【テーマ】体力測定 【計画内容】体力測定を行い、現在の体力レベルを把握する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】体力測定項目の予習をしておくこと。	E、L	第18回	【テーマ】健康づくりのための運動の理論と実際 【計画内容】健康づくりのための運動の理論と実際について学び、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L
第7回	【テーマ】ストレッチングと筋力トレーニング 【計画内容】ストレッチングと筋力トレーニングの方法を学び、実践する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】ストレッチングと筋力トレーニングの内容について予習をしておくこと。	E	第19回	【テーマ】障害者とスポーツ 【計画内容】障害者とスポーツの問題点について学び、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L
第8回	【テーマ】ニュースポーツ(キンボール) 【計画内容】キンボールを使った運動を学び、実践する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】キンボールのルールについて予習をしておくこと。	E	第20回	【テーマ】女性とスポーツ 【計画内容】女性とスポーツの問題点について学び、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L
第9回	【テーマ】調整力トレーニング1 【計画内容】Gボールを利用したエクササイズや調整力トレーニングの実施方法を学び、実践する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】調整力について予習をしておくこと。	E	第21回	【テーマ】こどもとスポーツ 【計画内容】発育発達を考慮した子供とスポーツの関係について学び、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L
第10回	【テーマ】調整力トレーニング2 【計画内容】ラダーやゴムボールを利用した調整力トレーニングの実施方法を学び、実践する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】調整力について復習をしておくこと。	E	第22回	【テーマ】アクアフィットネス、まとめ及びレポート課題の提示 【計画内容】アクアフィットネスの概念と生涯スポーツについて学ぶ。また、これまでの講義のまとめを行い、レポート課題を説明し、講義内容をふり返り、レポートを作成する。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】前回の講義の復習をする。	A、G、L
第11回	【テーマ】バドミントン1 【計画内容】サービスとストロークの技術を習得する。(畠山孝子) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をする。	E、L	第23回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】健康体育のまとめと振り返りを行う。(花井篤子) 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習し、理解しておくこと。	G、L
第12回	【テーマ】バドミントン2 【計画内容】応用技術と試合運営の方法を学ぶ。(畠山孝子) 【授業時間外の学修内容】前回の復習をする。	E、L			

テキスト	適宜プリントを配付します
参考書	2016年、新版『生涯スポーツと運動の科学』、市村出版

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		70%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	
実務経験と授業の関連	経験内容： 科目との関連：
質問への対応	授業時に説明します。
資格	
その他	成績は実技と講義の参加意欲及び授業態度とレポート課題を総合的に判断し評価します。 北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。

科目名	こどもと安全	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地　達夫				

授業の目的

ねらい	本科目では、こどもの安全に関する内容について、保育者・教育者、保護者(成人)として、どのように情報収集、情報理解し、どのように役立てるべきか、学習します。また、保育士養成課程では、保育所保育指針解説書の(2)事故防止及び安全対策を中心とした内容に含まれます。
到達目標	(1)身近な地域について、どのように危険な情報を収集すべきか理解できる。 (2)身近な地域の交通安全、防犯、防災について理解できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義計画、成績評価方法、参考文献などについて説明します。 【授業時間外の学修内容】今年生じた「こどもへの犯罪」について、情報収集しておくこと。	A	第9回	【テーマ】犯罪対策⑤(自宅 / 訪問者) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K
第2回	【テーマ】危険な場所・場面の情報収集の方法 【計画内容】身近な地域における危険な情報収集のあり方を学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】犯罪対策⑥(商業施設 / 迷子) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K
第3回	【テーマ】危険な場所・場面の認識 【計画内容】身近な地域における危険な場所・場面の傾向について学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K	第11回	【テーマ】防災①(地震災害 / 学校) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K
第4回	【テーマ】危険な場所・場面の内容 【計画内容】身近な地域における危険な場所・場面の内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K	第12回	【テーマ】防災②(地震災害 / 自宅) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K
第5回	【テーマ】犯罪対策①(学校 / 侵入者) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K	第13回	【テーマ】防災③(気象災害) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K
第6回	【テーマ】犯罪対策②(校庭 / 侵入者) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの学習を振り返り、重点内容の理解について確認します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない学習内容についてよく復習しておくこと。	L
第7回	【テーマ】犯罪・安全対策③(通学路 / 歩行者) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K	第15回	【テーマ】まとめと整理・応用 【計画内容】これまでの学習を振り返り、重点項目の理解について再確認します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない学習内容についてよく確認しておくこと。	L
第8回	【テーマ】犯罪・安全対策④(通学路 / 車) 【計画内容】具体的な事例場面を通じて、思考しながら学びます。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K			

テキスト	必要に応じてプリントを使用します
参考書	厚生労働省編、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 渡邉正樹、2007年、『子どもの危険予測・回避能力』、光文書院 渡邉正樹編、2013年、『新しい防災教育』、光文書院

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		30%		20%	
補足	第14回の一部内容として実施					

課題に関するフィードバックの方法	授業課題は、返却時に講評等を行う。

実務経験と授業の関連

経験内容	
科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[こ]保育士_選択
その他	身近な交通事故、犯罪、自然災害に関するニュース(とくに、こども)には、注目しておくこと。

科目名	外国の歴史と文化	授業形態	実習	単位数	2
教員名	担当教員				

授業の目的		
	ねらい	外国を訪問し現地の人々との交流を通して、我々とは異なる文化や習慣を持つ人々から学ぶことで、グローバルな視野を獲得して、21世紀の社会人として成長することを目的とします。
	到達目標	(1)訪問国・地域の歴史や文化について理解を深めることで、多様な理解と広い視野を獲得する。 (2)外国の歴史や文化を日本と対比しながら、日本人としての自覚を持てるようになる。 (3)研修への参加目的を明確に設定し、主体的に事前学習および現地研修に取り組みことで個々人の目標を達成する。 (4)集団行動における他者尊重と協調性を養うことで、責任を持ってお互いに協力し合うことができる。 (5)現地の人々との交流を通して、積極的なコミュニケーションにチャレンジする。

授業の計画	
【計画内容】 【多文化理解体験研修　5～6日間】 実施時期は未定です。(これまでに研修訪問した国 : フィリピン、台湾、シンガポール、韓国、アメリカ、カナダ、フランス、イギリス)研修のテーマは訪問国や地域により毎年変わります。詳細が決定しましたら、学生ポータルサイト、学内掲示などでお知らせがあります。	A
(1)オリエンテーション	F
(2)参加目的と研修に対する意欲を発表するプレゼンテーション	H、J、N
(3)事前学習(参加者それぞれの参加目的を明確にし、研修中のアクティビティの選定、交流内容の計画と準備)	A、H、J
(4)事前学習(歴史、地理、文化など、訪問国の調査・学習)	M
(5)現地施設での交流授業実施と交流(指導案作成、教材準備、授業準備とリハーサル)	M
(6)地元住民との交流を通した文化体験	K
(7)帰国後レポートの作成(研修の成果、参加目的の達成度を明らかにする)	F
(8)帰国報告会での発表	
＊各回を通じて、自分の達成したい目標を設定し、実現に向けて準備を重ねていきます。研修テーマに沿った現地での滞在行動や交流の内容について、参加者間で話し合い、準備を進めていきます。 ＊現地の学校で児童・生徒と交流授業が可能である場合は、事前に授業の目的や展開方法を指導案としてまとめます。 【授業時間外の学修内容】滞在中の研修日程、実施内容などは研修参加者と一緒に企画します。その準備に十分な時間をかけるため、継続的な勉強会を実施します。	

テキスト	プリントを配付します
参考書	オリエンテーション時にお知らせします

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		40%	10%
	補足			交流企画準備、報告書作成		主体性、積極性、貢献度	帰国後の報告会

課題に関するフィードバックの方法	参加者同士が積極的なグループディスカッションに参加し、話し合いの中で研修内容の計画を立てて準備していきます。担当教員による解説や必要に応じて訪問予定国出身の外国人をゲスト講師としてお招きして理解を深めます。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	海外研修に関するお問い合わせは、学生生活支援オフィスまでどうぞ。
資格	
その他	募集参加人数に満たない場合または、世界情勢等の理由により催行されないことがあります。現地の事情により研修内容が変更されることがあります。事前と事後の学習時間、研修準備などを研修自体に含めると15回分の参加が求められます。観光を目的としたツアー旅行ではありません。

ライフデザイン学科
学 科 専 門 科 目

科目名	韓国語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	田　光子				
授業の目的	ねらい	韓国語は、日本語とほぼ同じ語順で、日本人にとって最も習得しやすい言語と言えます。初めは文字と発音を習熟し、それと同時に、簡単なあいさつや会話文など実用性に重点をおきます。また視聴覚教材を通して、韓国の文化や風習に触れながら、韓国語に慣れ親しみ学んでいきます。				
	到達目標	(1)韓国語の文字と発音を習得する。 (2)韓国語であいさつや自己紹介ができる。 (3)韓国語で名前や自己紹介文が書ける。 (4)韓国語で簡単な会話ができる。 (5)韓国の文化･風習などについて理解する。				

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業ガイダンスと自己紹介 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義展開、成績評価方法、参考文献などについて説明する。 【授業時間外の学修内容】韓国語や韓国について調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】買い物会話と短文作り 「～をください」 【計画内容】買い物会話の短文を作る。ハングル表記の文を読んでみる。 【授業時間外の学修内容】自己紹介文の提出とハングル表記を読むことで文字に慣れるようにする。複合母音を復習しておく。	A、B、N
	第2回	【テーマ】文字(ハングル)の成立 【計画内容】韓国および文字の成り立ちについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習し、教科書を準備して読んでおく。	A	第10回	【テーマ】終声と漢数詞 「これいくらですか」 【計画内容】終声の発音と文字について学び、漢数詞を覚えて買い物のロールプレイを行う。 【授業時間外の学修内容】既習文字と発音を必ず復習し、習得する。	A、B、N
	第3回	【テーマ】基本母音 【計画内容】母音の発音と文字について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】基本母音について教科書を読み、書く練習をしておくこと。	A	第11回	【テーマ】連音とK-POP 「韓国の歌を歌ってみよう」 【計画内容】連音について学ぶ。K-POP(韓国の歌)で聞き取りと読み方を練習する。 【授業時間外の学修内容】終声と漢数詞を復習しておく。	A、B
	第4回	【テーマ】基本子音と教室内用語 【計画内容】子音の発音と文字について学び、教室内用語を覚える。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習し、基本子音について教科書を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】平音の濃音化･鼻音化･流音化 「韓国語は読めるかな？」 【計画内容】平音の濃音化、鼻音化、流音化について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】終声･漢数詞･連音の韓国語を読めるようにする。	A
	第5回	【テーマ】発音･単語の確認と挨拶 【計画内容】発音を完全マスターして、単語や挨拶を覚える。 【授業時間外の学修内容】基本母音と子音の発音と文字を完全に覚えて書けるようにしておくこと。	A	第13回	【テーマ】韓国文化の理解(韓国映画など) 【計画内容】韓国映画で文化や風習について理解する。単語の聞き取り練習。感想文を書く。 【授業時間外の学修内容】日韓の文化の違いなど、感想文を提出する。	A、B
	第6回	【テーマ】激音と体の部位について 【計画内容】激音の発音と文字について学び、体の部位について知る。 【授業時間外の学修内容】単語やあいさつを復習し、発音できるようにしておくこと。	A	第14回	【テーマ】「あります / います、ありません / いません、します」の活用法 【計画内容】存在詞と動詞「する」の活用を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】既習した全ての文字や発音を復習し、スムーズに読み書きができるようにしてくる。	A
	第7回	【テーマ】濃音 【計画内容】濃音の発音と文字について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】復習し、激音の発音と文字を完全習得すること。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】文字の成立、発音、単語、文法事項、挨拶などについて振り返り、確認する。 【授業時間外の学修内容】既習の単語や挨拶、自己紹介を復習し、読み、書き、話せるようにする。	A、L
	第8回	【テーマ】複合母音とハングル表記 「韓国語で名前を書こう」 【計画内容】複合母音の発音と文字について学び、韓国語で名前を書いてみる。 【授業時間外の学修内容】復習し、濃音の発音と文字を完全習得する。自己紹介文を書いてみる。	A			

テキスト	木内明、2013年、『基礎から学ぶ韓国語講座初級改訂版』、国書刊行会、9784336057501
参考書	2002年、『朝鮮語辞典』、小学館

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	60%		10%		10%	20%
	補足			レポートなど			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	講義内において随時受け付けます。E-Mail:chun@hokusho-u.ac.jp(田光子 :641研究室) 講義前後に対応します。
資格	
その他	遅刻･欠席はしないこと。私語は慎み恥ずかしがらずに発音し、積極的に参加してくれることを望みます。

科目名	中国語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	田　恩蘋				
授業の目的	ねらい	この科目では、中国語の基礎となる発音から始め、挨拶や日常会話などの基礎を学びます。また、語学学習を通して中国の文化や流行を紹介し、中華圏の文化理解を深めます。			
	到達目標	(1)中国語の発音、ピンインや漢字の表記、基礎文法が理解できる。 (2)中国語の基本的な挨拶、自己紹介等のよく使われる会話表現を実践できる。 (3)中華圏の文化について理解できる。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】全15回の授業展開や成績評価方法、教科書や注意事項について説明します。中国語の声調と発音について紹介します。 【授業時間外の学修内容】授業内で配付された資料を復習し、教科書のレッスン1を読んでくること。	A	第9回	【テーマ】基礎文法(肯定形、否定形、疑問形) 【計画内容】中国語の肯定と否定、何、なぜ、どこ、どうしてなどの疑問形を使った文法を学び練習します。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。	A、H、K、N
	第2回	【テーマ】発音基礎(1)基本的な挨拶 【計画内容】母音(単母音、二重母音、三重母音)、声調変化とピンイン表記について解説し、中国語の「おはよう」「こんにちは」などの日常生活で頻繁に使用する挨拶語を学びます。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ声調、発音、単語を復習すること。	A、H、K、N	第10回	【テーマ】基礎会話応用(1) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、休日の過ごし方をテーマに会話を練習します。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。	A、H、K、N
	第3回	【テーマ】発音基礎(2)基本的な挨拶 【計画内容】子音(「唇音」、「舌尖音」、「舌根音」、「舌面音」、「そり舌音」、「舌歯音」)、声調変化とピンイン表記について解説し、日常生活で頻繁に使用する挨拶語を学びます。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ声調、発音、単語を復習すること。	A、H、K、N	第11回	【テーマ】基礎会話応用(2) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、電話での会話を練習します。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。	A、H、K、N
	第4回	【テーマ】基礎会話(自己紹介) 【計画内容】中国語を使った自己紹介を学びます。中国語の「自分の名前、国籍の言い方」を学びます。疑問文を使った簡単な日常会話文を作成し練習します。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ会話、単語を使ってお互いに自己紹介ができるようにしておくこと。	A、H、K、N	第12回	【テーマ】基礎会話応用(3) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、アルバイト先での接客時の会話を練習します。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。	A、H、K、N
	第5回	【テーマ】基礎会話(コンビニ) 【計画内容】疑問文を使った簡単な日常会話をコンビニでの買い物を例に練習します。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ声調、単語に加え、会話文を練習しておくこと。	A、H、K、N	第13回	【テーマ】基礎会話応用(4) 【計画内容】これまで学んだ中国語を使って、買い物時の会話を練習します。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ会話、単語を覚えること。	A、H、K、N
	第6回	【テーマ】基礎会話(食事) 【計画内容】中国語の食事に関する会話を学生食堂やレストランを例に練習します。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ声調、単語に加え、会話文を練習しておくこと。	A、H、K、N	第14回	【テーマ】これまでのおさらい 【計画内容】基礎会話応用で学んだ言い回し、単語、文法などを確認するための復習をします。 【授業時間外の学修内容】これまでに学んだ発音、文法、単語や会話を復習しておくこと。	F、K、L、N
	第7回	【テーマ】基礎会話(時間の表現) 【計画内容】中国語の年月、曜日の言い方を学びます。 【授業時間外の学修内容】今回の講義で学んだ声調、単語に加え、会話文を練習しておくこと。	A、H、K、N	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでに学んだ文法、会話用語などを確認のために最終発表会を行い講評します。 【授業時間外の学修内容】本科目で学んだことをまとめ、今後、興味があればさらに語学学習を継続してみてください。	A、K、L
	第8回	【テーマ】これまでのおさらい 【計画内容】これまで学んだ発音、文法、挨拶用語などを確認するための発表を行います。 【授業時間外の学修内容】ここまでに学んだ発音、文法、単語や会話を復習しておくこと。	F、K、L、M			

テキスト	工藤真理子、2017年、『ここから 中国語』、白帝社、9784863982598
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%	40%			30%	
	補足	平時	口述発表(期末)			平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	この科目に関する質問は、授業時間前後または、芸術学科浅井先生までメール、直接お問い合わせください。 E-Mail(浅井):takaya@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	語学の学習は日々の積み重ねが重要になるため、遅刻や欠席は評価に大きく影響します。いちじるしく遅刻や欠席が目立つ学生は、単位認定しません。詳細については、第1回のオリエンテーション時に説明します。

科目名	ドイツ語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地　達夫				

授業の目的

ねらい	「ドイツ語」では、初歩的な文法の一部を取り上げて学習します。また、文法学習を通じて、簡単な挨拶などを取り入れ、ドイツ語圏の生活・文化について理解を深めます。
到達目標	(1)初歩的な文法事項の一部(動詞と名詞)について理解できる。 (2)簡単な挨拶などについて理解できる。 (3)ドイツ語圏の生活・文化について理解できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらい、到達目標、講義計画、成績評価方法、指定教科書、参考文献について説明します。 【授業時間外の学修内容】ドイツ語(アルファベート)と英語(アルファベット)の違い、ドイツ語圏の範囲を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】名詞の学習2(定冠詞と不定冠詞) 【計画内容】定冠詞と不定冠詞を学習します。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第2回	【テーマ】アルファベートの学習 【計画内容】文字を確認しながら、アルファベートの発音について学習します。 【授業時間外の学修内容】アルファベート・発音を確認しておくこと。	L	第10回	【テーマ】名詞の学習3(複数形) 【計画内容】複数形を学習します。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第3回	【テーマ】挨拶と数詞・曜日 【計画内容】基本となる簡単な挨拶と数詞・曜日を学習します。 【授業時間外の学修内容】挨拶と数詞・曜日について確認しておくこと。	A、K、L	第11回	【テーマ】名詞の学習4(冠詞類) 【計画内容】冠詞類を学習します。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第4回	【テーマ】動詞の学習1(現在人称変化及び人称代名詞) 【計画内容】現在人称変化及び人称代名詞を学習します。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L	第12回	【テーマ】動詞学習のまとめ 【計画内容】動詞学習について確認します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない文法事項についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第5回	【テーマ】動詞の学習2(現在人称変化(不規則)と語順) 【計画内容】現在人称変化(不規則)と語順を学習します。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L	第13回	【テーマ】名詞学習のまとめ 【計画内容】名詞学習について確認します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない文法事項についてよく復習しておくこと。	A、K、L
第6回	【テーマ】動詞の学習3(現在人称変化(不規則)) 【計画内容】現在人称変化(不規則)を学習します。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの文法事項を確認します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない文法事項についてよく確認しておくこと。	K
第7回	【テーマ】動詞の学習4(命令形) 【計画内容】命令形を学習します。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L	第15回	【テーマ】まとめと応用 【計画内容】今後のドイツ語学習(独学)の方法について説明します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない文法事項についてよく確認しておくこと。	A
第8回	【テーマ】名詞の学習1(数・性・格支配) 【計画内容】数・性・格支配を学習します。 【授業時間外の学修内容】学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K、L			

テキスト	講義時に説明します
参考書	山本明・古賀允洋、2004年、『教室と自修のためのドイツ語入門』、同学社、4810200272 秋田静男ほか、2012年、『ドイツ語インフォメーション neu2』、朝日出版社

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		30%		20%	
補足			復習問題			

課題に関するフィードバックの方法	授業課題は、返却時に講評等を行う。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に説明します。	
資格		
その他	履修者の登録状況によって、講義計画・展開方法が変わる場合があります。 課題の結果等は、返却時に講評・解説を行います。	

科目名	フランス語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	江口　修				

授業の目的		
	ねらい	オリンピックの競技や開･閉会式を聞いていると英語と開催国の言葉以外に聞こえるアナウンス言語がありますね。そうですフランス語です。IOC 本部はスイスにあります。それもスイス･ロマンドと呼ばれるフランス語圏のローザンヌです。EU 本部もブリュッセルにありますが、ベルギーの公用語の一つはフランス語です。そしてヨーロッパの女性のかなりの人が英語よりもフランス語を上手に話します。英語以外にもうひとつは、英語よりも愛せる言葉があるかもしれない？と思っている人は教室に来てください。
	到達目標	(1)看板やメニューのフランス語を発音できるようになろう！ (2)パリのスーパーではなく広場の市場で買い物ができるようになろう！ (3)カフェやレストランで注文できるようになろう！ (4)パリの名所を正しく発音しよう、そしてその歴史を理解しよう！ (5)目指せ仏検4級チャレンジ！

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業の構成を説明します。 【授業時間外の学修内容】配付資料をよく読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】この世は「所有」の世界だ、みんなの「もの」ってそう多くはない。「誰の？」って大事だ！ 【計画内容】所有を表すにはどんな手段があるか？代名詞になったとたんにパニックになる人がいる。日本語では平気で言いまくっているのにも関わらず。 【授業時間外の学修内容】配付プリント6)をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A
	第2回	【テーマ】アルファベットではなく「アルファベ」、字母の確認と呼び方そして綴りと発音の関係 【計画内容】英語との字母の呼び方が違うことを意識的に理解する。スマホでキーボードに慣れてる人が多いことを前提にパソコンキーボードのフル活用を目指して仏語入力へのチャレンジ開始！ 【授業時間外の学修内容】授業で紹介した音源をダウンロードし聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B	第10回	【テーマ】真面目に「動詞」を「どうぞ」 【計画内容】フランス語の動詞も「つまずき」の大きな原因だ。集中、集中！といっても単調な暗記作業は眠りを誘うね。どうしたら目を開け続けることができるのか、永遠の課題だ。 【授業時間外の学修内容】配付プリント7)をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第3回	【テーマ】あいさつができるようになろう！ 【計画内容】外国語の第一歩、人とつながるためにはなによりも「挨拶」！笑顔で「ボンジュール！」と言えるようになろう。 【授業時間外の学修内容】配付プリント1)をダウンロードした音源を聞きながらできれば実際に口にしてみよう。	A、B	第11回	【テーマ】もう一つ絶対に使えるようにならなければならない動詞がある 【計画内容】ここをクリアできれば、といつも思っているもう一つの障害ともなる動詞「avoir」さあ自分で自分の脳にムチ入れてひと頑張りだ！ 【授業時間外の学修内容】配付プリント8)をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第4回	【テーマ】フランス語の面倒さも、食べる喜びで克服？! 【計画内容】英語が捨てたものをフランス語はまだ持っている。それが名詞の「性」だ。発音も結構面倒くさいことを要求してくるが、なぜだ？ 【授業時間外の学修内容】配付プリント2)をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A	第12回	【テーマ】いよいよ様々な「動詞」に挑戦だ！ 【計画内容】英語でも「主要動詞50でほとんどが表現できる」なんて言うよね。フランス語でも同じだが、みんなの大嫌いな「活用」が英語よりも面倒くさい。我慢、ガマン！ 【授業時間外の学修内容】配付プリント9)をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第5回	【テーマ】「それ(これ、あれ)なーに？」は三つとも一つの言い方になる！ 【計画内容】子供の頃を思いだして、質問魔になってみよう。答えはとりあえずは日本語でいいけど、すぐにフランス語ではどう言うのか調べよう。即辞書を引け！ただの辞書がいっぱいころがっている。 【授業時間外の学修内容】配付プリント3)をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B	第13回	【テーマ】疑問もだいぶ高度になってくるぞ、さあ大変だ！ 【計画内容】引き続き動詞の習得がある(寝るなよ！)そしてこれも母国語そう日本語だとまったく問題なく使っているのになぜだかチンプンカンプンという人が出てくる。もう教師も大変だ！ 【授業時間外の学修内容】配付プリント10)をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第6回	【テーマ】君たち文の主語が絶対に要る、って理解できる？ 【計画内容】日本語の文(とくに会話)の構文とフランス語、もちろん英語との違いを意識しよう！ 【授業時間外の学修内容】配付プリント4)をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A	第14回	【テーマ】いよいよというか入口で最大の難関かも知れない「動詞」の登場だ！ 【計画内容】いちおうここで、「これから」と「いましがた」と時間がすこし前後に延ばすことができるようになりたいですね。独学で進む下地ができればいいな、と期待を抱くのが教師なのだが。 【授業時間外の学修内容】紹介した YouTube などの音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A、B
	第7回	【テーマ】形容詞は名詞に「かかる」のだが、その時名詞の性と数がね、、大問題や！ 【計画内容】だいたいここで「放り出す」人続出！逃さへんで！英語との違いもかなり鮮明になるかな？それから「否定」できるようになることも大事だ。フランス語を拒否する前にフランス語から拒否されないように！ 【授業時間外の学修内容】配付プリント5)をダウンロードした音源を聞きながら実際に口にしてみよう。	A	第15回	【テーマ】振り返りとまとめ 【計画内容】やってきたことを振り返ってみよう。そして簡単な会話による記憶の確認。歌も歌えるだろうか？! 【授業時間外の学修内容】毎回配付するプリントを読み返しておいてください。	B
	第8回	【テーマ】ちょっと休憩、フランスの子供の歌を聞いてみよう。そして歌ってみよう！ 【計画内容】すぐに覚えられる簡単な歌をいろいろ聞いてみて。歌えるものをみつけよう。そして歌ってみよう！ 【授業時間外の学修内容】ユーチューブなどでフランスの子供の歌を聞いておいてください。	B			

テキスト	プリントを使用します
参考書	森本英夫･三野博司、2013年、『増補改訂版　新･リュミエール－フランス文法参考書』、駿河台出版社、4411005328

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%	20%	20%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	授業の前後に個別対応します。メールでの質問にも対応します。質問の内容によっては授業で取りあげることもあります。
資格	
その他	語学は身体･五感を総動員して、まさに体得することが肝要。あらゆるメディアとデバイスを通じてフランス語に接近するようにしましょう。

科目名	スペイン語	授業形態	講義	単位数	2
教員名	林田　智子				

授業の目的		
	ねらい	スペイン語は20か国以上の公用語です。今年は、オリンピックイヤーでもあり、様々な国の方々が札幌に訪れることでしょう。英語以外に少しでもわかる言葉があれば、聞こえてくる会話にもワクワクできるかもしれません。15回の講義を通して、スペイン語の「読む」「聞く」「話す」「書く」の力を身に付けます。また、スペイン語圏の生活、習慣、文化を学びます。
	到達目標	(1)簡単な日常会話を理解し、話す。 (2)基本的な文法事項を学ぶ。 (3)スペイン語圏の生活習慣、文化への理解を深める。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】初めてのスペイン語 【計画内容】15回の講義の内容を説明します。 スペイン語のアルファベット、発音、簡単な挨拶を学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。 スペイン語を公用語とする国、またスペイン語を母国語とする有名人(スポーツ選手、芸術家等)を調べておくこと。	G	第9回	【テーマ】第6回～第8回の復習 【計画内容】3回分の講義の復習と応用。 【授業時間外の学修内容】前回までのプリントをよく読んでおくこと。	G、H、N
	第2回	【テーマ】冠詞、名詞、形容詞の数と性 【計画内容】前回の復習。 名詞の数と性、またそれを使った文章。 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	G、H	第10回	【テーマ】否定文、「好き」「嫌い」 【計画内容】今までの講義の見直し。 否定文の作り方、好きなもの、興味があることの言い方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】今までのプリントに目を通しておくこと。	G、H
	第3回	【テーマ】自己紹介 【計画内容】前回の復習。 簡単な自己紹介ができるようにします。 ser 動詞。estar 動詞。 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	G、H	第11回	【テーマ】よく使う動詞 【計画内容】前回の復習 I 「欲しい」「できる」などの不規則動詞。 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	G、H
	第4回	【テーマ】「これ、それ、あれ」「私のもの、「君のもの」 【計画内容】前回の復習。 指示形容詞、指示代名詞、所有形容詞、日付、曜日など、時間にかかわる単語 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	G、H	第12回	【テーマ】語彙を増やそう 【計画内容】前回の復習。 旅のスペイン語、レストランで、ホテルで、道を尋ねるときなど、実践的な表現を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】今までのプリントに目を通しておくこと。	G、H
	第5回	【テーマ】第2回～第4回の復習 【計画内容】3回分の講義の復習と、応用。 【授業時間外の学修内容】今までの講義の復習をしておくこと。	G、H、N	第13回	【テーマ】第10回～第12回の復習 【計画内容】3回分の講義の復習と応用。 【授業時間外の学修内容】今までのプリントに目を通しておくこと。	G、H、N
	第6回	【テーマ】様子を尋ねる 【計画内容】今までの講義の見直し。 形容詞、副詞、接続詞の語彙を使った文章。 【授業時間外の学修内容】今までの講義のプリントに目を通しておくこと。	G、H	第14回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】今までの講義のまとめ。 【授業時間外の学修内容】今までのプリントに目を通しておくこと。	L
	第7回	【テーマ】よく使う動詞 【計画内容】日常的の使われる動詞を学ぶ。 規則動詞と不規則動詞。 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	G、H	第15回	【テーマ】スペイン語で話してみよう 【計画内容】ロールプレイングを通じて、スペイン語の会話を楽しむ。 【授業時間外の学修内容】今まで学習したことを踏まえて、スペイン語で自己紹介や簡単な大学の案内を言えるようにしておくこと。	N
	第8回	【テーマ】命令形 【計画内容】前回の復習。 よく使われる動詞の命令形。 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。	G、H			

テキスト	プリントを使用、講義時に説明します
参考書	プリントを使用、講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%	20%	30%		20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	次回の講義でフィードバックします。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	講義時に説明します
資格	
その他	シラバスはあくまで目安で、講義の進捗状況などによって変更することがあります。

科目名	専門ゼミⅠ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	「専門ゼミⅠ」は、1年次の学びを発展させ、ライフデザイン学科の各専門領域について、講義や文献講読、見学、調査、作品製作などを通して、より高い関心、問題意識を持つことができるようになることを目的としています。			
	到達目標	(1)グループ内でのディスカッションをすることができる。 (2)選択した学問領域に関して、専門的内容を理解し現状および課題を多角的にとらえることができる。 (3)選択した学問領域の中で、自分の関心のあるテーマを選定し、問題意識を明確にすることができる。			
授業の計画	【計画内容】 第1～15回　各ゼミナールによって異なった展開となります。 詳細については、各指導教員から配付される授業計画書を参考にしてください。 【授業時間外の学修内容】 担当教員の指示に従い準備すること。				B
テキスト	各指導教員より説明します				
参考書	各指導教員より説明します				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	成果物であるレポート作成、作品製作は「専門ゼミⅡ」で行います。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	「専門ゼミⅠ」の履修者は「専門ゼミⅡ」も履修すること。 意欲･態度･課題などから担当教員が規定した比率に基づいて評価します。

科目名	専門ゼミⅡ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	「専門ゼミⅠ」で深めた自分の研究テーマに基づき、専門的な立場から研究を行い、その成果をレポート作成、作品製作等で発表します。一つのテーマを探究する中で、課題を発見し、解決することを経験する演習の取組は、社会人としての実践力を身につけることにつながります。				
	到達目標	(1)「専門ゼミⅠ」での学びをもとに、レポート作成、作品製作等を通して、より専門的な知識・技術を深めることができる。 (2)グループ内で、ディスカッションやプレゼンテーションを行うことができる。				
授業の計画	【計画内容】 第1～14回　各ゼミナールによって異なった展開となります。 詳細については、各指導教員から配付される授業計画書を参考にしてください。 第15回は専門ゼミ発表会とし1年間の成果を発表する機会を設け、学内での専門ゼミ作品展示を行う他、専門ゼミ論集を作成します。 【授業時間外の学修内容】 担当教員の指示に従い準備すること。				B	

テキスト	各指導教員より説明します
参考書	各指導教員より説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	第15回は専門ゼミ発表会とし1年間の成果を発表する機会を設け、学内での専門ゼミ作品展示を行う他、専門ゼミ論集を作成します。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	意欲・態度・課題などから担当教員が規定した比率に基づいて評価します。

科目名	油彩	授業形態	演習	単位数	2
教員名	林　亨				

授業の目的

ねらい	この演習は、絵画表現の基本構造を知るために、描画材で最も融通が利き、数多くの表現技法が可能な油彩画（油絵）制作を通して、その基本的な性質を知り、初歩的な使い方の習得を目的とする。古典的な技法を基本にしながら、油絵の具の独特の発色を理解し、豊かな色彩表現に繋げていくようにする。モチーフは前半が単体モデルの静物画、後半は複数モデルの静物画を制作する。また、完成した作品を受講者で鑑賞し合い、講評会も実施する。
到達目標	(1)油絵の具の基本的な性質を理解する。 (2)油彩画の初歩的な技法を習得する。 (3)絵画表現のおもしろさを感じ、自分なりの表現世界を考えるきっかけをつくる。

授業の計画

第1回	【テーマ】絵画表現の基礎知識 【計画内容】絵画表現の基本構造と簡単な歴史について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読み授業で習得したいことを整理しておくこと。	A、B	第9回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（油彩絵の具の性質） 【計画内容】絵の具のパートを意識させた重色表現の方法と効果について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	A、B、E
第2回	【テーマ】油彩画制作準備 【計画内容】キャンバスの基本構造、絵の具の基本的な扱い方、地塗りについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの読み、内容を把握しておくこと。	A、B	第10回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（様々なタッチによる表現方法） 【計画内容】ハッチング（線描き）や点描、ペインティングナイフなどの表現方法と効果について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	A、B、E
第3回	【テーマ】静物画制作（単品モデル）（下描きの方法） 【計画内容】鉛筆や木炭を使った下描きの方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	A、B、E	第11回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（初期の描き込み） 【計画内容】重ね塗り効果を考えながら描き込みを始める。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	A、B、I
第4回	【テーマ】静物画制作（単品モデル）（油彩絵の具の性質） 【計画内容】油彩画の基本的技法、グリザイユ技法およびカマイユ技法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	A、B、E	第12回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（油彩技法の現在）（描き込み･油彩技法の現在） 【計画内容】厚塗り技法における地塗りと絵の具のパートを理解する。印象派時代の画家（モネやゴッホ）の作品考察も行う。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	A、B、E
第5回	【テーマ】静物画制作（単品モデル）（油彩画技法の基本） 【計画内容】グレージング（うす塗り）の方法と効果について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	A、B、E	第13回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（油彩技法の応用）（描き込み･油彩技法の応用） 【計画内容】透明色と不透明色の混合やホワイトとの混色法などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	A、B、E
第6回	【テーマ】静物画制作（単品モデル）（グリザイユ技法とカマイユ技法の基本） 【計画内容】重ね塗り効果を考えながら作品を完成させる。講評会も実施する。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を仕上げておくこと。	A、B、E	第14回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（油彩技法と材料の関係）（描き込み･油彩技法と材料の関係） 【計画内容】厚塗りの後のグレーズ法とオイルの種類や用途について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	A、B、E
第7回	【テーマ】キャンバスの構造を知る 【計画内容】一般的に使われている油彩用木枠の構造を理解して、実際にキャンバスを張る。下地絵具も塗布する。 【授業時間外の学修内容】キャンバス張りの方法を復習する。	A、B	第15回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（油彩技法の仕上げ方法と合評会） 【計画内容】複合的技法の完成。講評会の実施。また、写真などの映像メディアをプレゼンテーションに活かす方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を仕上げておくこと。	B、I、G
第8回	【テーマ】静物画制作（複数モデル）（構図を考える） 【計画内容】古典的技法を応用し、モノトーン表現から色彩表現を展開させる。 【授業時間外の学修内容】油彩技法の表現方法を復習し、時間内にできなかった作品を出来るだけ描き進めておくこと。	A、B、E			

テキスト	適宜自作プリントなどを使用します
参考書	谷川渥（監修）、2001年、『絵画の教科書』、日本文教出版

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			10%	70%	20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	受講者は油彩画用具一式、キャンバス等、指定された油彩用具を必ず用意すること。斡旋販売もする。詳細はオリエンテーション時に説明。《絵の具、オイル、油壺、クリーナー、用具ケース、筆、ナイフ、パレット、筆洗器等》

科目名	ファッションとリフォーム	授業形態	実習	単位数	1
教員名	加藤　万紀				

授業の目的		
	ねらい	現在は、ファッションの多様化が進み、さまざまな衣服が手に入りやすい環境となっています。しかし、一方で、廃棄衣料の多さも問題となっており、衣服の再利用を考えることも必要な時代となりました。流行遅れの衣類、着飽きた洋服、捨てるには惜しい服飾品等から全く別のデザインを構築したり、修理、仕立て直しをすることで衣服の再生ができることを学びます。
	到達目標	(1)衣類を再利用することが理解できる。 (2)衣類の組み合わせによって新しい型を構築することができる。 (3)修理、仕立て直し方法が理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】授業内容と15回の授業展開について説明します。 衣服再生方法を学び、リメイク作品への計画に繋げます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】リメイク作品Ⅰ・Ⅱの批評会 【計画内容】作品のプレゼンテーションと批評会をします。 【授業時間外の学修内容】ポートフォリオを完成し、プレゼンテーション内容を考えてくること。	F
	第2回	【テーマ】リメイク作品Ⅰ 【計画内容】テーマ設定とデザインの計画をします。 【授業時間外の学修内容】作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	D	第10回	【テーマ】ファッションリフォームについて 【計画内容】衣服修理、仕立て直しについて説明します。 【授業時間外の学修内容】リフォームしたい衣服を用意しておくこと。	A
	第3回	【テーマ】リメイク作品Ⅰ 【計画内容】仮縫いと試着を行い、デザインの最終検討と縫製方法を計画します。 【授業時間外の学修内容】テキスト、書籍等でより効果的な縫製方法を調べ、必要な材料を用意しておくこと。	D	第11回	【テーマ】ファッションリフォーム事例 【計画内容】リフォームの事例を挙げ、リフォーム方法の種類を学びます。 【授業時間外の学修内容】リフォームしたい衣服を用意しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】リメイク作品Ⅰ 【計画内容】縫製を行い、完成に導きます。 【授業時間外の学修内容】時間内に出来なかった課題を仕上げておくこと。	D	第12回	【テーマ】リフォーム作品Ⅰ 【計画内容】リフォーム方法の計画をします。 【授業時間外の学修内容】テキスト、書籍等でより効果的な縫製方法を調べ、必要な材料を用意しておくこと。	D
	第5回	【テーマ】リメイク作品Ⅱ 【計画内容】テーマ設定とデザインの計画をします。 【授業時間外の学修内容】作品のデザイン、使用する布のプランを練っておくこと。	D	第13回	【テーマ】リフォーム作品Ⅰ 【計画内容】リフォーム作業をします。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかった作業をすすめておくこと。	D
	第6回	【テーマ】リメイク作品Ⅱ 【計画内容】仮縫いと試着を行い、デザインの最終検討と縫製方法を計画します。 【授業時間外の学修内容】テキスト、書籍等でより効果的な縫製方法を調べ、必要な材料を用意しておくこと。	D	第14回	【テーマ】リフォーム作品Ⅰ 【計画内容】リフォーム作業の仕上げとリフォーム工程をポートフォリオにまとめます。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかった作業を進め、完成させること。	D、G
	第7回	【テーマ】リメイク作品Ⅱ 【計画内容】縫製を行い、完成に導きます。 【授業時間外の学修内容】時間内に出来なかった課題を仕上げておくこと。	D	第15回	【テーマ】リフォーム作品批評会とまとめ 【計画内容】リフォーム作品のプレゼンテーションと批評会をします。ファッションリメイク、リフォームについてのまとめをします。 【授業時間外の学修内容】ポートフォリオを完成し、プレゼンテーション内容を考えてくること。	F、L
	第8回	【テーマ】リメイク作品Ⅰ・Ⅱのまとめ 【計画内容】作品の仕上げとリメイク内容をポートフォリオにまとめます。 【授業時間外の学修内容】完成できるように課題を進めてくること。ポートフォリオに必要な資料を準備しておくこと。	D、G			

テキスト	担当者作成プリントを使用します
参考書	参考プリントを配付します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	第15回で作品の返却をします。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	リメイクデザイナー、ソーイングオペレーター
		科目との関連	リメイクデザインやお直し･リフォーム経験から衣服再生方法を教授します。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	製作材料は各自で用意します。

科目名	チームビルディングゲーム	授業形態	実技	単位数	1
教員名	平井　伸之、田　光子、村松　幹男				

授業の目的

ねらい	コミュニケーションを円滑に進めるための、アイスブレーキング（何かをグループで行おうとするとき、初対面同士の緊張感や遠慮などの雰囲気を和らげる）やチームビルディング（一つの目的に向かってチームが一丸となって進めるようなチーム「組織」づくり）の理論を学び、それらのゲームを実際に行ってみる。
到達目標	(1)アイスブレーキングやチームビルディングのためのゲームについて、知識がある。 (2)ファシリテータとしてゲームを行うことができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の展開等について説明する。（全教員） 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】オリジナルチームビルディングゲームの開発 【計画内容】オリジナルチームビルディングゲームをチームに分かれて開発する。（全教員） 【授業時間外の学修内容】チームビルディングゲームの目的について復習しておくこと。	B、H
第2回	【テーマ】アイスブレーキング① 【計画内容】互いの自己紹介を兼ねて、アイスブレーキングを目的としたゲームを行う。（平井伸之・田光子） 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	B、E、H	第10回	【テーマ】オリジナルチームビルディングゲーム① 【計画内容】オリジナルチームビルディングゲームを実際にやってみる。ファシリテータを体験する。 （平井伸之・村松幹男） 【授業時間外の学修内容】ファシリテータの役割を果たせるように準備すること。前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、F、H
第3回	【テーマ】アイスブレーキング② 【計画内容】アイスブレーキングを目的としたゲームを行う。（平井伸之・村松幹男） 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H	第11回	【テーマ】オリジナルチームビルディングゲーム② 【計画内容】オリジナルチームビルディングゲームを実際にやってみる。ファシリテータを体験する。 （田光子・村松幹男） 【授業時間外の学修内容】ファシリテータの役割を果たせるように準備すること。前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、F、H
第4回	【テーマ】チームビルディングゲーム① 【計画内容】さまざまなチームビルディングを目的としたゲームについて説明し、実際にやってみる。（村松幹男） 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H	第12回	【テーマ】オリジナルチームビルディングゲーム③ 【計画内容】オリジナルチームビルディングゲームを実際にやってみる。ファシリテータを体験する。 （平井伸之・田光子） 【授業時間外の学修内容】ファシリテータの役割を果たせるように準備すること。前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、F、H
第5回	【テーマ】チームビルディングゲーム② 【計画内容】さまざまなチームビルディングを目的としたゲームについて説明し、実際にやってみる。（田光子） 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H	第13回	【テーマ】オリジナルチームビルディングゲーム④ 【計画内容】オリジナルチームビルディングゲームを実際にやってみる。ファシリテータを体験する。 （平井伸之・村松幹男） 【授業時間外の学修内容】ファシリテータの役割を果たせるように準備すること。前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、F、H
第6回	【テーマ】チームビルディングゲーム③ 【計画内容】さまざまなチームビルディングを目的としたゲームについて説明し、実際にやってみる。（平井伸之） 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H	第14回	【テーマ】チームビルディングゲーム⑥ 【計画内容】長時間のチームビルディングゲームを学ぶ。 （田光子・村松幹男） 【授業時間外の学修内容】チームビルディングゲームの目的について復習しておくこと。	B、E、H
第7回	【テーマ】チームビルディングゲーム④ 【計画内容】さまざまなチームビルディングを目的としたゲームについて説明し、実際にやってみる。 （田光子・村松幹男） 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】この授業のまとめと振り返りを行う。 （全教員） 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	L
第8回	【テーマ】チームビルディングゲーム⑤ 【計画内容】さまざまなチームビルディングを目的としたゲームについて説明し、実際にやってみる。 （平井伸之・田光子） 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					50%	50%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	第15回でオリジナルチームビルディングゲームをまとめた冊子を作成し、まとめと振り返りを行う。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。	
資格		
その他	実際にゲームを行ったり、身体を動かしたりするので、必ず動きやすい格好でくること。 成績評価方法「その他」は、ファシリテート・レポート・チームビルディングノートの提出で評価。	

科目名	インターンシップⅡ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	田口　智子				

授業の目的	
ねらい	短期大学部ライフデザイン学科インターンシップは、地域密着型教育インターンシップを推進しています。 本講義では、「インターンシップⅠ」によるインターンシップ・企業実習後の集大成としての位置付けで開講します。インターンシップ履修生は、必ず履修登録をしてください。 本講義の具体的な内容は、インターンシップ成果報告書に基づく、自身の振り返りと、今後の職業生活にいかに活かしていくかを考え、レポート作成に取り組みます。 最終的には、インターンシップ成果報告レポートを完成させ、インターンシップ論集を発刊します。
到達目標	(1)自ら掲げたインターンシップの目的の成果を振り返る (2)仕事の意味と意義を考える (3)ビジネススキルを高める (4)職種の自己適性を考察する (5)ビジネスの仕組みを理解する

授業の計画						
第1回	【テーマ】インターンシップの意義と役割確認① 【計画内容】インターンシップの意義と役割について考える。 【授業時間外の学修内容】インターンシップ日誌による振り返り	A、B、H、K、L	第9回	【テーマ】インターンシップ成果レポート作成① 【計画内容】インターンシップ成果レポートの構成指導 【授業時間外の学修内容】レポート作成	A、B、K、L
第2回	【テーマ】インターンシップの意義と役割確認② 【計画内容】実習業務内容の確認と書類作成 【授業時間外の学修内容】インターンシップ実習書類の確認	A、B、H、K、L	第10回	【テーマ】インターンシップ成果レポート作成② 【計画内容】インターンシップ成果レポート作成 【授業時間外の学修内容】レポート作成。	A、B、K、L
第3回	【テーマ】インターンシップの意義と役割確認③ 【計画内容】インターンシップから得たこと 【授業時間外の学修内容】インターンシップ実習書類の確認。	A、B、H、K、L	第11回	【テーマ】インターンシップ成果レポート作成③ 【計画内容】インターンシップ成果レポート作成 【授業時間外の学修内容】レポート作成	A、B、K、L
第4回	【テーマ】インターンシップ目標達成度について① 【計画内容】自ら掲げたインターンシップの目標達成度を考える 【授業時間外の学修内容】インターンシップ振り返り	A、B、K、L	第12回	【テーマ】インターンシップ成果レポート作成④ 【計画内容】インターンシップ成果レポート作成 【授業時間外の学修内容】レポート作成	A、B、K、L
第5回	【テーマ】インターンシップ目標達成度について② 【計画内容】自ら掲げたインターンシップの目標達成度を考える 【授業時間外の学修内容】インターンシップ振り返り。	A、B、K、L	第13回	【テーマ】インターンシップ成果レポート作成⑤ 【計画内容】インターンシップ成果レポート作成 【授業時間外の学修内容】レポート作成	A、B、K、L
第6回	【テーマ】インターンシップ目標達成度について③ 【計画内容】自ら掲げたインターンシップの目標達成度を考える 【授業時間外の学修内容】インターンシップ振り返り	A、B、K、L	第14回	【テーマ】インターンシップ成果レポート作成⑥ 【計画内容】インターンシップ成果レポート作成 【授業時間外の学修内容】原稿校正	A、B、K、L
第7回	【テーマ】インターンシップ報告会について① 【計画内容】(1)インターンシップ報告会の説明 (2)インターンシップ報告会原稿作成の留意点 【授業時間外の学修内容】インターンシップ実習書類の確認	A、B、K、L	第15回	【テーマ】インターンシップ成果レポート作成⑦ 【計画内容】インターンシップ成果レポート完成～提出 【授業時間外の学修内容】最終原稿の校正	A、B、G
第8回	【テーマ】インターンシップ報告会について② 【計画内容】個別インターンシップ成果報告発表を行う 【授業時間外の学修内容】報告原稿作成	A、B、G、J、L			

テキスト	独自テキストプリント
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		30%	20%
補足			レポート		集中力・意欲	計画性・積極性

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	社長秘書
	科目との関連	ビジネスの専門知識および企業経営者ネットワーク活用よる教育支援

質問への対応	状況に応じて、随時最大限に対応します。なお、個別指導が必要な場合は、別途機会を設けて個別指導にあたります。
資格	
その他	「インターンシップⅠ」「プロジェクトワーク」履修学生対象の科目です。

科目名	会計学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	湯澤　直樹				

授業の目的

ねらい	社会の経済主体は株式会社です。その実体を知る手がかりの一つに貸借対照表や損益計算書などがあります。これらの財務資料を通して、企業活動における認識・測定・伝達の機能を果たす株式会社会計の制度的・財務政策的な意義と役割を明らかにします。
到達目標	(1)財務資料の見方を理解できる。 (2)株式会社や経済の仕組みを理解できる。 (3)エクセルの標準的な使い方を身につけることができる。 (4)経営分析の初歩を身につけることができる。 (5)社会で通用するモノの見方を身につけることができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】この講義の進め方についてガイダンスとなります。 【授業時間外の学修内容】ポータルサイトでメッセージ転送設定を済ませておくように。	A、K	第9回	【テーマ】損益計算書と貸借対照表の関係4 【計画内容】事例として選んだ企業のホームページから最新データをダウンロードして、作表しグラフ化します。 【授業時間外の学修内容】エクセルの使い方を復習しておくように。	A、G、J、K、L
第2回	【テーマ】企業会計 【計画内容】『法人企業統計年報特集』の最新データをダウンロードして、エクセルで加工(業種分類なども確認)します。 【授業時間外の学修内容】「情報機器操作Ⅰ・Ⅱ」で学んだ基本的な手続き(タッチタイピングやコピー＆ペーストなど)を復習しておくように。	A、G、J、K	第10回	【テーマ】損益計算書と貸借対照表の関係5 【計画内容】事例として選んだ企業の貸借対照表と損益計算書を比較検討します。 【授業時間外の学修内容】エクセルの使い方を復習しておくように。	A、G、J、K、L
第3回	【テーマ】利害関係者(ステークホルダー)と会計 【計画内容】日本の企業全体の財務状況を概観(日本の法人企業数、法人企業全体の総資産や売上高をグラフ化)します。同時に、日本および世界の統計から、企業を取り巻く環境を理解することになります。 【授業時間外の学修内容】日本全体で企業数はどの位あるのかを調べておくように。表からグラフを作成できるようにしておくように。	A、G、J、K、L	第11回	【テーマ】企業分析1 【計画内容】日本の法人企業全体の財務指標と事例として選んだ企業の財務指標を比較検討します。 【授業時間外の学修内容】これまでの復習をしておくように。	A、G、J、K、L
第4回	【テーマ】資本の循環 【計画内容】日本の大企業の財務状況を概観(法人企業全体と比較)します。 【授業時間外の学修内容】大企業とはどのような規模の会社をいうのかを調べておくように。%の計算式を入力してグラフ化できるようにしておくように。	A、G、J、K、L	第12回	【テーマ】企業分析2 【計画内容】事例として選んだ企業をグラフ化した財務データを検討して文章化します。 【授業時間外の学修内容】これまでの復習をしておくように。	A、G、J、K、L
第5回	【テーマ】利益操作1 【計画内容】企業における3つの利益と合法的利益操作について、利害関係者に対する企業の会計行動を理解します。 【授業時間外の学修内容】3つの利益とは何か、利益操作は合法的なのかを調べておくように。	A、G、J、K、L	第13回	【テーマ】企業分析3 【計画内容】日本の法人企業全体と事例として選んだ企業を経営分析した結果を文章化します。 【授業時間外の学修内容】これまでの復習をしておくように。	A、G、J、K、L
第6回	【テーマ】損益計算書と貸借対照表の関係1 【計画内容】損益計算書と貸借対照表との関係を、自動車産業の事例から明らかにします。損益計算書における5つの利益(売上高利益率)をグラフ化します。 【授業時間外の学修内容】損益計算書とは何か、貸借対照表とは何か、両者はどのような関係なのかを調べておくように。	A、G、J、K、L	第14回	【テーマ】利益操作2 【計画内容】過去の粉飾した企業の事例をとりあげて、エクセルでシュミレートします。 【授業時間外の学修内容】粉飾について調べておくように。	A、G、J、K、L
第7回	【テーマ】損益計算書と貸借対照表の関係2 【計画内容】法人企業全体の損益計算書から売上高利益率を作表してグラフ化します。 【授業時間外の学修内容】エクセルの使い方を復習しておくように。	A、G、J、K、L	第15回	【テーマ】利益操作3 【計画内容】企業を比較検討して、財務指標を駆使しながら利益操作の有無を判断し、どういう企業なのか評価して今後を展望します。 【授業時間外の学修内容】この講義の総まとめとなるため、これまでの講義を振り返り、欠席した回や理解・操作の十分でない回を振り返って復習し、最低限の財務指標は調べておくように。	A、G、J、K、L
第8回	【テーマ】損益計算書と貸借対照表の関係3 【計画内容】法人企業全体の貸借対照表から総資産に占める様々な割合を2軸のグラフ化にします。 【授業時間外の学修内容】エクセルの使い方を復習しておくように。	A、G、J、K、L			

テキスト	大橋英五、2009年、『簿記会計のしくみ～企業・経済を読み解く』、唯学書房、9784902225488
参考書	丸山恵也他、2015年、『経済成長の幻想』、創成社、9784794431660 熊谷重勝他、2011年、『社会化の会計』、創成社、9784794414281 大橋英五、2005年、『経営分析』、大月書店、9784272160198

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			毎回提出する課題の積み重ねが最終試験に影響します			

課題に関するフィードバックの方法	毎回、講義終了時に提出した課題を、定期的に添削・返却し、論評する。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	※ポータルサイトで【メッセージ転送設定】を必ずしておくこと。 (あらゆる講義の連絡は、受講者全員が転送設定していることを前提に、全ての教員から必要に応じて連絡が届くことになり、質問等の受け答えもポータルサイトで行うことになります。) 詳細はオリエンテーションで説明します。E-Mail:yuza@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	「簿記原理A・B」の単位を取得済みであることが望ましいが、簿記を受講したことがなくても興味があれば歓迎したい。簿記・会計は、皆さんが思っている以上に、今日の社会にとって必要な技術や考え方で、簿記・会計を学ぶことは、ヨーロッパの異文化に触れることにもなるので、食わず嫌いせずに、まずは食べてみよう！

科目名	企業と経営	授業形態	講義	単位数	2
教員名	田口　智子				

授業の目的

ねらい	企業経営の目的、組織行動、経営戦略に視点をおき、経営学の基礎的理解を深めることを目的として講義展開する。講義前半では、企業と環境、経営者の職能、経営学理論の変遷について学術領域を主体として、古典的理論から近代的理論の学習を行う。講義後半では、学術理論に基づき、国内外の企業事例を交えながら企業戦略の基礎的知識を学習する。なお、企業動向に係る各種資料を提供し、学術論を分かり易く指導し、理解へと導いていく。
到達目標	(1)経営学の意義と体系について理解する。 (2)企業特性と社会的責任について理解する。 (3)経営者の役割を理解する。 (4)経営学の成立と発展について理解する。 (5)経営戦略の基礎的理解を得る。

授業の計画

第1回	【テーマ】経営学とは 【計画内容】 (1)経営学の意義 (2)経営学の特徴 【授業時間外の学修内容】新聞等に基づいて興味ある企業の情報収集を行う。	A、L	第9回	【テーマ】経営学の成立と発展4 【計画内容】人間関係論 【授業時間外の学修内容】配付資料に基づき、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、L
第2回	【テーマ】企業と環境1 【計画内容】 (1)企業組織の成り立ち (2)企業の特性 【授業時間外の学修内容】配付資料を読み、理解する。	A、L	第10回	【テーマ】経営学の成立と発展5 【計画内容】組織論的管理論 【授業時間外の学修内容】配付資料に基づき、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、F、G、H、K、L
第3回	【テーマ】企業と環境2 【計画内容】 (1)会社の種類 (2)企業の社会的責任 【授業時間外の学修内容】配付資料を読み、理解する。	A、L	第11回	【テーマ】経営学の成立と発展6 【計画内容】組織的管理論 【授業時間外の学修内容】指定テーマに基づき、レポートを作成する。	A、F、G、H、K、L
第4回	【テーマ】経営者の職能1 【計画内容】経営管理者のスキル 【授業時間外の学修内容】配付資料に基づいて、レポートを作成する。	A、L	第12回	【テーマ】経営学の成立と発展7 【計画内容】経営戦略論 【授業時間外の学修内容】これまでに配付した資料に基づいて、理解を深める。	A、F、G、H、K、L
第5回	【テーマ】経営者の職能2 【計画内容】 (1)意思決定プロセス (2)意思決定の種類 【授業時間外の学修内容】配付資料に基づいて、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、L	第13回	【テーマ】経営学の成立と発展8 【計画内容】 (1)経営戦略論 (2)イノベーションのマネジメント 【授業時間外の学修内容】これまでに配付した資料に基づいて、理解を深める。	A、F、G、H、K、L
第6回	【テーマ】経営学の成立と発展1 【計画内容】古典派管理論 【授業時間外の学修内容】配付資料に基づき、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、L	第14回	【テーマ】ワークショップ1 【計画内容】個別企業研究 【授業時間外の学修内容】講義当初から収集した企業情報に基づいて分析し、レポートを作成する。	A、F、G、H、J、K、L
第7回	【テーマ】経営学の成立と発展2 【計画内容】近代管理論 【授業時間外の学修内容】配付資料に基づき、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、L	第15回	【テーマ】ワークショップ2 【計画内容】企業研究発表 【授業時間外の学修内容】グループワーク内の役割課題に取り組む。	A、F、G、H、J、K、L
第8回	【テーマ】経営学の成立と発展3 【計画内容】近代的管理論 【授業時間外の学修内容】配付資料に基づき、テキスト指定箇所の理解を深める。	A、L			

テキスト	岸川善光、2009年、『図説経営学演習』、同文館、9784495369828
参考書	講義上にて随時提示します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	25%		25%		25%	25%
補足	理解度		レポート		集中力·意欲	積極性·把握力

課題に関するフィードバックの方法	課題に関する口頭·レポート発表について、随時アドバイスを提示して理解力を深められるよう導いていく。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	社長秘書
	科目との関連	実学指導対応

質問への対応	状況に応じて、随時最大限に対応します。なお、個別指導が必要な場合は、別途機会を設定して指導にあたります。
資格	
その他	半期(15回)で経営学を習得するため、毎回の講義展開が早く進むこととなります。出席することによって講義理解が深められることを認識し、講義に臨んでください。また、日々、新聞等メディアを活用して、企業動向に関心をもち、情報収集することによって、一層理解を深めることができます。

科目名	現代と経済	授業形態	講義	単位数	2
教員名	簇本　智之				

授業の目的

ねらい	現代においても企業活動の記録の主要な方法として、古くから伝わる簿記が使われている。人類の最大の発明の1つであるといわれている簿記を多くの人が学習することは、現代においてもますます大切となっている。そこで、本授業では、簿記の技術的な側面のみならず、中心となる考え方についても講義する。
到達目標	(1)簿記の基本的方法を理解する。 (2)簿記の基本的な考え方に基づいて、基本的な取引の内容を理解し、仕訳する。 (3)簿記記録の結果を損益計算書と貸借対照表へまとめる方法を理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】イントロダクション 【計画内容】授業全体の目的と1回ずつの流れを説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をよく読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】資産の仕訳 【計画内容】9種類の資産の仕訳について講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の107頁までを3回読んでくる。	A
第2回	【テーマ】簿記とは何か 【計画内容】仕訳のルール、企業内での簿記の行われ方、パソコン環境での簿記について講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の29頁までを3回読んでくる。	A	第10回	【テーマ】負債･純資産の仕訳 【計画内容】5種類の負債の仕訳、3種類の純資産の仕訳について講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の117頁までを3回読んでくる。	A
第3回	【テーマ】仕訳のルール 【計画内容】仕訳のルール、企業内での簿記の行われ方、パソコン環境での簿記について講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の39頁までを3回読んでくる。	A	第11回	【テーマ】費用の仕訳、収益の仕訳 【計画内容】5種類の費用の仕訳、3種類の収益の仕訳について講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の127頁までを3回読んでくる。	A
第4回	【テーマ】資産と負債 【計画内容】資産とは何であるのか、負債とは何であるのかについて講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の49頁までを3回読んでくる。	A	第12回	【テーマ】決算、試算表 【計画内容】決算とは何であるのか、試算表の作成について講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の147頁までを3回読んでくる。	A
第5回	【テーマ】純資産･貸借対照表 【計画内容】純資産は何であるのか、資産･負債･純資産の関係と貸借対照表について講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の61頁までを3回読んでくる。	A	第13回	【テーマ】決算整理とその4パターン 【計画内容】決算整理とは何であるのか、決算整理のうち4つのパターンについて講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の157頁までを3回読んでくる。	A
第6回	【テーマ】収益と費用 【計画内容】収益と何であるのか、費用とは何であるのかについて講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の71頁までを3回読んでくる。	A	第14回	【テーマ】決算整理の5つ目のパターンと損益計算書･貸借対照表の作り方 【計画内容】決算整理の5つ目のパターンと損益計算書･貸借対照表の作り方について講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の167頁までを3回読んでくる。	A
第7回	【テーマ】損益計算書、損益計算書と貸借対照表の違い、仕訳の基本ルール 【計画内容】仕訳の実践、総勘定元帳への転記について講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の97頁までを3回読んでくる。	A	第15回	【テーマ】精算表とテスト 【計画内容】精算表の作り方について講義した後、テストをする。 【授業時間外の学修内容】教科書の最後までを3回読んでくる。また、テストの準備をする。	A
第8回	【テーマ】仕訳の実践･帳簿への記録 【計画内容】仕訳の実践、総勘定元帳への転記について講義する。 【授業時間外の学修内容】教科書の97頁までを3回読んでくる。	A			

テキスト	浜田　勝義、2005年、『はじめての人の簿記入門塾』、かんき出版、9784761262907
参考書	資格の大原、2018年、『土日で合格る日商簿記初級、第2版』、中央経済社、9784502290817 滝澤ななみ、TAC 出版開発グループ、2019年、『スッキリわかる　日商簿記初級、第3版』、TAC 出版、9784813287360

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%				50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	授業中はいつでも質問してください。または簇本までメールをください。
資格	
その他	電卓を持参すること。一生懸命予習すること。夏期集中の「マネジメントゲーム」を履修することを強く推奨する。

科目名	エコと経済	授業形態	講義	単位数	2
教員名	湯澤　直樹				

授業の目的	ねらい	今日の深刻な環境破壊や健康被害が、現代の生活で不可欠な化学物質と密接な関係にあることを、毎回のテーマに沿ったビデオを通して明らかにし、そうした元凶となっている人間の活動、特にメーカーの実態と経済の仕組みを理解することによって、今後のあり方を展望します。
	到達目標	(1)地球規模で広がる環境破壊の実態を理解する。 (2)健康被害の実態を理解する。 (3)エコと経済の関わりを理解する。 (4)身近な3R について理解する。 (5)持続可能な未来に希望を抱く。

授業の計画						
第1回	【テーマ】プロローグ 【計画内容】オリエンテーション。 【授業時間外の学修内容】「エコ」について調べておくように。	A、K	第9回	【テーマ】エコと経済の関わりについて2 【計画内容】お金の根源と経済の自然観。 【授業時間外の学修内容】「ミヒャエル·エンデ」「シルビオ·ゲゼル」について調べておくように。	A、G、L
第2回	【テーマ】環境破壊·健康被害の実態について1 【計画内容】レイチェル·カーソンと DDT。ティオ·コルボーンと環境ホルモン。 【授業時間外の学修内容】「レイチェル·カーソン」「DDT」「ティオ·コルボーン」「環境ホルモン」について調べておくように。	A、G、L	第10回	【テーマ】エコと経済の関わりについて3 【計画内容】環境破壊と経済の必然性。 【授業時間外の学修内容】「世界最悪企業」について調べておくように。	A、G、L
第3回	【テーマ】環境破壊·健康被害の実態について2 【計画内容】地球と人体のしくみ。 【授業時間外の学修内容】「地球」「人体」について調べておくように。	A、G、L	第11回	【テーマ】エコと経済の関わりについて4 【計画内容】企業の環境革命。 【授業時間外の学修内容】「環境報告書」について調べておくように。	A、G、L
第4回	【テーマ】環境破壊·健康被害の実態について3 【計画内容】資源開発、廃棄物処理。 【授業時間外の学修内容】「油汚染」「ナノテク」について調べておくように。	A、G、L	第12回	【テーマ】エコと経済の関わりについて5 【計画内容】エコビジネス。 【授業時間外の学修内容】「エコビジネス」について調べておくように。	A、G、L
第5回	【テーマ】環境破壊·健康被害の実態について4 【計画内容】資源開発、廃棄物処理。環境汚染の処理と行政·世界の取組み。 【授業時間外の学修内容】「油汚染」「ナノテク」「ゴミ処理」「原発」について調べておくように。	A、G、L	第13回	【テーマ】エピローグ1 【計画内容】平和と環境。 【授業時間外の学修内容】「コスタリカ」について調べておくように。	A、G、L
第6回	【テーマ】環境破壊·健康被害の実態について5 【計画内容】南極にみる環境汚染の実態。 【授業時間外の学修内容】「南極」について調べておくように。	A、G、L	第14回	【テーマ】エピローグ2 【計画内容】自分たちで出来ること。本当の豊かさとは？ 【授業時間外の学修内容】「3R」「グリーンコンシューマ」について調べておくように。	A、G、L
第7回	【テーマ】環境破壊·健康被害の実態について6 【計画内容】食にみる環境汚染の実態。 【授業時間外の学修内容】「遺伝子組み換え」について調べておくように。	A、G、L	第15回	【テーマ】エピローグ3 【計画内容】持続可能な経済·社会をめざして。 【授業時間外の学修内容】「サスティナビリティ」「環境家計簿」について調べておくように。	A、G、L
第8回	【テーマ】エコと経済の関わりについて1 【計画内容】製造業の環境に対する考え方の歴史。 【授業時間外の学修内容】「公害」「バブル」について調べておくように。	A、G、L			

テキスト	講義時に説明します
参考書	河邑厚徳ほか、2000年、『エンデの遺言「根源からお金を問うこと」』、日本放送出版協会、4140804963 コルボーンほか、2001年、『奪われし未来（増補改訂版）』、翔泳社、4881359851

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			毎回、映像の直後にレポートを作成·提出する		講義に関する質問·疑問や講義以外で自らの問題意識でレポートを作成·提出する	

課題に関するフィードバックの方法	毎回、講義終了までに提出したレポートを、次回の講義開始までに添削·返却し、定期的に総評し、レポート作成にあたっての注意を喚起し、レポートで提起された問題や補足事項などを解説する。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	※ポータルサイトで【メッセージ転送設定】を必ずしておくこと。 （あらゆる講義の連絡は、受講者全員が転送設定していることを前提に、全ての教員から必要に応じて連絡が届くことになり、質問等の受け答えもポータルサイトで行うことになります。） 詳細はオリエンテーションで説明します。E-Mail:yuza@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	毎回のレポート提出が単位取得の必要条件となります。特にテキストはないけれど、『エンデの遺言』と『奪われし未来』の一読を勧めます。身の回りに起きていることに対して、原因はわからないながらも少し変だなと感じたことがあるなら、この講義で何か気づくことができるはずです。

科目名	秘書実務Ⅱ	授業形態	講義・実習	単位数	2
教員名	田口　智子				

授業の目的

ねらい	本講義は、ビジネスの実務技能を習得することを目的としている。秘書実務は、一般企業就職希望者に求められるビジネススキルを身につけることができる。具体的には、「秘書実務Ⅰ」で学習した敬語表現や応酬話法の復習を行うと共に、ビジネス実務に不可欠なビジネス文書作成をはじめ、グラフ作成、文書管理技法および会議運営のしかた、慶弔に係る事項など実践的な知識を習得し、就職後のビジネス実践力を高める。
到達目標	(1)敬語表現や応酬話法を復習・習得する。 (2)適切なビジネス文書(社内・社外)作成の知識を習得する。 (3)グラフ作成・文書管理技法の知識を習得する。 (4)会議運営および慶弔等交際業務に係る知識を習得する。 (5)ビジネス実務教育の総集編として位置づけられる本講義を通じて即戦力となる人財育成を目指す。

授業の計画

第1回	【テーマ】応酬話法1 【計画内容】ケーススタディ～基本応対の復習1 ①応対の意味と意義を知る ②応酬話法を心得る 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、K、L、N	第9回	【テーマ】グラフ作成の基礎知識 【計画内容】グラフ作成演習 ①グラフの種類と用途の理解 ②グラフ作成演習 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習 独自作成教材テキスト指定箇所および配付資料の復習	A、B、K、L
第2回	【テーマ】応酬話法2 【計画内容】ケーススタディ～基本応対の復習2 ①演習を通じて、理解していることを行動で確認する ②応酬話法実践力を高める 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、H、K、L、N	第10回	【テーマ】通信業務の基礎知識 【計画内容】郵便知識 ①グラフ作成復習～小テストと ②郵便知識の基本 ③目的別郵便・通信の活用 ④季節の挨拶状作成＜暑中見舞いはがき＞ 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、K、L
第3回	【テーマ】電話応対1 【計画内容】見えない相手への電話応対の実践1 ①電話応対基礎演習 ②応対用語の習得 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、E、H、K、N	第11回	【テーマ】ファイリングの基礎知識 【計画内容】ファイリングの基礎 ①ファイリングの目的 ②ファイリングの種類 ③ファイリングの活用 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、K、L
第4回	【テーマ】電話応対2 【計画内容】見えない相手への電話応対の実践1 ①電話応対応用演習 ②ケーススタディ? こんな時どうする？ ③小テスト 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、E、H、K、N	第12回	【テーマ】会議に関する基礎知識 会議する基礎的知識 【計画内容】会議の種類と活用方法 ①会議形式 ②会議の準備業務 ③議事録の作成 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、K、L
第5回	【テーマ】社外文書作成の基本1 【計画内容】社外文書作成の基本を理解する ①基本フォーマットの理解＜全体構成＞ ②基本フォーマットの理解＜前文＞ 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、K、L	第13回	【テーマ】交際業務に関する基礎知識2 【計画内容】交際業務の基本的理解 ①慶事業務の基礎 ②弔事業務の基礎 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、K、L
第6回	【テーマ】社外文書作成の基本2 【計画内容】社外文書作成演習 ①基本フォーマットの演習 ②小テスト 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、K、L	第14回	【テーマ】交際業務に関する基礎知識2 【計画内容】交際業務基礎知識復習 ①基礎的知識の確認 ②パーティに関する基礎知識 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、E、K、L
第7回	【テーマ】社内文書作成の基本1 【計画内容】社内文書作成の基本を理解 ①社外文書作成の基本復習 ②社内文書基本フォーマットの理解 ③社内文書作成演習 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、K、L	第15回	【テーマ】総合演習 【計画内容】人的資源管理業務 ①交際業務小テスト ②現代社会と人財 ③情報管理業務 【授業時間外の学修内容】総合復習	A、B、E、K、L
第8回	【テーマ】社内文書作成の基本2 【計画内容】社内文書作成演習 ①社内文書基本フォーマット応用 ②小テスト 【授業時間外の学修内容】指定課題の取り組みと復習	A、B、K、L			

テキスト	田口智子、独自作成教材プリント
参考書	講義上にて随時提示します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	20%	20%	20%		20%	20%
補足	理解度	理解度・意欲	内容充足度		集中力・意欲	把握力・積極性

課題に関するフィードバックの方法	指導過程「事前理解度の確認ー課題および試験ー事後理解度の確認」に即して随時指導を行う。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	社長秘書
	科目との関連	専門知識・実務技能力

質問への対応	状況に応じて、随時最大限に対応します。なお、個別指導が必要な場合は、別途機会を設定して個別指導にあたります。
資格	
その他	本講義は、ビジネス実務を理解し、スキルアップを図る科目です。「インターンシップⅠ・Ⅱ」履修希望学生・就職希望学生は、ビジネススキルを高めるために履修をお薦めします。 講義15回、定期試験1回、計16回の講義展開となります。

科目名	ビジネス関連法規Ⅰ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	倉本　英明				

授業の目的	
ねらい	「ブラック企業」という言葉が、私たちの生活にすっかり定着してしまいました。この言葉には、正確な定義はありません。しかし、私たちは、この言葉の中に、違法で過酷な労働環境にある企業を想像することができます。この環境の中で労働者が自分の生活と権利を守るためには、「働くことに関するルール」を学ぶことが効果的です。この授業では、このルールについて学習し、自らの生活と権利を守ることの意味を考えます。
到達目標	(1)働くことに関するルールの存在を認識する。 (2)働くことに関するルールの内容を理解し、これを利用することができるようになる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】働くこととワークルール 【計画内容】労働法がなぜ必要なのかを確認します。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.8-p.14を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】労働時間(2) 【計画内容】休憩･休日･年次有給休暇について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.103-p.111を読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】労働法総論 【計画内容】労働法の基本的枠組みである労働条件決定システムと労働法の当事者について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.16-p.24を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】労働時間(3) 【計画内容】女性労働者の保護･休業休暇制度･働き方改革関連法の内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.112-p.121を読んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】労働契約(1) 【計画内容】労働契約の成立と就業規則の効力について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.26-p.37を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】雇用の終了(1) 【計画内容】雇用終了の種類を学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.124-p.135を読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】労働契約(2) 【計画内容】採用･内定･試用の意味とハラスメントについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.38-p.46を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】雇用の終了(2) 【計画内容】定年制･有期労働契約･雇止めについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.136-p.143を読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】労働契約(3) 【計画内容】人事異動をめぐる問題と懲戒処分のルールを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.47-p.54を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】労働組合法(1) 【計画内容】労働組合の意義について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.146-p.152を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】賃金(1) 【計画内容】法的保護の対象となる賃金とはなにかについて学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.58-p.68を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】労働組合法(2) 【計画内容】不当労働行為をめぐる諸問題について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.154-p.167を読んでおくこと。	A
第7回	【テーマ】賃金(2) 【計画内容】賃金の支払形態と賃金額の決定について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.69-p.82を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】学習内容のまとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習内容を整理し、その内容を再確認します。 【授業時間外の学修内容】指定テキストおよび配付プリント等の内容を復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】労働時間(1) 【計画内容】法定労働時間の内容を学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.84-p.96を読んでおくこと。	A			

テキスト	石田眞･道幸哲也･浜村彰･國武英生、2019年、『ワークルール検定初級テキスト[第2版]』、旬報社、9784845115914
参考書	適宜プリントを配付します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		30%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	学習の積み重ねが大切なので、遅刻･欠席はしないでください。また、皆さんの理解度を重視しますので、授業の計画は変更することがあります。

科目名	ビジネス関連法規Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	倉本　英明				

授業の目的	
ねらい	私たちの普段の生活における行動の基礎には「民法」という法律が深く関わっています。民法は、財産・契約・家族などの項目について規定しています。この授業では、民法を学習することで、私たちの日常の行動を法律的に理解できるようになること、また、法的トラブルを回避することができる法的知識を習得することを目指します。
到達目標	(1)日常生活と民法との関係を理解し、さらに説明することができる。 (2)生活上の法的トラブルから身を守る法律知識を身に付け、これを活用することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】民法とはなにか 【計画内容】民法を学習する意味と民法の構成について学びます。 【授業時間外の学修内容】身の回りの法的トラブルについて考えみること。	A	第9回	【テーマ】不動産の物権変動 【計画内容】不動産の物権変動の仕組みを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.244-p.254を読んでおくこと。	A
第2回	【テーマ】財産法の入り口 【計画内容】民法における財産法の基本的な考え方の流れを習得します。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.34-p.49を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】不法行為責任 【計画内容】社会生活を送る者が相互に負う一般的義務違反を理由とする損害賠償責任について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.270-p.285を読んでおくこと。	A
第3回	【テーマ】権利・義務の主体 【計画内容】誰がどのような場合に権利を取得し義務を負うのか、また、どのような人が1人で完全に有効な契約を結ぶことができないのかを理解します。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.52-p.64を読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】家族法の基礎 【計画内容】民法における親族の範囲を確認します。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.310-p.316を読んでおくこと。	A
第4回	【テーマ】契約の成立 【計画内容】どのような場合に契約が成立するのか、主観的有効要件を中心に検討します。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.90-p.112を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】婚姻・離婚・親子 【計画内容】民法が規定する婚姻、離婚及び親子関係の成立について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.316-p.338を読んでおくこと。	A
第5回	【テーマ】契約の分類 【計画内容】契約の発生原因と主たる契約の効力を確認します。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.128-p.137を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】相続 【計画内容】相続の意味、相続人、相続の効力及び相続の放棄・承認について学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.340-p.348を読んでおくこと。	A
第6回	【テーマ】債務不履行 【計画内容】債務者が債務を履行しない場合、債権者にどのような救済手段が与えられるかを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.160-p.177を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】遺言書と遺産分割協議 【計画内容】遺言書を書く意義と遺産分割協議の内容について理解します。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.348-p.355を読んでおくこと。	A
第7回	【テーマ】債権担保(人的担保) 【計画内容】債権者が債権を回収するための人的担保の内容を理解します。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.208-p.216を読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】学習内容のまとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習内容を整理し、その内容を再確認します。 【授業時間外の学修内容】指定テキスト及び配付プリント等を復習しておくこと。	A
第8回	【テーマ】債権担保(物的担保) 【計画内容】債権者が債権を回収するための物的担保の内容を理解します。 【授業時間外の学修内容】指定テキストの p.216-p.223を読んでおくこと。	A			

テキスト	松久三四彦・遠山純弘・林誠司、2019年、『オリエンテーション民法』、有斐閣、9784641137875
参考書	適宜プリントを配付します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		30%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	学習内容の積み重ねが大切なので、遅刻・欠席はしないでください。また、皆さんの理解度を重視しますので、授業の計画は変更することがあります。

科目名	マネジメントゲーム	授業形態	演習	単位数	2
教員名	簇本　智之				
授業の目的	ねらい	経営者の立場で5期間の経営をボードゲームを通じて行い、開発、購買、製造、販売、財務活動について自ら意思決定し、また、各期について会計記録から財務諸表を作成し、翌期の経営計画立案の基礎情報とすることを学ぶ。			
	到達目標	(1)株式会社の経営者が何をすべきかを理解する。 (2)企業経営がリスクを負うことであること理解する。 (3)企業活動が財務諸表に描写されることを理解する。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】イントロダクション 【計画内容】企業活動が財務諸表に描写されることを理解する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をよく読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】経営計画の立案 【計画内容】経営計画の立案方法を学習する。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料を良く読んでくること。	H、L
	第2回	【テーマ】株式会社の機能 【計画内容】株式会社が危険かつ大規模な事業の運営方法として優れていることを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料を良く読んでくること。	A	第10回	【テーマ】シミュレーション4 【計画内容】シミュレーション第4期を行う。 【授業時間外の学修内容】シミュレーション第4期の経営計画を立案してくること。	H、L
	第3回	【テーマ】シミュレーション1 【計画内容】シミュレーション第1期を通じて基本ルールを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ルール表を良く読んでくること	H、L	第11回	【テーマ】決算4 【計画内容】シミュレーション第4期の業績について財務諸表の形で整理する。 【授業時間外の学修内容】第4期の財務諸表をできるところまで作成し、疑問点を書き出してくること。	H、L
	第4回	【テーマ】決算1 【計画内容】シミュレーション第1期の業績について財務諸表の形で整理する。 【授業時間外の学修内容】シュミレーション第1期でどのようなことを意思決定し、またどのようなことが起こったのかを思い出しておく。	H、L	第12回	【テーマ】問題解決 【計画内容】第4期のシミュレーションと決算を振り返って、目標利益を達成できなかった原因を見つけ、解決策を考える。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料を良く読んでくること。	H、L
	第5回	【テーマ】シミュレーション2 【計画内容】シミュレーション第2期を行う。 【授業時間外の学修内容】ルールと意思決定内容を思い出しておく。	H、L	第13回	【テーマ】シミュレーション5 【計画内容】シミュレーション第5期を行う。 【授業時間外の学修内容】シミュレーション第5期の経営計画を立案してくること。	H、L
	第6回	【テーマ】決算2 【計画内容】シミュレーション第2期の業績について財務諸表の形で整理する。 【授業時間外の学修内容】シミュレーション第1期の内容と財務諸表を照らし合わせて、第2期の財務諸表をどのように作成していくのかを考えてくること。	H、L	第14回	【テーマ】決算5 【計画内容】シミュレーション第5期の業績について財務諸表の形で整理する。 【授業時間外の学修内容】第5期の財務諸表をできるところまで作成し、もしあれば、疑問点を書き出してくること。	H、L
	第7回	【テーマ】シミュレーション3 【計画内容】シミュレーション第3期を行う。 【授業時間外の学修内容】ルールを確認し、第2期までのシミュレーション結果を振り返り、第3期で確認したいことを書き出してくること。	H、L	第15回	【テーマ】模擬株主総会 【計画内容】1人当たり5分程度で第5期について資料を提示しながら株主に報告する。 【授業時間外の学修内容】株主総会での発表内容を準備してくること。	F、L
	第8回	【テーマ】決算3 【計画内容】シミュレーション第3期の業績について財務諸表の形で整理する。 【授業時間外の学修内容】第3期の財務諸表を作成する上で、疑問点を書き出してくること。	H、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	協和醗酵工業、1978年、『人事屋が書いた経理の本』、ソーテック社、9784881660010

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	授業中はいつでも質問してください。または簇本までメールをください。
資格	
その他	遅刻しないこと、筆記具と電卓を忘れないこと。

科目名	メイクアップ演習(ネイルアートを含む)	授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	二橋　絵美、小笠原　諒				
授業の目的	ねらい	ネイル、ヘアメイクの基礎的な知識を学び、自分の顔と特徴を知り、自分に合ったメイクアップ方法を身に付けます。また、メイクアップの特徴を理解し、TPO(時間・場所・場合)に合った、どんな年代にも好感の持たれる方法を学びます。さらに、学外発表会(ファッションショー)に向けて、自分の作品に合うヘアメイク、ネイルについて演習を通して実践します。			
	到達目標	(1)ネイル、ヘアメイクについて知る。 (2)ファッションとの合わせ方を理解する。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ネイルとは 【計画内容】ネイルの種類、歴史、病気を学びます。 (二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をよく読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】チップ作成 【計画内容】作品作り。(二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。	D
	第2回	【テーマ】爪の整形 【計画内容】アイモデルで説明をしながら学びます。 (二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントをよく読み、復習しておくこと。	A、B	第10回	【テーマ】チップ作成 【計画内容】作品作り。(二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】配付プリントをよく読んで、復習しておくこと。	D
	第3回	【テーマ】爪のケア 【計画内容】アイモデルでケアの方法を学びます。 (二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントをよく読み、復習しておくこと。	B	第11回	【テーマ】チップ完成 【計画内容】自分でデッサンしたデザインチップを完成させます。(二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】配付プリントをよく読んで、復習しておくこと。	D
	第4回	【テーマ】ケアとマニキュア 【計画内容】アイモデルでケア、マニキュアの塗り方を学びます。(二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】前回までの授業を通して得た技術を復習しておくこと。	A	第12回	【テーマ】ヘアアレンジ 【計画内容】ヘアアレンジの基礎を学びます。 (小笠原諒) 【授業時間外の学修内容】トータルメイクについて配付したプリントを読んで理解しておくこと。	A
	第5回	【テーマ】マニキュア 【計画内容】マニキュアの塗り方を学びます。 (二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントをよく読み、復習しておくこと。	B	第13回	【テーマ】ヘアアレンジ 【計画内容】ヘアアレンジの応用を演習を通して学びます。(小笠原諒) 【授業時間外の学修内容】ヘアについての基礎知識を配付プリントを読んで理解しておくこと。	B
	第6回	【テーマ】チップのデッサン 【計画内容】自分でテーマを決めチップデザインを考えてデッサンします。(二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントをよく読み、復習しておくこと。	A、B	第14回	【テーマ】ヘアアレンジと女性像 【計画内容】ヘアアレンジの実習と女性像について学びます。(小笠原諒) 【授業時間外の学修内容】配付プリントをよく読んで理解しておくこと。	A
	第7回	【テーマ】アート練習 【計画内容】チップでアートの方法を学びます。 (二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントをよく読み、復習しておくこと。	B	第15回	【テーマ】トータルコーディネートのまとめ 【計画内容】自分で考えたトータルコーディネート(ネイル、ヘアアレンジ)を具現化します。 (二橋絵美・小笠原諒) 【授業時間外の学修内容】ネイル、ヘアメイクのトータルコーディネイートについて理解しておくこと。	B、L
	第8回	【テーマ】チップ作成 【計画内容】今まで学んだ事を作品にします。 (二橋絵美) 【授業時間外の学修内容】今まで配付したすべてのプリントをよく読み、復習しておくこと。	D			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				50%	20%	30%
	補足						到達度確認

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回授業時に具体的に説明します。
資格	
その他	

科目名	テキスタイル	授業形態	実習	単位数	1
教員名	大信田　静子				

授業の目的

ねらい	私たちは、常に繊維・布に関わっています。身近に存在する様々な素材は、生活を豊かにする大切な関係を結んでいる存在です。このような素材を活用し、創り手として個性を意識しながら製作していく力を養っていきます。基本として手織りの作品、技法を取り入れた応用作品の2点を制作していきます。
到達目標	(1)様々な素材の扱い方、活用法を身につける。 (2)身近にある素材からまとめ上げる構成力を身につける。 (3)日常触れている布(繊維)の活用法を身につける

授業の計画

第1回	【テーマ】講義ガイダンス 【計画内容】講義を紹介し、15回の講義展開について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】作品2: 布の応用作品 【計画内容】様々な素材を使い色々な手法でアクセサリを作成していきます。 【授業時間外の学修内容】プリントにある手法に目を通しておくこと。	D
第2回	【テーマ】平織りの技法(小さめのテーブル飾りの作成) 【計画内容】デザインの大きさにあわせ、タテ糸を選び整形していきます。 【授業時間外の学修内容】アート作品の雑誌など参考となるものを調べておくこと。	D	第10回	【テーマ】作品2: 布の応用作品 【計画内容】様々な素材を使ったアクセサリのデザインを考えていきます。つまみ技法や編み物、アジアンノットなどの練習をしていきます。 【授業時間外の学修内容】デザインに合う素材を考えてくること。	D
第3回	【テーマ】作品1: 平織り 【計画内容】整形したタテ糸を織り機に通していきます。 【授業時間外の学修内容】ヨコ糸の配色を考えておく。	D	第11回	【テーマ】作品2: 布の応用作品 【計画内容】描いたデザインに合う手法や素材を選んでいきます。 【授業時間外の学修内容】デザインに合う素材を購入しておくこと。	D
第4回	【テーマ】作品1: 平織り 【計画内容】タテ糸を整え、選んだヨコ糸を入れ、織っていきます。 【授業時間外の学修内容】制作する糸を準備しておくこと。	D	第12回	【テーマ】作品2: 布の応用作品 【計画内容】デザインに合うように選んだ手法や素材で作品制作をしていきます。 【授業時間外の学修内容】各自作品制作を進めておくこと。。	D
第5回	【テーマ】作品1: 平織り 【計画内容】ヨコ糸のバランスを見て織っていきます。 【授業時間外の学修内容】糸配置を考えておくこと。	D	第13回	【テーマ】作品2: 布の応用作品 【計画内容】デザインに合うように選んだ手法や素材で作品制作をしていきます。 【授業時間外の学修内容】各自作品制作を進めておくこと。	D
第6回	【テーマ】作品1: 平織りの仕上げ 【計画内容】織り機から外し、糸の始末について説明します。 【授業時間外の学修内容】各自作品製作を進めておくこと。	D	第14回	【テーマ】作品2: 布の応用作品完成 【計画内容】デザインに合うように選んだ手法や素材で作品制作をしていきます。 【授業時間外の学修内容】各自作品制作を進めておくこと。	D
第7回	【テーマ】作品1: 平織りの仕上げ 【計画内容】糸の始末を行い、作品を整えていきます。 【授業時間外の学修内容】各自作品製作を進めておくこと。	D	第15回	【テーマ】作品の提出及び批評会・まとめ 【計画内容】作品のプレゼンテーションおよび他者の作品についても理解を深めていきます。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの内容を考えておくこと。	D
第8回	【テーマ】作品1: 平織りの仕上げ 【計画内容】作品の仕上げと提出用紙を作成して提出します。 【授業時間外の学修内容】作品2のデザインを考えておくこと。	D			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				60%	40%	
補足				デザイン・創意工夫	作品への取組意欲・態度	

課題に関するフィードバックの方法	様々な素材を活用してまとめ上げていく過程と作品について評価していきます。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	素材から手作りすることで一つしかない作品に仕上がります。様々なアートに触れて感性を磨いていきましょう。

科目名	ドレーピング	授業形態	実習	単位数	1
教員名	加藤　万紀				
授業の目的	ねらい	ドレーピング(立体裁断)とは、平面の布を用いて直接ボディ(人台)にデザインをすることの専門用語です。ここでは、身頃、衿、袖、スカートのドレーピング制作を通して、立体的な観点で衣服デザインを構築する基本的な技術と知識を学びます。			
	到達目標	(1)衣服の立体構成を学ぶ。 (2)ドレーピングの基礎的技法を習得し、応用力を培う。 (3)立体的な視点から捉えた衣服デザイン力を養う。			

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業内容と15回の授業展開を説明します。演習時に必要な教材の説明と準備をします。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ドレーピング基礎演習Ⅲ 【計画内容】ドレーピング基礎フラットカラー 【授業時間外の学修内容】シーチングの地のしを完了しておくこと。配付プリントを読んでおくこと。	A、B
第2回	【テーマ】ドレーピング基礎演習Ⅰ 【計画内容】シーチングの地のし方法とドレーピング基礎ストレートスカート① 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	A、B	第10回	【テーマ】ドレーピング基礎演習Ⅳ 【計画内容】ドレーピング基礎ワンピーススリーブ 【授業時間外の学修内容】シーチングの地のしを完了しておくこと。配付プリントを読んでおくこと。	A、B
第3回	【テーマ】ドレーピング基礎演習Ⅰ 【計画内容】ドレーピング基礎ストレートスカート② 【授業時間外の学修内容】前回学んだ内容を復習し、課題を終わらせること。	A、B	第11回	【テーマ】ドレーピング基礎演習Ⅴ 【計画内容】ドレーピング基礎演習Ⅱ～Ⅳまでの製図展開、まとめと課題提出 【授業時間外の学修内容】前回学んだ内容を復習し、課題を終わらせること。	A、B
第4回	【テーマ】ドレーピング基礎演習Ⅰ 【計画内容】ドレーピング基礎ストレートスカート①②の製図展開、まとめと課題提出。 【授業時間外の学修内容】前回学んだ内容を復習し、課題を終わらせること。	A、B	第12回	【テーマ】ドレーピング応用演習Ⅱ 【計画内容】ドレーピング応用演習ショールカラー 【授業時間外の学修内容】シーチングの地のしを完了しておくこと。配付プリントを読んでおくこと。	A、B
第5回	【テーマ】ドレーピング応用演習Ⅰ 【計画内容】ドレーピング応用フレアースカート① 【授業時間外の学修内容】シーチングの地のしを完了しておくこと。配付プリントを読んでおくこと。	A、B	第13回	【テーマ】ドレーピング応用演習Ⅲ 【計画内容】ドレーピング応用演習パフスリーブ 【授業時間外の学修内容】シーチングの地のしを完了しておくこと。配付プリントを読んでおくこと。	A、B
第6回	【テーマ】ドレーピング応用演習Ⅰ 【計画内容】ドレーピング応用フレアースカート② 【授業時間外の学修内容】前回学んだ内容を復習し、課題を終わらせること。	A、B	第14回	【テーマ】ドレーピング応用演習Ⅳ 【計画内容】ドレーピング応用演習Ⅲ～Ⅳの製図展開、まとめと課題提出 【授業時間外の学修内容】前回学んだ内容を復習し、課題を終わらせること。	A、B
第7回	【テーマ】ドレーピング基礎演習Ⅱ 【計画内容】ドレーピング基礎身頃原型① 【授業時間外の学修内容】シーチングの地のしを完了しておくこと。配付プリントを読んでおくこと。	A、B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】課題の批評会とドレーピングのまとめ 【授業時間外の学修内容】これまでの学習をまとめておくこと。	F、L
第8回	【テーマ】ドレーピング基礎演習Ⅱ 【計画内容】ドレーピング基礎身頃原型② 【授業時間外の学修内容】前回学んだ内容を復習し、課題を終わらせること。	A、B			

テキスト	プリントを使用します
参考書	キャロライン・キース、2014年、『ドレーピング完全講習本』、文化出版局、9784579114894

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	第15回で課題を返却します。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	講義内で随時受け付けます。
資格	
その他	教材は各自の用意になります。

科目名	キッズファッション	授業形態	実習	単位数	1
教員名	大信田　静子				

授業の目的		
	ねらい	こどもの体型の特徴(腹部が前方に出ている、頭の大きさが体に対して大きい、足が短いなど)を捉えた、衣服の形状を考えていきます。また、動きの活発なこどもの衣服の機能性や、運動量などを考慮していくことも大切です。好奇心の旺盛なこどもに夢を与えるような服を製作していきます。
	到達目標	(1)こどもの体型を理解する。 (2)こどもの運動量や敏感肌への素材などを理解する。 (3)衣服を通して、こどもの心を大切に育てることを学ぶ。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をよく読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】本縫い 【計画内容】見返しや襟、カフスなどを裁断し、接着芯をつけていきます。素材によるミシン・ロックミシンの調節をしていきます。 【授業時間外の学修内容】各自の進度に合わせて縫い進めておくこと。	D
	第2回	【テーマ】こどもの成長と衣服 【計画内容】こどもの成長段階について説明をし、体型の変化を学びます。また、こどもは肌が弱いため素材についても学んでいきます。 【授業時間外の学修内容】こどもに着せたい衣服のデザインを考えておくこと。	A	第10回	【テーマ】こども服の留め具の説明 【計画内容】留め具として、ドットボタンやゴムシャーリング、マジックテープ、平ゴムなど用途に応じて使用することを説明していきます。 【授業時間外の学修内容】各自の進度に合わせて縫い進めておくこと。	D
	第3回	【テーマ】年齢とサイズの関係・デザインの選定 【計画内容】こどもの衣服は、年齢または身長でサイズが決められていることを理解し、何歳の衣服を作成するかを決めていきます。またデザインも選定していきます。 【授業時間外の学修内容】デザイン画を2枚作成してくることと、素材(サンプル)を2種類以上用意すること。	D	第11回	【テーマ】本縫い 【計画内容】こどもに夢を与え、遊び心をくすぐるような装飾を考えていきます(ポケット、フード、フェルト、ボタンなど)。 【授業時間外の学修内容】各自のデザインに合わせて装飾を考えてくること。留め具を用意しておくこと。	D
	第4回	【テーマ】デザイン・生地の選定及び製図 【計画内容】サイズ・デザインに合わせて、腹グセなどを入れ製図を作成していきます。 【授業時間外の学修内容】各自、サイズに合わせた原型を切ってくること。	D	第12回	【テーマ】本縫い 【計画内容】ボディに着用し、最終の形を整えていきます。こどもの体型を圧迫しないために再度チェックしていきます。 【授業時間外の学修内容】各自のデザインに合わせて装飾を考えてくること。装飾するものを用意してくること。	D
	第5回	【テーマ】製図・裁断・縫製 【計画内容】製図に沿って、布を裁断して各パーツの組み立て(仮に縫い合わせ)を行います。 【授業時間外の学修内容】各自の決定した生地を用意すること	D	第13回	【テーマ】本縫い 【計画内容】こどもの好奇心を引き出すような装飾をしていきます(ドラえもんのポケット、ボタンの止め方で形が変わるフードなど)。 【授業時間外の学修内容】各自装飾に使用するものを作成してくること。	D
	第6回	【テーマ】試着補正① 【計画内容】こども用ボディを使用して、試着補正を行います。 【授業時間外の学修内容】各パーツを仮に縫い合わせてくること。	D	第14回	【テーマ】本縫い・仕上げ 【計画内容】まつり縫いやアイロンがけなどを行い、最終チェックをします。 【授業時間外の学修内容】各自の進度に合わせ進めること。	D
	第7回	【テーマ】試着補正② 【計画内容】こども用ボディを使用して、試着補正を行います。 【授業時間外の学修内容】各パーツを仮に縫い合わせてくること。	D	第15回	【テーマ】作品批評会・まとめ 【計画内容】各自の作品についてプレゼンテーションを行い、他者との作品の理解を深めていきます。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの内容を考えておくこと。	D
	第8回	【テーマ】接着芯や縫い代の始末 【計画内容】こどもの肌は弱いので、伏せ縫いや三つ折りなどの技法、薄手の接着芯について説明します。 【授業時間外の学修内容】各自の進度に合わせて縫い進めておくこと。	D			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				60%	40%	
	補足				デザイン・縫製・創意工夫	作品への姿勢・意欲	

課題に関するフィードバックの方法	子供服の製作を通して、体型や素材への配慮、デザイン性を評価していきます。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	こども服は、創意工夫が大切です。柔軟な考えでデザインしていきましょう。

科目名	ファッション論(服飾文化史を含む)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	加藤　万紀				

授業の目的		
	ねらい	西洋の古代から現代までのファッションの変遷が、その時代の社会情勢、文化等に関連づいていることを学びます。 ファッションの基礎を築いたデザイナー達の足跡を辿って知識を深め、現代のファッションの在り方を追究します。
	到達目標	(1)服装のルーツを探りその原点を理解する。 (2)社会事象がファッションに影響を与えていることが理解できる。 (3)日本の現代のファッションのルーツを知ることができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス·人間と衣服の関係 【計画内容】授業内容と15回の授業展開について説明します。 衣服の成り立ちと目的、衣服の基本形態について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】20世紀の始まりとオートクチュールデザイナーの誕生 【計画内容】アールヌーヴォー期から20世紀の始まりにおける時代背景と衣服の特徴を説明し、この時代を牽引したデザイナーを紹介します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A
	第2回	【テーマ】古代文明の衣服① 【計画内容】メソポタミア文明、古代エジプトにおける衣服の特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】戦争後の衣服の変化 【計画内容】第一次世界大戦、第2次世界大戦後における時代背景とファッションの流行を説明し、この時代を牽引したデザイナーを紹介します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A
	第3回	【テーマ】古代文明の衣服② 【計画内容】ギリシア文明、ローマ文明における衣服の特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A	第11回	【テーマ】ファッション革命期 【計画内容】1960年代から1970年代における時代背景とファッションの流行を説明し、この時代を牽引したデザイナーを紹介します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A
	第4回	【テーマ】中世ヨーロッパの衣服① 【計画内容】ビザンティン、ロマネスク様式における時代背景と衣服の特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】多様化するファッション 【計画内容】1980年代から1990年代における時代背景とファッションの流行を説明し、この時代を牽引したデザイナーを紹介します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A
	第5回	【テーマ】中世ヨーロッパの衣服② 【計画内容】ゴシック文化における時代背景と衣服の特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】21世紀のファッションを考える① 【計画内容】ファストファッションについて考察しレポートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】ファストファッションについて調べ、各自の考えをまとめておくこと。	A、G
	第6回	【テーマ】近世ヨーロッパの衣服① 【計画内容】ルネサンス、バロック様式における時代背景と衣服の特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】21世紀のファッションを考える② 【計画内容】現在の時代背景とファッションの流行を把握した上で、今後のファッションの行方をレポートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】現在の社会情勢、思想、文化等について調べ、ファッションとの関連を考えておくこと。	A、G
	第7回	【テーマ】近世ヨーロッパの衣服② 【計画内容】ロココ文化における時代背景と衣服の特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】まとめとしてファッションの変遷を確認します。 【授業時間外の学修内容】配付プリントとノートで授業の内容を確認すること。	L
	第8回	【テーマ】近代ヨーロッパの衣服 【計画内容】フランス革命期における時代背景と衣服の特徴を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んでおくこと。	A			

テキスト	田村正隆、2012年、『世界服飾史のすべてがわかる本』、株式会社ナツメ社、9784816351952
参考書	参考プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	第15回で課題の返却をします。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	講義内で随時受け付けます。
資格	
その他	

科目名	ファッション造形実習Ⅲ	授業形態	実習	単位数	2
教員名	加藤　万紀				

授業の目的		
	ねらい	1年次で習得した基礎知識･技術を発展的に応用して、デザイン構成力、パターン、縫製技術の向上を目指すと共に、各種素材によって変化する扱い方、パターン展開、縫製方法の知識を深めます。また、より効率的な縫製工程を考え、短時間で完成度の高い作品を目指します。
	到達目標	(1)デザイン能力が養われ表現できる。 (2)新しい縫製技術を習得することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス･採寸 【計画内容】授業内容と30回の授業展開についての説明。 採寸の方法について学習。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第16回	【テーマ】ディティールパターン展開1 【計画内容】ポケット等のディティールパターンの作成･裁断。 【授業時間外の学修内容】書籍や資料でディテールのパターン、縫製方法について調べておくこと。	A、D
第2回	【テーマ】採寸と作品製作について 【計画内容】各自の採寸と作品の製作条件についての説明。 【授業時間外の学修内容】採寸の方法について理解しておくこと。	A、D	第17回	【テーマ】ディティールパターン展開2 【計画内容】ポケット等のディティールパターンの作成･裁断。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリント等で縫製方法について計画しておくこと。	D
第3回	【テーマ】デザイン相談1 【計画内容】作品のデザイン、素材、パターン方法の相談。 【授業時間外の学修内容】作品イメージ、デザイン、素材のプランを練っておくこと。	A、D	第18回	【テーマ】縫製工程計画 【計画内容】効率的な縫製工程の説明と縫製スケジュール計画。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュールを確認しておくこと。	A、D
第4回	【テーマ】デザイン相談2 【計画内容】作品のデザイン、素材、パターン方法の相談。 【授業時間外の学修内容】作品イメージ、デザイン、素材のプランを練っておくこと。	D	第19回	【テーマ】縫製1 【計画内容】ミシンの調整と作品の基本線縫製。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュール確認と質問事項等をまとめておくこと。	D
第5回	【テーマ】パターン作成1 【計画内容】パターン作成方法の説明。 【授業時間外の学修内容】テキスト、書籍等で各自のデザインに対応する参考製図を調べておくこと。	A、D	第20回	【テーマ】縫製2 【計画内容】作品の基本線縫製。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュール確認と質問事項等をまとめておくこと。	D
第6回	【テーマ】パターン作成2 【計画内容】作品のファーストパターン作成。 【授業時間外の学修内容】時間内に出来なかった作業を進めておくこと。	D	第21回	【テーマ】縫製3 【計画内容】作品の基本線縫製。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュール確認と質問事項等をまとめておくこと。	D
第7回	【テーマ】パターン作成3 【計画内容】作品のファーストパターン作成。 【授業時間外の学修内容】テキスト、書籍、既存製品等で各自の作品に対する縫製仕様を計画しておくこと。	D	第22回	【テーマ】縫製4 【計画内容】作品のディティール縫製。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュール確認と質問事項等をまとめておくこと。	D
第8回	【テーマ】パターン作成4 【計画内容】縫製仕様計画と工業用パターンについての説明。 【授業時間外の学修内容】時間内に出来なかった作業を進めておくこと。	A、D	第23回	【テーマ】縫製5 【計画内容】作品のディティール縫製。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュール確認と質問事項等をまとめておくこと。	D
第9回	【テーマ】パターン作成5 【計画内容】作品の縫製仕様計画と工業用パターン作成。 【授業時間外の学修内容】時間内に出来なかった作業を進めておくこと。使用素材を用意しておくこと。	D	第24回	【テーマ】縫製6 【計画内容】作品のディティール縫製。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュール確認と質問事項等をまとめておくこと。	D
第10回	【テーマ】仮縫い補正準備1 【計画内容】作品の裁断･印つけ。 【授業時間外の学修内容】テキスト等で方法を復習しておくこと。使用素材を用意しておくこと。	A、D	第25回	【テーマ】縫製7 【計画内容】作品のディティール縫製。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュール確認と質問事項等をまとめておくこと。	D
第11回	【テーマ】仮縫い補正準備2 【計画内容】作品の仮縫い。 【授業時間外の学修内容】時間内に出来なかった作業を進めておくこと。	A、D	第26回	【テーマ】縫製8 【計画内容】作品のディティール縫製。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュール確認と質問事項等をまとめておくこと。	D
第12回	【テーマ】仮縫い補正準備3 【計画内容】作品の仮縫い。 【授業時間外の学修内容】仮縫いが終了する計画で作業を進めておくこと。	D	第27回	【テーマ】縫製9 【計画内容】作品の仕上げ縫製。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュール確認と質問事項等をまとめておくこと。	D
第13回	【テーマ】試着補正1 【計画内容】試着補正(各自の体型に合わせて補正)とパターン修正。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	A、D	第28回	【テーマ】縫製⑩ 【計画内容】作品の仕上げ縫製。 【授業時間外の学修内容】縫製スケジュール確認と作品を仕上げる準備をしておくこと。	D
第14回	【テーマ】試着補正2 【計画内容】試着補正(各自の体型に合わせて補正)とパターン修正。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付したプリントを読み、理解を深めておくこと。	D	第29回	【テーマ】作品の仕上げと提出 【計画内容】作品を仕上げ、作品製作の過程をポートフォリオにまとめ提出。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を各自でチェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。	A、D
第15回	【テーマ】試着補正3 【計画内容】試着補正(各自の体型に合わせて補正)とパターン修正。 【授業時間外の学修内容】書籍や資料でディテールのパターン、縫製方法について調べておくこと。	D	第30回	【テーマ】まとめと批評会 【計画内容】作品のプレゼンテーションと講評。製作の過程について復習。 【授業時間外の学修内容】作品製作の過程をまとめたポートフォリオの準備と、プレゼンテーション内容を考えておくこと。	A、F

テキスト	中村賢二郎、2012年、『SEWING Ⅰ BLOUSE ONE-PIECE DRESS』、学校法人杉野学園出版部 中村賢二郎、2012年、『SEWING Ⅱ SKIRT PANTS』、学校法人杉野学園出版部
参考書	参考プリントを配付します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	第30回で課題を返却します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	デザイナー、パターンナー、ソーイングオペレーター
		科目との関連	アパレルのデザイン、パターン、ソーイングの経験からデザイン、素材、体型等に合わせたパターン作成方法と完成度を高めるための縫製技術、効率的な生産方法を教授します。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	「ファッション造形実習Ⅰ」「ファッション造形実習Ⅱ」を履修済みであることが望ましい。作品製作の材料は各自で用意します。

科目名	ファッション造形実習Ⅳ	授業形態	実習	単位数	2
教員名	大信田　静子				
授業の目的	ねらい	被服製作上で、「ファッション造形実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で学んできた基礎的な理論と縫製技術を活かし、更に高度な縫製技術・素材の扱い方を習得するために、Ⅳの応用作品としてフォーマルに関する衣服（スーツ、アフタヌーン・ドレス、イブニング・ドレス、ウェディング・ドレスなど）から1点を製作します。			
	到達目標	(1)フォーマルに関する衣服を手掛けることで、高度な技術力を身につける。 (2)繊細な素材の扱い方や、オートクチュールの縫製技術を習得する。 (3)立体裁断からのパターン展開を習得する。			

授業の計画

第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業紹介、30回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第16回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製8 【計画内容】本体にカラー、袖などを縫製していきます。 コンシールファスナーのつけ方について説明していきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	A、D
第2回	【テーマ】繊細な素材の扱い方・縫製方法 【計画内容】フォーマルドレスに適した素材（絹・レース・ベルベットなど）について説明します。また、薄手素材の縫製方法について説明します。 【授業時間外の学修内容】フォーマルドレスの種類について調べておくこと。製作したいデザインを考えておくこと。	A、D	第17回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製9 【計画内容】ドレスを支えるためのインサイドベルトやヘッドドレスについて説明していきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	A、D
第3回	【テーマ】ビスチェ、ペチコートについて 【計画内容】デザインを選定し、それに合うドレスの土台となるビスチェ、ペチコートなどについて説明します。 【授業時間外の学修内容】製作したいドレスの素材について調べておくこと。	A、D	第18回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製10 【計画内容】デザインに合った縫製方法を行い、縫製技術を高めていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	D
第4回	【テーマ】デザイン・生地の選定・製図について 【計画内容】各自のデザイン及び素材を選定して立体裁断縫製（ドレーピング）、パターン作図をしていきます。 【授業時間外の学修内容】製作したいドレスのデザイン画を描いておくこと。	D	第19回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製11 【計画内容】各デザインの装飾について検討していきます。 フォーマルへの装飾（ビーズ、スパンコール・レースなど）についての説明をしていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	A、D
第5回	【テーマ】平面製図及びトワルの作成 【計画内容】デザイン画に沿ってパターン作図または1/2のボディでドレーピングをしていきます（CAD使用可）。 【授業時間外の学修内容】立体裁断の技法を復習しておくこと。	D	第20回	【テーマ】フォーマルの本縫い12 【計画内容】デザインに合った縫製方法を行い、装飾を仕上げていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	D
第6回	【テーマ】デザイン画に沿って製図・トワルの製作について 【計画内容】デザイン画に沿って製図またはトワルの製作をしていきます。 デザインによっては1/2ボディを使用し形にしていきます。 【授業時間外の学修内容】試着補正できるように準備しておくこと。	D	第21回	【テーマ】フォーマルの本縫い13 【計画内容】デザインに合った縫製方法を行い、装飾を仕上げていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫いを進めておくこと。	D
第7回	【テーマ】試着補正1（天竺による仮縫い） 【計画内容】シーチングで縫製して、試着できる状態に製作していきます。 【授業時間外の学修内容】試着補正できるように準備しておくこと。	D	第22回	【テーマ】フォーマルの本縫い14 【計画内容】デザインに合った縫製方法を行い、装飾を仕上げていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの装飾について考えておくこと。	D
第8回	【テーマ】試着補正2（天竺による仮縫い） 【計画内容】試着補正を行い、パターンの訂正を行い、製作素材の裁断をしていきます。 【授業時間外の学修内容】各自の素材を準備しておくこと。	D	第23回	【テーマ】フォーマルの本縫い15 【計画内容】デザインに沿って仕上げていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの装飾について考えておくこと。	D
第9回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製1 【計画内容】製作素材（布）を裁断・試着補正をしていきます。 【授業時間外の学修内容】縫製を進めておくこと。	D	第24回	【テーマ】フォーマルの本縫い16 【計画内容】デザインに沿って仕上げていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫い・装飾を進めておくこと。	D
第10回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製2（試着補正） 【計画内容】製作素材（布）を裁断・試着補正をしていきます。補正終了後、縫い代の始末について説明をします。（巻きロック、伏せ縫い、袋縫いなど本縫いの方法） 【授業時間外の学修内容】縫製を進めておくこと。	A、D	第25回	【テーマ】フォーマルの本縫い17 【計画内容】デザインに沿って仕上げていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫い・装飾を進めておくこと。	D
第11回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製3（試着補正） 【計画内容】製作素材（布）を裁断・試着補正をしていきます。補正終了後、巻きロック、伏せ縫い、袋縫いなど本縫い方法に沿って本縫いをしていきます。 【授業時間外の学修内容】本布による縫製を進めておくこと。	D	第26回	【テーマ】フォーマルの本縫い18 【計画内容】フォーマルをトータルコーディネートで考えていきます。 小物（ブーケ、傘など）も検討していきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫い・装飾を進めておくこと。	D
第12回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製4（本縫いについて） 【計画内容】本布での試着補正をしていきます。 巻きロック、伏せ縫い、袋縫いなど本縫いをしていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫いの縫製を進めておくこと。	D	第27回	【テーマ】フォーマルの本縫い19 【計画内容】フォーマルをトータルコーディネートで考えて縫製していきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫い・装飾を進めておくこと。	D
第13回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製5 【計画内容】巻きロック、伏せ縫い、袋縫いなど本縫い方法に沿って本縫いをしていきます。 素材に合った接着芯についての説明をしていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫いの縫製を進めておくこと。	A、D	第28回	【テーマ】フォーマルの本縫い20 【計画内容】フォーマルドレスをトータルに仕上げていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの最終チェックの準備をしておくこと。	D
第14回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製6 【計画内容】デザインに沿って縫製を進めていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫いの縫製を進めておくこと。	D	第29回	【テーマ】フォーマルの仕上げ 【計画内容】洋服はトータルバランスで考えていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの最終チェックをしておくこと。	D
第15回	【テーマ】フォーマルの本布での縫製7 【計画内容】各パーツ、カラー、袖などの縫製をしていきます。 【授業時間外の学修内容】フォーマルの本縫いの縫製を進めておくこと。	D	第30回	【テーマ】フォーマルの提出・提出カード 【計画内容】フォーマルの総チェックをして提出します。 【授業時間外の学修内容】トータルコーディネートでチェックしておくこと。	D

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				60%	40%	
補足				デザイン・縫製・創意工夫	作品への取組・意欲・態度	

課題に関するフィードバックの方法	繊細な素材の扱い方、オートクチュールとしての縫製など学んだことについて、作品を通して評価していきます。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	フォーマル・ドレスの縫製の仕組み・薄地素材の縫製方法などを学ぶ上で、基礎的な縫い方は復習しておきましょう。

科目名	ファッションデジタルアート	授業形態	実習	単位数	1
教員名	大信田　静子				
授業の目的	ねらい	Illustrator でデザインしたものを布へ転写して、個性あふれる一つの作品を制作していきます。また、アパレル業界で使用している縫製仕様書や技術仕様書の見方についても説明していきます。ァッションの流行や社会現象などを捉えながら、各自の個性や感性をコンピュータ上で表現し、イメージの広がりを育てていくことを目的としています。				
	到達目標	(1)既成概念にとらわれない、自由な発想の展開と独創的なデザインを描くことができる。 (2)画面に描かれたデザインの配置を考え、実際に作品化することができる (3)アパレル業界での縫製仕様書や技術仕様書について理解できる				

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】15回の授業展開及び評価方法を説明していきます。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】Illustrato の操作方法⑧ 【計画内容】Illustrator で描いたデザインの布を使用して作品制作をしていきます。 【授業時間外の学修内容】作品制作を進めておくこと	B
第2回	【テーマ】Illustrator の操作方法① 【計画内容】Illustrator の起動･読み込み･保存について説明します。絵を描く上での一連の操作方法を行っていきます。 【授業時間外の学修内容】プリント(テキスト)の確認をしておくこと。	B	第10回	【テーマ】Illustrato の操作方法⑨ 【計画内容】Illustrator で描いたデザインの布を使用して作品制作をしていきます。 【授業時間外の学修内容】作品制作を進めておくこと	B
第3回	【テーマ】Illustrator の操作方法② 【計画内容】Illustrator の操作、図形･線を、描いていきます。 【授業時間外の学修内容】前回した操作の復習をしておくこと。	B	第11回	【テーマ】Illustrato の操作方法⑩ 【計画内容】Illustrator で描いたデザインの布を使用して作品制作をしていきます。 【授業時間外の学修内容】作品制作を進めておくこと	B
第4回	【テーマ】Illustrator の操作方法③ 【計画内容】Illustrator の操作、フリーハンドでの描き方、オブジェクトの変形･編集をしていきます。 【授業時間外の学修内容】前回した操作の復習をしておくこと。	B	第12回	【テーマ】Illustrato の操作方法⑪ 【計画内容】制作した作品の意図をまとめ提出します。 【授業時間外の学修内容】作品発表の内容を考えておくこと	B
第5回	【テーマ】Illustrator の操作方法④ 【計画内容】オブジェクトの合成、色の設定、文字の操作をしていきます。 【授業時間外の学修内容】プリントを確認しておくこと。	B	第13回	【テーマ】縫製仕様書及技術仕様書① 【計画内容】衣類のデザインに沿って、縫製仕様書及び技術仕様書はどのように作成していくのかを説明していきます 【授業時間外の学修内容】プリントの復習をしておくこと。	A
第6回	【テーマ】Illustrator の操作方法⑤ 【計画内容】Illustrator の操作方法を活用して各自のデザインを描いていきます。 【授業時間外の学修内容】プリントを確認しておくこと。	B	第14回	【テーマ】縫製仕様書及技術仕様書② 【計画内容】衣類のデザインに沿って、縫製仕様書及び技術仕様書はどのように作成していくのかを説明していきます 【授業時間外の学修内容】プリントの復習をしておくこと。	A
第7回	【テーマ】Illustrator の操作方法⑥ 【計画内容】Illustrator で描いた各自のデザインを布へ転写するうえでの配置を考え転写していきます。 【授業時間外の学修内容】プリントを確認しておくこと。	B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】制作した作品について発表していきます。 【授業時間外の学修内容】作品に対しての発表内容をまとめておくこと。	F
第8回	【テーマ】Illustrator の操作方法⑦ 【計画内容】Illustrator で描いたデザインの布を使用して作品制作をしていきます。 【授業時間外の学修内容】作品制作を進めておくこと	B			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				60%	40%	
	補足				作品の完成度	授業への取り組み･意欲	

課題に関するフィードバックの方法	個性あふれるデザイン及び作品に対しての評価をしていきます。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	

科目名	アクセサリークラフトB	授業形態	実習	単位数	1
教員名	辻　美恵子				

授業の目的		
	ねらい	実用的な作品の制作を通して、帽子の知識や基礎技術を習得する。応用作品では自由な発想のもとに帽子をデザインし、制作する。創造力を豊かにし、繊細な表現技術を養う。
	到達目標	(1)帽子の一般知識が習得できる。 (2)デザインに適応した素材等が選定できる。 (3)応用性と表現技術が養われる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス　帽子について 【計画内容】授業内容と授業展開について説明。帽子の一般知識、形の種類と名称について学ぶ。用具の説明、採寸方法、各部の名称、作図の基礎を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】作品Ⅱ(応用) 【計画内容】作品制作 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかった作業をしておくこと。	D
	第2回	【テーマ】帽子の制作について 【計画内容】作品Ⅰの制作条件について説明。 デザインの選定。パターンの整理① 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読み、理解を深めておく。	A、D	第10回	【テーマ】作品Ⅱ(応用) 【計画内容】作品の制作、作品の仕上げ、提出。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を各自チェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。	A、D、L
	第3回	【テーマ】作品Ⅰ(クロッシュ・キャップ) 【計画内容】布地、芯の選定。パターンの整理② 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読み、理解を深めておく。制作する作品のデザインを考え、材料を準備しておくこと。	A、D	第11回	【テーマ】作品Ⅲ(応用) 【計画内容】作品制作。 【授業時間外の学修内容】書籍等を調べ作品制作に必要な材料を準備しておくこと。	D
	第4回	【テーマ】作品Ⅰ(クロッシュ・キャップ) 【計画内容】布地、芯の裁断。印つけ。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読み、理解を深めておく。時間内にできなかった作業をしておくこと。	A、D	第12回	【テーマ】作品Ⅲ(応用) 【計画内容】作品制作。 【授業時間外の学修内容】書籍や資料で理解を深めておく。時間内にできなかった作業をしておくこと。	D
	第5回	【テーマ】作品Ⅰ(クロッシュ・キャップ) 【計画内容】クラウン、ブリムの縫製。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを読み、理解を深めておく。時間内にできなかった作業をしておくこと。	A、D	第13回	【テーマ】作品Ⅲ(応用) 【計画内容】作品制作。 【授業時間外の学修内容】時間内にできなかった作業をしておくこと。	D
	第6回	【テーマ】作品Ⅰ(クロッシュ・キャップ) 【計画内容】サイズ元の縫製、仕上げ。作品提出。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を各自チェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。	A、D、L	第14回	【テーマ】作品Ⅲ(応用) 【計画内容】作品の制作、作品の仕上げ、提出。 【授業時間外の学修内容】出来上がった作品を各自チェックし、作品提出票に必要事項を記入しておくこと。	A、D、L
	第7回	【テーマ】作品Ⅱ(応用) 【計画内容】デザインの選定。パターンの整理 【授業時間外の学修内容】制作する作品のデザインを考えておく。書籍等を調べ作品制作に必要な材料を準備しておくこと。	D	第15回	【テーマ】提出作品について 【計画内容】作品の返却。作品制作の過程の復習。提出作品の講評。 【授業時間外の学修内容】作品制作の過程を A4のファイル(ポートフォリオ)にまとめておく。	A、D、L
	第8回	【テーマ】作品Ⅱ(応用) 【計画内容】作品制作 【授業時間外の学修内容】書籍や資料で理解を深めておく。時間内にできなかった作業をしておくこと。	D			

テキスト	参考プリントを配付します ビデオ教材を使用します
参考書	参考図書を提示します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				70%	30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	作品返却時に学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	620研究室　E-Mail:tsujim@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	

科目名	ショップディスプレイ	授業形態	実習	単位数	2
教員名	早坂　眞梨子				

授業の目的		
	ねらい	商品装飾展示技能士3級程度の基礎知識、技術を学び、ディスプレイにおいてのカラーバランスや構成の仕方を習得し、目に留まる魅力的な商品演出ができるようになることを目的とします。
	到達目標	(1)訴求力のある魅力的なディスプレイができる。 (2)ディスプレイのトータルコーディネイト力をつける。 (3)ディスプレイの必要性を理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の紹介と授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第16回	【テーマ】服飾小物のアレンジ 【計画内容】ネクタイの基本的な結び方や、スカーフのアレンジを練習します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを予習しておくこと。	D
第2回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】質疑応答。 【授業時間外の学修内容】シラバスを見ておくこと。	A	第17回	【テーマ】視覚に訴える商品演出 【計画内容】ディスプレイの必要性と役割について学習します。 【授業時間外の学修内容】最近気になる店舗をリサーチしておくこと。	A
第3回	【テーマ】ピンワーク(1)アンビエ 【計画内容】ドレープを美しく見せる技法を練習します。 【授業時間外の学修内容】参考書を見ておくこと。	D	第18回	【テーマ】視覚に訴える商品演出 【計画内容】ディスプレイのカラーバランス、カラーコントロールを学習します。 【授業時間外の学修内容】最近気になる店舗をリサーチしておくこと。	D
第4回	【テーマ】ピンワーク(2)ドゥブルビエ 【計画内容】トルソーに1枚の布を切らずにワンピースに仕上げます。 【授業時間外の学修内容】デザインをイメージしておくこと。	D	第19回	【テーマ】トルソー2体のディスプレイ 【計画内容】トルソー2体のディスプレイのカラーバランスを習得します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを予習しておくこと。	D
第5回	【テーマ】ピンワーク(3)ギャザリング 【計画内容】浮き立つようなギャザーの技法を練習します。 【授業時間外の学修内容】参考書を見ておくこと。	D	第20回	【テーマ】トルソー3体のコーディネイト 【計画内容】演出の構図・構成を学習し、トルソー3体のクロスコーディネイトバランスを習得します。 【授業時間外の学修内容】最近気になる店舗のディスプレイを見ておくこと。	D
第6回	【テーマ】ピンワーク(3)ギャザリング 【計画内容】トルソーに1枚の布を切らずにワンピースに仕上げます。 【授業時間外の学修内容】デザインをイメージしておくこと。	D	第21回	【テーマ】学内ウィンドーデザイン(2) 【計画内容】テーマを決めてウィンドーのデザインをイメージします。 【授業時間外の学修内容】打ち出したいことを明確にしておくこと。	D
第7回	【テーマ】ピンワーク(4)タッキング 【計画内容】タックをとってボリュームのある華やかな技法を練習します。 【授業時間外の学修内容】参考書を見ておくこと。	D	第22回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(2)デザインのプレゼンテーション 【計画内容】デザインを基に具体的に提案、発表します。 【授業時間外の学修内容】デザインのスケッチを完成させておくこと。	D
第8回	【テーマ】ピンワーク(4)タッキング 【計画内容】トルソーに一枚の布を切らずにツーピースに仕上げます。 【授業時間外の学修内容】デザインをイメージしておくこと。	D	第23回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(2)製作準備 【計画内容】協力して完成を目標に時間内に製作します。 【授業時間外の学修内容】決定したデザインの製作法を考えておくこと。	D
第9回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1) 【計画内容】ピンワークを用いてウィンドーのディスプレイデザイン考えます。 【授業時間外の学修内容】ピンワークのデザインをイメージする。ピンワークの技法で演出するデザインのラフスケッチをしておくこと。	D	第24回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(2)製作準備 【計画内容】デザインに基づいてウィンドーディスプレイを製作します。 【授業時間外の学修内容】ウィンドーのサイズを確認しておくこと。	D
第10回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1) 【計画内容】デザインのプレゼンテーション。 【授業時間外の学修内容】デザイン、プランを完成させること。	F	第25回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(2)フィニッシュワーク 【計画内容】デザインに基づいてディスプレイを完成させます。 【授業時間外の学修内容】ウィンドーの清掃、取り付け準備の確認をする。	D
第11回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1)製作準備 【計画内容】協力してウィンドーの完成を目標に時間内に製作します。 【授業時間外の学修内容】決定したデザインの製作法を考えておくこと。	D	第26回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(2)フィニッシュワーク 【計画内容】協力して時間内にウィンドーディスプレイを完成させます。 【授業時間外の学修内容】フィニッシュワークの役割分担をしておくこと。	D
第12回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1)製作準備 【計画内容】協力してウィンドーの完成を目標に時間内に製作します。 【授業時間外の学修内容】役割分担を決めておくこと	D	第27回	【テーマ】様々な商品の魅せ方 【計画内容】ライザーを用い高低差をつけて商品を演出します。 【授業時間外の学修内容】テーマカラーを決めておくこと。	D
第13回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1)フィニッシュワーク 【計画内容】デザインに基づいてウィンドーディスプレイを製作します。 【授業時間外の学修内容】ウィンドーの清掃、取り付け準備の確認をする。	D	第28回	【テーマ】様々な商品の魅せ方 【計画内容】構図・構成を応用して美しいディスプレイを完成させます。 【授業時間外の学修内容】構成をイメージしておくこと。	D
第14回	【テーマ】学内ウィンドーディスプレイデザイン(1)フィニッシュワーク 【計画内容】協力して時間内にウィンドーディスプレイを完成させます。 【授業時間外の学修内容】フィニッシュワークの役割分担をしておくこと。	D	第29回	【テーマ】まとめと発表 【計画内容】実技を通してまとめを行います。 【授業時間外の学修内容】打ち出したいものを考えておくこと。	D
第15回	【テーマ】ギフトラッピング 【計画内容】基本的な箱の包み方とリボンのかけ方と結び方を習得します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを予習しておくこと。	D	第30回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】各自の作品のプレゼンテーション。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを予習しておくこと。	D

テキスト	プリントを配付します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	40%	30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	デコレーター
		科目との関連	商品に注目を向けさせるための商品プレゼンテーションテクニック

質問への対応	常時講義中に対応します。
資格	
その他	授業の進み具合で内容を変更することがあります。

科目名	ステージプランニング実習	授業形態	実習	単位数	1
教員名	端谷　真子				
授業の目的	ねらい	造形実習で制作した作品の総まとめとしての研究発表をショー形式で実施します。自作自演によるファッションショーの企画、構成、振付、音楽、照明などをプランニングし、創ること、着こなすこと、表現することを持続させるパワフル感を育成します。			
	到達目標	(1)ショーを作り上げるまでのプロセスを学ぶ。 (2)ひとつのことを成し遂げることによる達成感、満足感を体験する。 (3)コミュニケーション能力を身につける。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をして、30回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバス内容を熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】音楽 【計画内容】ショーを効果的にする作品のイメージやポリシーをより鮮明に表現する音楽について学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ別パートごとに作品のイメージを理解し、曲を選定しておくこと。	A、F、H
	第2回	【テーマ】ファッションショー企画 【計画内容】多くの要素を含んでいるファッションショーの全容を学びます。 【授業時間外の学修内容】本学におけるファッションショー(DVD)および学外のコレクションなどを鑑賞すること。	A	第10回	【テーマ】照明 【計画内容】作品をより印象的に見せるための重要な視覚的要素となる照明について学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ別パートごとに作品のイメージを理解し、照明について確認しておくこと。	A、F、H
	第3回	【テーマ】全体の構成 【計画内容】学生とテーマや全体の構成について、話し合いショーの構成を考えます。 【授業時間外の学修内容】本学におけるファッションショー(DVD)および学外のコレクションなどを鑑賞すること。	A	第11回	【テーマ】構成(企画演出・音楽・照明) 【計画内容】ステージ効果を考えたテーマ別パートにおける音楽、照明などを話し合います。 【授業時間外の学修内容】テーマ別パートにおける企画演出、音楽、照明など最終チェックをしておくこと。	A、F、H
	第4回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】作品を効果的に表現するために基本的なウォーキングを学びます。 【授業時間外の学修内容】本学におけるファッションショー(DVD)および学外のコレクションなどを鑑賞すること。	E	第12回	【テーマ】フィッティングボード作成 【計画内容】出順ごとに一覧を作成します。 【授業時間外の学修内容】最終出順をまとめておくこと。	F、G、H
	第5回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】作品を効果的に表現するために基本的なウォーキングを学びます。 【授業時間外の学修内容】実際にウォーキングの練習をしておくこと。	E	第13回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】パートごとに演出方法を探り、実践的に学びます。 【授業時間外の学修内容】パートごとに演出方法をまとめておくこと。	E、H
	第6回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】作品を効果的に表現するために基本的なウォーキングを学びます。 【授業時間外の学修内容】実際にウォーキングの練習をしておくこと。	E	第14回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】パートごとに演出方法を探り、実践的に学びます。 【授業時間外の学修内容】パートごとに演出方法をまとめておくこと。	E、H
	第7回	【テーマ】舞台美術 【計画内容】ステージや会場全体の空間を創造する舞台美術について学びます。 【授業時間外の学修内容】本学におけるファッションショー(DVD)および学外のコレクションなどを参考にまとめておくこと。	A	第15回	【テーマ】ウォーキングレッスン 【計画内容】モデルとして最も重要な表現力を学びます(モデルが作品着用)。 【授業時間外の学修内容】「作品におけるポイントはどこか、どこを見ていただきたいか」などまとめておくこと。	E、H
	第8回	【テーマ】企画・演出 【計画内容】企画・演出方法を学びます。企画するにあたり、総作品点数およびテーマ別パートの作品点数を確認します。また、出順についても話し合います。 【授業時間外の学修内容】テーマ別パートを一覧にまとめておくこと。	A、F、H			

テキスト	過去の DVD を使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	20%	20%	20%	20%	20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	平面のデザイン画から立体的に創り上げられた作品がステージ上で、生き生きと華やかにスポットを浴びる、そんなドラマを楽しみ、また作品にはそれぞれのシチュエーションが与えられ輝きを増すことを確認しましょう。 北方圏学術情報センターにおける被験講義です。

科目名	ラジオ・ドラマ製作	授業形態	演習	単位数	2
教員名	平井　伸之、田　光子、村松　幹男、冨井　昭次				
授業の目的	ねらい	1年次後学期の「声優トレーニング」の発展科目です。声優としての技能を高めつつ、ラジオドラマ製作の流れについて理解していきます。講義の後半で実際にラジオドラマ製作を行います（CD 化）。なお、発声練習は毎時間行います。			
	到達目標	(1)正しい発声ができる。 (2)声優としての表現ができる。 (3)ラジオドラマ製作の流れを理解している。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義についてオリエンテーションします。（全教員） 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】ラジオドラマの稽古④ 【計画内容】仮録音を行います。（平井伸之・冨井昭次） 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。	B、D、E、H
	第2回	【テーマ】ラジオドラマのシナリオ研究① 【計画内容】製作するラジオドラマのシナリオについて学びます。（村松幹男） 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。	B	第10回	【テーマ】ラジオドラマの稽古⑤ 【計画内容】仮録音を聞いて、修正点を話し合い、修正していきます。（平井伸之・冨井昭次） 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。	B、H
	第3回	【テーマ】ラジオドラマのシナリオ研究② 【計画内容】製作するラジオドラマのシナリオについて学びます。（田光子） 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。	B	第11回	【テーマ】ラジオドラマ製作① 【計画内容】ラジオドラマ製作を行います（一部集中）。（冨井昭次） 【授業時間外の学修内容】稽古すること。	B、D、E、H
	第4回	【テーマ】ラジオドラマのシナリオ研究③ 【計画内容】製作するラジオドラマのシナリオについて学びます。（平井伸之） 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。	B	第12回	【テーマ】ラジオドラマ製作② 【計画内容】ラジオドラマ製作を行います（一部集中）。（冨井昭次） 【授業時間外の学修内容】稽古すること。	B、D、E、H
	第5回	【テーマ】ラジオドラマのシナリオ研究④ 【計画内容】製作するラジオドラマのシナリオについて学びます。（村松幹男） 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。	B	第13回	【テーマ】ラジオドラマ製作③ 【計画内容】ラジオドラマ製作を行います（一部集中）。（冨井昭次） 【授業時間外の学修内容】稽古すること。	B、D、E、H
	第6回	【テーマ】ラジオドラマの稽古① 【計画内容】製作するラジオドラマのシナリオに基づいて、役割分担を行います。実際に読みを行います。（村松幹男） 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。	B、E、H	第14回	【テーマ】ラジオドラマ製作④ 【計画内容】ラジオドラマ製作を行います（一部集中）。（冨井昭次） 【授業時間外の学修内容】稽古すること。	B、D、E、H
	第7回	【テーマ】ラジオドラマの稽古② 【計画内容】製作するラジオドラマの読みを行います。（田光子） 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。	B、E、H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】完成した CD を聞き、まとめと振り返り、講評を行います。（全教員） 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。	L
	第8回	【テーマ】ラジオドラマの稽古③ 【計画内容】製作するラジオドラマの読みを行います。（田光子） 【授業時間外の学修内容】前回の復習をしておくこと。課題を行うこと。	B、E、H			

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				50%	40%	10%
	補足						役割の評価

課題に関するフィードバックの方法	随時行う。 第15回で完成した CD を聞き、まとめと振り返り、講評を行います。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	冨井昭次 / 元音楽スタジオ経営
		科目との関連	冨井昭次 / 元音楽スタジオ経営者としての経験を活かした指導

質問への対応	初回に説明します。
資格	
その他	一部集中になります。受講生数によってスケジュールは変更になる場合があります。

科目名	特殊効果	授業形態	演習	単位数	2
教員名	吉田　ひでお				

授業の目的	ねらい	舞台作品を制作する場合、より効果的に表現するための技術として特殊効果、特殊美術があげられる。本講ではそれについての基本的な事柄を学び、実際に制作を試みる。講義のみならず、演習や実習を通して想像力や広い視点を育てる。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅱ」、「特殊効果」、「舞踊研究」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を前学期よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。
	到達目標	(1)特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念がわかる。 (2)特殊効果・特殊美術で使用する工具・素材・加工法について理解している。 (3)実際に小作品を制作することができる。

授業の計画	第1回	【テーマ】特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念① 【計画内容】自分の今までの仕事、経験を紹介し、特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念について説明し、学生にも考えてもらう。 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】実際的な道具、工具、素材、加工について⑥ 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。	B、E、H
	第2回	【テーマ】特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念② 【計画内容】自分の今までの仕事、経験を紹介し、特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念について説明し、学生にも考えてもらう。 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】制作演習① 【計画内容】これまでの知識、技術を使って実際に小さな作品を作成する。何を作るかは、学生との話し合いで決める。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。	B、E、H
	第3回	【テーマ】特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念③ 【計画内容】自分の今までの仕事、経験を紹介し、特殊効果・特殊美術の意味、役割、理念について説明し、学生にも考えてもらう。 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。。	A	第11回	【テーマ】制作演習② 【計画内容】これまでの知識、技術を使って実際に小さな作品を作成する。何を作るかは、学生との話し合いで決める。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。	B、E、H
	第4回	【テーマ】実際的な道具、工具、素材、加工について① 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。。	B、E、H	第12回	【テーマ】制作演習③ 【計画内容】これまでの知識、技術を使って実際に小さな作品を作成する。何を作るかは、学生との話し合いで決める。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。	B、E、H
	第5回	【テーマ】実際的な道具、工具、素材、加工について② 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。	B、E、H	第13回	【テーマ】制作演習④ 【計画内容】これまでの知識、技術を使って実際に小さな作品を作成する。何を作るかは、学生との話し合いで決める。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。	B、E、H
	第6回	【テーマ】実際的な道具、工具、素材、加工について③ 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。	B、E、H	第14回	【テーマ】制作演習⑤ 【計画内容】これまでの知識、技術を使って実際に小さな作品を作成する。何を作るかは、学生との話し合いで決める。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。	B、E、H
	第7回	【テーマ】実際的な道具、工具、素材、加工について④ 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。	B、E、H	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】この授業を振り返る。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	L
	第8回	【テーマ】実際的な道具、工具、素材、加工について⑤ 【計画内容】特殊効果・特殊美術で使用する工具や素材について説明し、基本的な加工技術を説明する。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、次回に必要な準備を終わらせておくこと。	B、E、H			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			10%	50%	40%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、15回目の「振り返りと確認」時に行う。

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	吉田ひでお / アーリオ工房主宰（特殊効果）
	科目との関連	吉田ひでお / アーリオ工房での経験を活かした指導

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 「照明・音響実習Ⅱ」、「特殊効果」、「舞踊研究」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。

科目名	舞台芸術研修	授業形態	演習	単位数	2
教員名	村松　幹男、田　光子、平井　伸之				
授業の目的	ねらい	東京への研修旅行を行う。歌舞伎などの古典芸能の鑑賞、現代劇やミュージカルの鑑賞を行う予定。また、劇場施設などのバックステージ見学なども行う予定。以下の展開は内容を示したもので、その順番に意味はない。 ＊別途研修旅行費がかかる。				
	到達目標	(1)日本の代表的な劇場の舞台機構について理解できる。 (2)実際の舞台芸術を鑑賞し、評価できる。 (3)実際に見聞したものに、他の情報を付加してレポートを作成できる。				
授業の計画	【計画内容】（全教員） 国立劇場バックステージツアー: 芸能を支える舞台機構について学ぶ。 国立劇場における歌舞伎鑑賞 : 歌舞伎の入門的事柄を学ぶ。 国立能楽堂バックステージツアー: 能楽堂について学ぶ。能についての入門的事柄を学ぶ。 新国立劇場バックステージツアー: 日本の最先端の舞台機構を学ぶ。 新国立劇場における観劇 四季劇場バックステージツアー: 四季劇場の舞台機構を学ぶ。 四季劇場における観劇 研修の成果をレポートにまとめる。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。配付した資料、舞台芸術概論、舞台芸術各論で学んだことを復習しておくこと。				A、J、G

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	レポート提出後に別途機会を設け、研修全体を振り返り理解を深める。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	別途費用が必要になるが、舞台芸術に関心のある学生は是非参加してほしい。 社会的な情勢によって研修場所を変更する場合がある。

科目名	舞台装置入門(舞台デッサンを含む)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	福田　恭一				

授業の目的	
ねらい	舞台という空間の考え方、舞台美術(装置)のとらえ方とその役割を考え、実際の美術プランのたて方、装置の基本的な作り方と舞台での作業を実習を交えて学ぶ。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅰ」「舞台装置入門(舞台デッサンを含む)」「身体表現」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を1年次よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。
到達目標	(1)舞台空間に関する基本的な知識がある。 (2)舞台美術の役割を理解している。 (3)舞台美術のたて方とその表現方法を理解している。 (4)簡単な舞台装置を作ることができ、安全対策も理解している。

授業の計画					
第1回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業① 【計画内容】パネル作りを通して、基本的な舞台装置の作り方と、舞台での作業及び安全対策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	B、E、H	第9回	【テーマ】舞台空間③ 【計画内容】舞台空間のとらえ方、歴史、種類とその機構について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B
第2回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業② 【計画内容】パネル作りを通して、基本的な舞台装置の作り方と、舞台での作業及び安全対策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の内容を理解しておくこと。	B、E、H	第10回	【テーマ】舞台美術のとらえ方とその役割① 【計画内容】舞台美術とはどういうものなのか、実際の公演に際してどのような役割を担っているかということを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B
第3回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業③ 【計画内容】パネル作りを通して、基本的な舞台装置の作り方と、舞台での作業及び安全対策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H	第11回	【テーマ】舞台美術のとらえ方とその役割② 【計画内容】舞台美術とはどういうものなのか、実際の公演に際してどのような役割を担っているかということを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B
第4回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業④ 【計画内容】定期公演に関わる舞台装置を具体的に作成してみる。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H	第12回	【テーマ】舞台美術のとらえ方とその役割③ 【計画内容】舞台美術とはどういうものなのか、実際の公演に際してどのような役割を担っているかということを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B
第5回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業⑤ 【計画内容】定期公演に関わる舞台装置を具体的に作成してみる。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H	第13回	【テーマ】舞台美術プランのたて方とその表現方法① 【計画内容】台本から、演出プランから、舞台美術をどのようにプランだてするのか、そしてどのように表現するのかということを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B
第6回	【テーマ】舞台装置の基本的な作り方と舞台での作業⑥ 【計画内容】定期公演に関わる舞台装置を具体的に作成してみる。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H	第14回	【テーマ】舞台美術プランのたて方とその表現方法② 【計画内容】台本から、演出プランから、舞台美術をどのようにプランだてするのか、そしてどのように表現するのかということを学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B
第7回	【テーマ】舞台空間① 【計画内容】舞台空間のとらえ方、歴史、種類とその機構について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】この授業を振り返る。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	L
第8回	【テーマ】舞台空間② 【計画内容】舞台空間のとらえ方、歴史、種類とその機構について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		10%	30%	30%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、15回目の「振り返りと確認」時に行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	福田恭一 / 舞台美術会社経営
		科目との関連	福田恭一 / 舞台美術会社経営者としての経験を活かした指導

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 「照明・音響実習Ⅰ」「舞台装置入門(舞台デッサンを含む)」「身体表現」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 第16回に筆記試験を行う。

科目名	舞台木材道具製作演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	平井　伸之、村松　幹男、福田　恭一				

授業の目的		
	ねらい	木材を利用した舞台装置や小道具製作について学びます。木材の特徴を知った上で、舞台装置・小道具製作の基礎を学び、電動工具を利用して実際に作品を作成します。
	到達目標	(1)木材の種類と役割を知っている。 (2)なぐり、鉋、鋸、鑿など基本的な道具の使い方がわかる。 (3)電動道具の基本的な使い方が分かる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の展開について説明する。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読し、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】作品の製作1－① 【計画内容】小作品を作成する。(平井伸之・福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。	B、E
	第2回	【テーマ】木材の種類と役割 【計画内容】木材の種類と役割について学ぶ。 (村松幹男) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B	第10回	【テーマ】作品の製作1-② 【計画内容】小作品の作成する。(福田恭一) 【授業時間外の学修内容】作品を完成させること。	B、E
	第3回	【テーマ】金尺、なぐり(金槌)、釘抜き、鋸(のこ)、鉋(かんな)の基本的な使い方① 【計画内容】金尺、なぐり(金槌)、釘抜き、鋸(のこ)、鉋(かんな)の役割を学び、基本的な使い方を習得する。 (平井伸之) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B、E	第11回	【テーマ】作品製作2-① 【計画内容】図面の作成。何を作るかは履修人数等によって変わるので履修生と相談して決める。 (村松幹男・福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。作品製作の準備をすること。	B
	第4回	【テーマ】金尺、なぐり(金槌)、釘抜き、鋸(のこ)、鉋(かんな)の基本的な使い方② 【計画内容】金尺、なぐり(金槌)、釘抜き、鋸(のこ)、鉋(かんな)の役割を学び、基本的な使い方を習得する。 (村松幹男) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B、E	第12回	【テーマ】作品製作2-② 【計画内容】作品製作演習①(福田恭一) 【授業時間外の学修内容】製作のための準備をすること。	B、E
	第5回	【テーマ】電動丸鋸、電動ドリル、インパクトの使用法① 【計画内容】電動丸鋸、電動ドリル、インパクトの使用法について学ぶ。(平井伸之・福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B、E	第13回	【テーマ】作品製作2-③ 【計画内容】作品製作演習②(福田恭一) 【授業時間外の学修内容】作品を完成(塗装を除く)完成させること。	B、E
	第6回	【テーマ】電動丸鋸、電動ドリル、インパクトの使用法② 【計画内容】電動丸鋸、電動ドリル、インパクトの使用法について学ぶ。(村松幹男・福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B、E	第14回	【テーマ】作品製作2-④塗料について 【計画内容】作品製作制作演習③、塗料についての基本的な事柄を学び、実際に着色する。(福田恭一) 【授業時間外の学修内容】作品を完成させること。	B、E
	第7回	【テーマ】ジグソー、トリマー、サンダーの使用法① 【計画内容】ジグソー、トリマー、サンダーの使用法について学ぶ。(平井伸之・福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B、E	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】完成した作品をもとに、振り返りを行う。 (平井伸之) 【授業時間外の学修内容】塗装も含め作品を完成させておくこと。	L
	第8回	【テーマ】ジグソー、トリマー、サンダーの使用法② 【計画内容】ジグソー、トリマー、サンダーの使用法について学ぶ。(福田恭一) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。配付した資料を読んでおくこと。	B、E			

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分				50%	50%	
	補足				作品提出		

課題に関するフィードバックの方法	授業内で行う。 第15回で完成した作品は振り返りとまとめとして講評を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	福田恭一 / 舞台美術会社経営
		科目との関連	福田恭一 / 舞台美術会社経営者としての経験を活かした指導

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	電動工具はひとつ間違えると大けがにつながるので、教員の指示に従うようにすること。電動工具を勝手に動かすのは絶対に止めること。また、服や髪の毛などが電動工具内に巻き込まれる等の危険性もある。オリエンテーションで説明するので、必ず出席すること。

科目名	舞台映像編集	授業形態	実習	単位数	1
教員名	森井　綾				

授業の目的

ねらい	主に舞台芸術の分野を中心として、多様化した映像文化の特色を学び、それらの製作で欠かすことの出来ない撮影や編集作業を学ぶことがねらい。 この「舞台映像製作入門」の授業に関しても、他の舞台芸術分野で行っている授業との関連性が高く、「ねらい」の最低限は維持するものの学生のやる気、参加状況によって政策する内容等はダイナミックに変貌する。
到達目標	(1)ビデオ製作における役割分担や作業の手順の基礎を学ぶ。 (2)映像製作の初歩を身につける。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の概要と、授業で使用するビデオカメラの使い方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】CMや映画など身の回りにある映像作品について振り返っておく。	A、B	第9回	【テーマ】印象に残る映像の構成 【計画内容】見た人の心に残るような映像の構成とはどんなものか、考えてみる。 【授業時間外の学修内容】これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出し、さらに制作側の視点でも日々考察する様にする。	B
第2回	【テーマ】鑑賞　映像の構成 【計画内容】ビデオ作品を鑑賞し、製作者の視点から作品について考えてみる。 【授業時間外の学修内容】CMや映画など身の回りにある映像作品について振り返っておく。	B	第10回	【テーマ】訴求と意外性 【計画内容】見る人に面白いと思わせる手法について考える。 【授業時間外の学修内容】これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出し、さらに制作側の視点でも日々考察する様にする。	B
第3回	【テーマ】ストーリーを表現する映像作品の鑑賞 【計画内容】ビデオ作品を鑑賞し、普段は見落としがちだった映像の演出について考えてみる。 【授業時間外の学修内容】これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出し、さらに制作側の視点で考察する様にする。	B	第11回	【テーマ】映像の演出 【計画内容】映像作品においての演出、構成の工夫について考察する。 【授業時間外の学修内容】様々な映像製作のアイディアを振り返って考えてみる。また制作側の視点でも日々映像のアイディアなどを考察する様にする。	B
第4回	【テーマ】PVやドキュメンタリー映像 【計画内容】通常のドラマなどとは違った視点から製作された映像について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出し、さらに制作側の視点でも日々考察する様にする。	B	第12回	【テーマ】撮影の工夫 【計画内容】舞台とは違う、映像ならではのカメラワークや撮影方法について考察する。 【授業時間外の学修内容】身の回りにある映像を色や音のタイミングなどにも注意して見ておくとともに、制作側の視点でも日々考察する様にする。	B
第5回	【テーマ】短い映像作品 【計画内容】映画やドラマとは違う、短い時間で完結する映像作品について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出し、さらに制作側の視点でも日々考察する様にする。	B	第13回	【テーマ】映像作品を製作するために必要なもの 【計画内容】プロデュースの分野も含めた、映像作品を製作するために必要な環境や、用意しなければならないものについて考察する。 【授業時間外の学修内容】授業以外の時間にも内容について考え、面白いアイディアを盛り込む工夫について考えておく。	B
第6回	【テーマ】舞台を映像に残す 【計画内容】舞台で行われている戯曲の公演を映像に残す方法について考える。 【授業時間外の学修内容】これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出し、さらに制作側の視点でも日々考察する様にする。	B	第14回	【テーマ】ストーリー作りのアイディア 【計画内容】舞台や小説とは違う映像としての構成や、同じ映像でもメディアや鑑賞方法の違いなどを考慮したストーリーの工夫について考えてみる。 【授業時間外の学修内容】普段目にする映像作品について、舞台の上での表現と映像においての表現の違いを意識しながら見るようにしておく。	B
第7回	【テーマ】映像を作る事 【計画内容】前時に実際に撮ってみた映像を見直し、効果的なショットの構成が出来ないか検討してみる。 【授業時間外の学修内容】これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出し、さらに制作側の視点でも日々考察する様にする。	B	第15回	【テーマ】アニメーション映像 【計画内容】舞台とは180度違う考え方によって作られる映像について考えてみる。 【授業時間外の学修内容】普段目にする映像作品について、メディアや鑑賞方法の違いなどについて考えておく。	B
第8回	【テーマ】CMやプロモーションの映像 【計画内容】短編映像よりもさらに短い映像について、製作者の視点から考えてみる。 【授業時間外の学修内容】これまでに自分が見たことがある映像作品にはどんなものがあったのか、思い出し、さらに制作側の視点でも日々考察する様にする。	B			

テキスト	適宜指示します
参考書	適宜指示します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分				62%	38%	
補足					平時	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	アートディレクター
	科目との関連	アートディレクターの経験を活かし、映像演出方法や技法を指導

質問への対応	講義時に質問を受け付けます。オフィスアワー等も利用してください。
資格	
その他	ビデオ製作には時間がかかることや、撮影する対象が必要であることなどから、授業時間以外でも製作を行わなければならない場合もある。

科目名	舞踊研究	授業形態	実習	単位数	1
教員名	村松　幹男、田　光子、平井　伸之				

授業の目的		
	ねらい	アジア圏内に住む一員として、最も身近な日本や韓国などのアジア舞踊を中心に様々な舞踊について学ぶと同時に、実際に体を動かすことにより動作の意味や表現を体得する。 なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明･音響実習Ⅱ」「特殊効果」「舞踊研究」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識･技能の習得を前学期よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。
	到達目標	(1)日本舞踊の初歩について理解している。 (2)韓国舞踊の初歩について理解している。 (3)韓国舞踊の入門的な舞ができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】身体表現とコミュニケーション① 【計画内容】自己紹介。身体表現をともなった自己紹介を行う。(村松幹男･平井伸之) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	D、H	第9回	【テーマ】韓国舞踊④ 【計画内容】実際に小作品を踊るための基本動作の練習を行う。(田光子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。必要な稽古をすること。	D、H
第2回	【テーマ】身体表現とコミュニケーション② 【計画内容】身体表現とは何かについて学ぶ。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を理解しておくこと。	D、H	第10回	【テーマ】韓国舞踊⑤ 【計画内容】実際に小作品を踊るための動作の型と小道具の練習を行う。(田光子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。必要な稽古をすること。	D、H
第3回	【テーマ】身体表現とコミュニケーション③ 【計画内容】実際に身体を動かし、自分自身の身体の動きを知る。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。	D、H	第11回	【テーマ】韓国舞踊⑥ 【計画内容】実際に小作品を踊るための動作の型と空間の使い方の練習を行う。(田光子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。必要な稽古をすること。	D、H
第4回	【テーマ】日本舞踊① 【計画内容】日本舞踊のお師匠さんに来ていただき、日本舞踊の歴史･所作･小道具について学ぶ。(村松幹男･平井伸之) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。	D	第12回	【テーマ】韓国舞踊⑦ 【計画内容】実際に小作品を踊るために、韓国舞踊の衣装の着付けを学び、動作の練習を行う。(田光子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。。必要な稽古をすること。	D、H
第5回	【テーマ】日本舞踊② 【計画内容】日本舞踊のお師匠さんに来ていただき、ワークショップを体験し、日本舞踊の小作品を踊る。(村松幹男･平井伸之) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。	D、L	第13回	【テーマ】韓国舞踊⑧ 【計画内容】実際に小作品を踊るための総練習を行う。(田光子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。必要な稽古をすること。	D、H
第6回	【テーマ】韓国舞踊① 【計画内容】さまざまな韓国舞踊について学ぶ。(村松幹男･田光子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】小作品公演発表 【計画内容】小作品公演発表を行う。(村松幹男･平井伸之) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。必要な稽古をすること。	D、H
第7回	【テーマ】韓国舞踊② 【計画内容】韓国舞踊の手や足の動き、歩き方などの基本動作について学ぶ。(田光子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。必要な稽古をすること。	D	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】この授業の振り返る。(村松幹男･平井伸之) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。必要な稽古をすること。	L
第8回	【テーマ】韓国舞踊③ 【計画内容】韓国舞踊の基本動作の型や小道具の扱い方について学ぶ。(田光子) 【授業時間外の学修内容】授業で行ったことを復習しておくこと。必要な稽古をすること。	D			

テキスト	授業時に説明します
参考書	授業時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			10%	50%	40%	
	補足			レポート	発表		

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 「照明･音響実習Ⅱ」、「特殊効果」、「舞踊研究」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。

科目名	身体表現	授業形態	実技	単位数	1
教員名	村松　幹男、田　光子、平井　伸之				

授業の目的

ねらい

特定のイメージを設定し、それを身体表現、明かり、音、衣装・メイク、装置美術など様々な表現形態で具現化し、最後に舞台で発表する。
なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅰ」「舞台装置入門(舞台デッサンを含む)」「身体表現」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を1年次よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。

到達目標

(1)イメージを具体的な身体表現として表現できる。
(2)共同表現のため、他者とのコミュニケーションをとることができる。
(3)共同表現のため、チームの一員として行動できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の目的、展開について説明する。 (村松幹男・田光子・平井伸之) 【授業時間外の学修内容】シラバスを読み、授業で習得したいことを整理しておくこと。	A	第9回	【テーマ】イメージの総合的具現化③ 【計画内容】チームごとに、明かり、音、衣装・メイク、装置美術などを含めた総合的なプランを作成する。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を振り返り、修正プランを考えておくこと。	B、H
第2回	【テーマ】イメージの設定① 【計画内容】身体表現化するイメージを設定し、チームに分かれてプランを作成する。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を理解し、次回授業に必要な準備をしておくこと。	B、H	第10回	【テーマ】発表① 【計画内容】チームごとに明かりや音の仕込み、衣装・メイク、装置美術などの準備をし、テクニカルリハーサル等の稽古を行う。(平井伸之) 【授業時間外の学修内容】プランを完成させておくこと。	B、E、H
第3回	【テーマ】イメージの設定② 【計画内容】身体表現化するイメージを設定し、チームに分かれてプランを作成する。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】プランを考えておくこと。	B、H	第11回	【テーマ】発表② 【計画内容】チームごとに明かりや音の仕込み、衣装・メイク、装置美術などの準備をし、テクニカルリハーサル等の稽古を行う。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】プランの修正事項等整理しておくこと。	B、E、H
第4回	【テーマ】イメージの身体表現化① 【計画内容】チームごとに、プランに基づき、それを身体表現として具現化していく。(田光子) 【授業時間外の学修内容】プランを完成させておくこと。	B、H	第12回	【テーマ】発表③・講評 【計画内容】チームごとに発表を行う。終了後互いに講評し合い、修正点について話し合う。 (村松幹男・田光子・平井伸之) 【授業時間外の学修内容】発表できるよう準備をすること。	B、E、H、L
第5回	【テーマ】イメージの身体表現化② 【計画内容】チームごとに、プランに基づき、それを身体表現として具現化していく。(田光子) 【授業時間外の学修内容】稽古すること。	B、H	第13回	【テーマ】修正発表① 【計画内容】前回の講評を踏まえて、明かりや音の仕込み、衣装・メイク、装置美術などの準備をし、テクニカルリハーサル等の稽古を行う。(田光子) 【授業時間外の学修内容】発表できるよう準備をすること。	B、E、H
第6回	【テーマ】イメージの身体表現化③ 【計画内容】チームごとに、プランに基づき、それを身体表現として具現化していく。(田光子) 【授業時間外の学修内容】稽古すること。	B、H	第14回	【テーマ】修正発表② 【計画内容】前回の講評を踏まえて、明かりや音の仕込み、衣装・メイク、装置美術などの準備をし、テクニカルリハーサル等の稽古を行う。(平井伸之) 【授業時間外の学修内容】発表できるよう準備をすること。	B、E、H
第7回	【テーマ】イメージの総合的具現化① 【計画内容】チームごとに、明かり、音、衣装・メイク、装置美術などを含めた総合的なプランを作成する。(村松幹男) 【授業時間外の学修内容】稽古すること。プランの構想を練っておくこと。	B、H	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】この授業の振り返りを行う。 (村松幹男・田光子・平井伸之) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解しておくこと。	B、E、H、L
第8回	【テーマ】イメージの総合的具現化② 【計画内容】チームごとに、明かり、音、衣装・メイク、装置美術などを含めた総合的なプランを作成する。(田光子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を振り返り、修正プランを考えておくこと。	B、H			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			10%	50%	40%	
補足			レポート	発表		

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 「照明・音響実習Ⅰ」、「舞台装置入門(舞台デッサンを含む)」、「身体表現」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。

科目名	照明・音響実習Ⅰ	授業形態	実習	単位数	1
教員名	村松　幹男、田　光子、平井　伸之、鈴木　静悟、冨井　昭次、服部　正巳、干場　美恵子、百瀬　俊介				

授業の目的

ねらい

引き続き演劇の照明・音響について学ぶ。
なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅰ」「舞台装置入門（含む舞台デッサン）」「身体表現」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を1年次よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。

到達目標

(1)照明・音響機材を適切に素早く取り扱うことができる。
(2)簡単な仕込み図を読むことができる。
(3)台本の内容に沿った照明・音響プランを考えることができる。
(4)表現としての照明・音響プランを考えることができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション・5分間ストーリー3　① 【計画内容】授業の展開を説明する。また、5分間ストーリーの台本を渡し、チーム分けを行う。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「バックステージナレッジ」を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】5分間ストーリー3　⑨ 【計画内容】5分間ストーリーの修正発表を行う。その後相互に講評を行い、今回の5分間ストーリーの総括を行う。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、E、H、L
第2回	【テーマ】5分間ストーリー3　② 【計画内容】チームごとに5分間ストーリーの稽古を行う。また、照明・音響のプランニングを行う。仕込み図の基本的な描き方をマスターする。(鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回の内容を理解し、必要な準備をすること。	D、H	第10回	【テーマ】照明と表現効果① 【計画内容】照明と表現効果に関する授業を行う。多様な表現の仕方があり、それによって印象が変わることを実感し、より良い表現について考える。 (村松幹男・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、H
第3回	【テーマ】5分間ストーリー 3③ 【計画内容】チームごとに5分間ストーリーの稽古を行う。また、照明・音響のプランニングを行う。仕込み図の基本的な描き方をマスターする。(鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、H	第11回	【テーマ】照明と表現効果② 【計画内容】照明と表現効果に関する授業を行う。多様な表現の仕方があり、それによって印象が変わることを実感し、より良い表現について考える。 (平井伸之・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、H
第4回	【テーマ】5分間ストーリー3　④ 【計画内容】5分間ストーリーの仕込みを行う。その後、チームに分かれてテクニカルリハーサルなどを行う。 (鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、E、H	第12回	【テーマ】照明と表現効果③ 【計画内容】照明と表現効果に関する授業を行う。多様な表現の仕方があり、それによって印象が変わることを実感し、より良い表現について考える。(田光子・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、H
第5回	【テーマ】5分間ストーリー3　⑤ 【計画内容】5分間ストーリーの仕込みを行う。その後、チームに分かれてテクニカルリハーサルなどを行う。 (鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、E、H	第13回	【テーマ】音響と表現効果① 【計画内容】音響と表現効果に関する授業を行う。多様な表現の仕方があり、それによって印象が変わることを実感し、より良い表現について考える。 (鈴木静悟・干場美恵子・冨井昭次・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、H
第6回	【テーマ】5分間ストーリー3　⑥ 【計画内容】チームごとに5分間ストーリーの発表を行う。その後相互に公表し合う。チームごとに修正点の修正を行う(プランベースで)。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、E、H、L	第14回	【テーマ】音響と表現効果② 【計画内容】音響と表現効果に関する授業を行う。多様な表現の仕方があり、それによって印象が変わることを実感し、より良い表現について考える。 (村松幹男・鈴木静悟・干場美恵子・冨井昭次・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、H
第7回	【テーマ】5分間ストーリー3　⑦ 【計画内容】5分間ストーリーの修正発表のための仕込みを行う。その後、チームに分かれてテクニカルリハーサルなどを行う。 (鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、E、H	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】この授業のまとめを行う。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	L
第8回	【テーマ】5分間ストーリー3　⑧ 【計画内容】5分間ストーリーの修正発表のための仕込みを行う。その後、チームに分かれてテクニカルリハーサルなどを行う。 (鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】前回までの内容を理解し、必要な準備をすること。	D、E、H			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%	30%	10%		30%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、15回目の「振り返りと確認」時に行う。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	鈴木静悟 / 照明家　冨井昭次 / 元音楽スタジオ経営　服部正巳 / 舞台関連会社経営　干場美恵子 / 照明家　百瀬俊介 / 音響家
	科目との関連	各講師の実務経験を活かした指導

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。 「照明・音響実習Ⅰ」、「舞台装置入門（含む舞台デッサン）」、「身体表現」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。 第16回に筆記試験と実技試験を行う。

科目名	照明・音響実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	1
教員名	村松　幹男、田　光子、平井　伸之、鈴木　静悟、冨井　昭次、服部　正巳、干場　美恵子、百瀬　俊介				

授業の目的

ねらい

「照明・音響実習Ⅰ」の発展・強化を図る。演劇を中心とした照明・音響スタッフに必要な資質を養成する。しかしながら、単なる知識の習得は実際には何の役にも立たない。それらの知識をどのように具現化するか、その実践はある意味では知識の習得以上に重要なことである。知識の習得、実践、新たな知識の習得、実践というサイクルを通して照明・音響スタッフに必要な資質を養成していく。定期公演と連動させる。
なお、この授業は、札幌円山キャンパスにおいて、履修する学生を被験者として位置づけた舞台芸術研究グループの実践的研究の場である。今期は、「照明・音響実習Ⅱ」「特殊効果」「舞踊研究」で舞台芸術制作の俳優分野、スタッフ分野の基本的な知識・技能の習得を前学期よりも発展させた形でめざす。もちろん、舞台芸術製作においては、俳優分野とスタッフ分野は相互補完関係にあるのでそれぞれの科目を単独で履修することを認めていない。主にグループ学習を中心として行い、「コミュニケーション能力」や「チームとして協働する能力」を身につけていくことをめざす。

到達目標

(1)照明・音響機材を適切に素早く取り扱うことができ、基本的な理論が身に付いている。
(2)基本的な仕込み図を読むことができ、また、基本的な仕込み図を描くことができる。
(3)実際の公演にむけて、プランニングすることができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション / 照明・音響の理論① 【計画内容】授業の展開を説明する。また、今まで学んできた照明・音響の理論を振り返り、その定着を図る。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「バックステージナレッジ」を読んでおくこと。	D、E、H	第9回	【テーマ】5分間ストーリー4　① 【計画内容】最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として取り組んでほしい。台本を渡しチーム分けを行う。 (村松幹男・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】自分の役割について良く考えておくこと。	D、E、H
第2回	【テーマ】照明・音響の理論② 【計画内容】今まで学んできた照明・音響の理論を振り返り、その定着を図る。(鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】「バックステージナレッジ」を読んでおくこと。	D、E、H	第10回	【テーマ】5分間ストーリー4　② 【計画内容】最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として取り組んでほしい。照明・音響プラン、その他のプランを作成する。(鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】準備・稽古をすること。	D、E、H
第3回	【テーマ】定期公演準備① 【計画内容】短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】自分の役割について良く考えておくこと。	D、E、H、L	第11回	【テーマ】5分間ストーリー4　③ 【計画内容】最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として取り組んでほしい。照明・音響プラン、その他のプランを作成する。(鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】準備・稽古をすること。	D、E、H
第4回	【テーマ】定期公演準備② 【計画内容】短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。 (鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】準備・稽古をすること。	D、E、H、L	第12回	【テーマ】5分間ストーリー4　④ 【計画内容】最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として取り組んでほしい。照明・音響、その他の仕込みを行い、テクニカルリハーサルを行う。 (鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】準備・稽古をすること。	D、E、H
第5回	【テーマ】定期公演準備③ 【計画内容】短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。 (鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】準備・稽古をすること。	D、E、H、L	第13回	【テーマ】5分間ストーリー4　⑤ 【計画内容】最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として取り組んでほしい。照明・音響、その他の仕込みを行い、テクニカルリハーサルを行う。 (鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】準備・稽古をすること。	D、E、H
第6回	【テーマ】定期公演準備④ 【計画内容】短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。 (鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】準備・稽古をすること。	D、E、H	第14回	【テーマ】5分間ストーリー4　⑥ 【計画内容】発表。最後の5分間ストーリーである。2年間の集大成として悔いのない発表を行ってほしい。最後に講評を行う。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】準備・稽古をすること。	D、E、H、L
第7回	【テーマ】定期公演準備⑤ 【計画内容】短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。 (村松幹男・鈴木静悟・干場美恵子・冨井昭次・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】準備・稽古をすること。	D、E、H	第15回	【テーマ】振り返りと確認 【計画内容】授業のまとめをする。 (村松幹男・田光子・平井伸之・鈴木静悟・干場美恵子・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】今までの内容を理解しておくこと。	L
第8回	【テーマ】定期公演準備⑥ 【計画内容】短期大学部生にとっては最後の定期公演である。定期公演の台本に関連づけながら今まで学んだ知識・技能を振り返り、確実に自分のものにしていく。 (田光子・平井伸之・鈴木静悟・干場美恵子・冨井昭次・服部正巳・百瀬俊介) 【授業時間外の学修内容】準備・稽古をすること。	D、E、H、L			

テキスト　講義時に説明します

参考書　講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%	30%	10%		30%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法　課題等の講評は課題提出締め切り日以降に授業内で行うか、第15回の「振り返りと確認」時に行う。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	鈴木静悟 / 照明家　冨井昭次 / 元音楽スタジオ経営　服部正巳 / 舞台関連会社経営　干場美恵子 / 照明家　百瀬俊介 / 音響家
	科目との関連	各講師の実務経験を活かした指導

質問への対応　初回講義時に具体的に説明します。

資格

その他

本授業は北翔大学北方圏学術情報センターにおける被験授業である。
「照明・音響実習Ⅱ」、「特殊効果」、「舞踊研究」は必ず履修しなければならない。先に述べたように、舞台芸術製作において俳優分野とスタッフ分野は相互補完的関係にあるので、単位認定は連動して行われ、1科目だけとか2科目だけの単位認定は行わない。動ける格好で受講すること。
第16回に筆記試験と実技試験を行う。

こ ど も 学 科
学 科 専 門 科 目

科目名	器楽応用	授業形態	実技	単位数	1
教員名	橋本　卓三、石田　敏明、浅沼　恵輔、砂田　眞理子、中川　洋子、中島　幸治、村上　秀子				

授業の目的	
ねらい	「器楽Ⅰ・Ⅱ」で習得した技術をもとに、保育所・幼稚園・小学校で歌われる教材の弾き歌い、伴奏法を中心に学習します。 それぞれの進度に応じた指導を行い、子どもの前で演奏するための技術と表現力を身につけます。
到達目標	(1)弾き歌いに必要なピアノと演奏の技術を高める。 (2)弾き歌いに必要な歌唱の技術を高める。 (3)曲の音楽性と自己の想像力を関連付け、豊かな演奏表現ができる。 (4)弾き歌いのレパートリーを広げる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開および進度表記入について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読し、進度に合わせて練習しておくこと。	A、E、L	第9回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L
第2回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L	第10回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L
第3回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L	第11回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L
第4回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L	第12回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L
第5回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L	第13回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L
第6回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L	第14回	【テーマ】課題曲演奏発表準備 【計画内容】各自が取り組んできた課題曲の演奏を確認します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L
第7回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L	第15回	【テーマ】課題曲演奏発表のまとめと振り返り 【計画内容】指定された課題曲を演奏し、これまでの練習成果を確認します。また、進度表のまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L
第8回	【テーマ】それぞれの進度に合わせて個人指導 【計画内容】弾き歌い・楽曲の課題は、それぞれの進度に合わせて選曲し、指導します。 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してから受講すること。	E、L			

テキスト	松山祐士編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037
参考書	初等科音楽教育研究会編、2018年、『最新初等科音楽教育法　改訂版』、音楽之友社 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説』

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			15%		15%	70%
補足						発表

課題に関するフィードバックの方法	第15回で発表の後、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[こ]幼・小2種_必修、保育士_必修
その他	各自の練習を怠らないこと。使用する楽譜は担当教員と相談して用意すること。

科目名	こどものファッション	授業形態	演習	単位数	2
教員名	大信田　静子				

授業の目的

ねらい	こども服は耐久性、機能性、着脱の容易さなどを考慮してデザインされています。その構成について理解を深め、こども服への着装の知識及びスキルを高めていきます。更に現代のこどもファッション産業への理解を深めることを目的とします。
到達目標	(1)こどもの発達段階における衣服設計を理解する。 (2)こども服の機能と管理･衛生･保管について理解する。 (3)こどもの好奇心をそそるようなデザイン力を身につける。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、15回の授業展開について説明します。 【授業時間外の学修内容】こどもの体型や行動の特徴を調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】こども服の製作　④ 【計画内容】デザインに合わせ裁断･縫製をしていきます。素材による縫製の違いについて学んでいきます。 【授業時間外の学修内容】デザインの確認をしておくこと。	B
第2回	【テーマ】こども服の歴史と機能 【計画内容】こども服の歴史を理解し、機能について学びます。 【授業時間外の学修内容】こども服にはどのようなものがあるのか調べておくこと。	A	第10回	【テーマ】こども服の製作　⑤ 【計画内容】デザインに合わせ裁断･縫製をしていきます。装飾、小物、ポケットなど遊び心について学んでいきます。 【授業時間外の学修内容】デザインの確認をしておくこと。	B
第3回	【テーマ】こども服の役割 【計画内容】こども服の役割とデザインについて学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントを確認しておくこと。	A	第11回	【テーマ】こども服の製作　⑥ 【計画内容】付随する小物･装飾(ポケットやバック、アップリケなど)の縫製について学んでいきます。 【授業時間外の学修内容】デザインの確認をしておくこと。	B
第4回	【テーマ】こども服の管理･衛生 【計画内容】こども服の管理･衛生について学びます。 【授業時間外の学修内容】プリントを確認しておくこと。	A	第12回	【テーマ】こども服の製作　⑦ 【計画内容】付随する小物･装飾(ポケットやバック、アップリケなど)の創意工夫を考えていきます。 【授業時間外の学修内容】デザインの確認をしておくこと。	B
第5回	【テーマ】こども服産業の現状 【計画内容】こども服のファッション産業の現状を理解し、今後の方向性について意見交換をしていきます。 【授業時間外の学修内容】プリントを確認しておくこと。	A、H	第13回	【テーマ】こども服の製作　⑧ 【計画内容】各自のデザインを確認しながら、トータルバランスで見ていきます。 【授業時間外の学修内容】デザインの確認をしておくこと。	B
第6回	【テーマ】こども服の製作　① 【計画内容】前回の意見交換を基に、こども服の機能を理解し成長を考慮に入れ、素材と装飾を活かす事を中心にデザインを考えていきます。 【授業時間外の学修内容】こども服のデザインを考えてくること。	B	第14回	【テーマ】こども服の作品　仕上げについて 【計画内容】各自のデザインを確認しながら、トータルバランスで見ていきます。 【授業時間外の学修内容】デザインの確認をしておくこと。	B
第7回	【テーマ】こども服の製作　② 【計画内容】素材や装飾、機能性を活用したデザインを考え、こどもボディに合わせていきます。 【授業時間外の学修内容】こども服のデザインを考えてくること。	B	第15回	【テーマ】こども服の作品の提出及び発表 【計画内容】各自の作品のプレゼンテーションを通して、他者の作品についても理解を深めていきます。 【授業時間外の学修内容】作品の提出とプレゼンテーションについてまとめておくこと。	B、F
第8回	【テーマ】こども服の製作　③ 【計画内容】デザインに合わせ裁断･縫製をしていきます。 【授業時間外の学修内容】デザインの確認をしておくこと。	B			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%	30%	40%	
補足			講義･理解度	作品への創意工夫	意欲･態度	

課題に関するフィードバックの方法	子供服に必要なデザイン･管理及び作品制作を通して学んだことを評価していきます。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	E-Mail:shisieva@hokusho-u.ac.jp
資格	[こ]保育士_選択
その他	こども服の機能を理解し、夢のある服を製作していきましょう。 第16回に講義での理解したことをレポートにまとめ提出します。

科目名	こどもと野外活動	授業形態	演習	単位数	2
教員名	類家　斉、太田　俊一				

授業の目的

ねらい	本授業はこども学科2年の後学期に設定しており、受講時期には幼稚園、保育園もしくは小学校に就職が決まっていたり、もしくは就職活動中である。このように職に就く直前でもあり、教職や保育者を目指す学生にとっては、北海道という大自然の中で生きる力を、より高めておく必要がある。本授業のねらいは、将来受け持つ可能性がある北海道の子どもたちに、野外での教育的活動を通して自然体験を深め、生きる力を養成することにある。現場の子どもたちは日常生活や遊びを通して成長していくことから、この授業では、子どもの発育発達・日常生活に不可欠な自然とかかわる力を受講生に身につけさせることをねらっている。具体的な活動としては、大学農園での活動や冬期間の子どもの遊び、野幌森林公園でのスノーハイキング、基礎的なクロスカントリースキー技術などを習得する。
到達目標	(1)自然の中で遊ぶことの意義を理解できる。 (2)自然の中での遊びを通して、五感を育てることの大切さが理解できる。 (3)北海道の文化に関心を持ち、生活の中で遊びを積極的に活用できる態度を身につける。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション～野外活動の意義と健康安全～ 【計画内容】15回の授業の流れを把握し、情報機器を活用し、野外活動の教育的意義、安全管理・ケガと疾病の救急法、地図や気象を調べ理解することを学習する。 【授業時間外の学修内容】野外活動の教育的な意義について予習する。	A、B、L	第9回	【テーマ】紙飛行機を作って、飛ばしっこ大会をしよう。 【計画内容】ハサミや接着剤を上手に使い、手やゴムのカタパルトで飛ばす紙飛行機を作る。飛ばしながら改良を加え、最後には全員で飛ばしっこ大会を行う。 【授業時間外の学修内容】浮力や力学的なことについて予習する。	B、E、L
第2回	【テーマ】大学農園で野菜の収穫を行い、調理の計画をたてよう。 【計画内容】大学農園での収穫活動を通して、生きていること・完結できること・成功すること・多くの能力を発揮できること・活動範囲が広がること・自分にもできること・文化や土に触れる喜びがあることなどを学習する。また、調理活動を通して人間関係づくりや収穫を祝うことを学習する。 【授業時間外の学修内容】子供の目線で収穫をした場合、調理メニューに関わる意識をどう持つか、事前に考察してくる。	B、E、L	第10回	【テーマ】収穫後の稲わらを使って、わら細工をしよう。 【計画内容】収穫後の稲わらを細工しやすいように濡らしたり、柔らかくしたりして、自分で縄を編んでみる。 【授業時間外の学修内容】わら細工の教育的な意味について予習する。	B、E、L
第3回	【テーマ】大学農園で採れた野菜を使って、安全に調理しよう。 【計画内容】大学農園での収穫活動を通して、生きていること・完結できること・成功すること・多くの能力を発揮できること・活動範囲が広がること・自分にもできること・文化や土に触れる喜びがあることなどを学習する。また調理活動を通して、人間関係づくりや体力づくりやストレス解消などができることを学習する。 【授業時間外の学修内容】食事の意味を考える中で、活動の教育的な価値について考えてくる。	B、E、L	第11回	【テーマ】収穫後の稲わらを使って、しめ飾りを作ろう。 【計画内容】収穫後の稲わらを細工しやすいように濡らしたり、柔らかくしたりして、自分で縄編みから始め、しめ縄を作る。 【授業時間外の学修内容】完成イメージ作品に近づくための具体異的な計画イメージを想像する。	B、E、L
第4回	【テーマ】自然の中にあるものを使って、クラフト作りをしよう① 【計画内容】野幌森林公園「自然ふれあい交流館」で、講師の方から木の実や小枝を使ったクラフト作りを学び、安全に自分の作品を作成する。 【授業時間外の学修内容】自分らしい作品として発想を広げられるポイントは何か、事前に考えてくる。	B、E、L、M	第12回	【テーマ】冬の野外活動Ⅰ「クロスカントリースキー」 【計画内容】クロスカントリースキーの基本技術である転び方・起き方・方向転換、ストックの持ち方やスキーの着脱について学習する。また、滑走技術として交互滑走、推進滑走などを習得する。 【授業時間外の学修内容】クロスカントリースキーの教育的な意義について考えてくる。	B、E、L、M
第5回	【テーマ】野幌森林公園で自然の中にあるものを使って、クラフト作りをしよう② 【計画内容】野幌森林公園「自然ふれあい交流館」で、講師の方から木の実や小枝を使ったクラフト作りを学び、安全に自分の作品を作成する。 【授業時間外の学修内容】教師が作成する見本の意味について考えてくる。	B、E、L、M	第13回	【テーマ】冬の野外活動Ⅱ「スノーシュー」 【計画内容】スノーシューの履き方や歩き方に慣れ、真冬の森林をスノーシューをはいて散策する。積雪期でも活動している動植物を見つけに行く。 【授業時間外の学修内容】スノーシューへの教育的な意義について考えてくる。	B、E、L、M
第6回	【テーマ】粘土を使って、陶芸に挑戦する計画をたてよう。 【計画内容】粘土をこねながら、平面作品の計画を立て、造形をおこなう。 【授業時間外の学修内容】陶芸の教育的な意義について調べてくる。	B、E、L	第14回	【テーマ】冬の野外活動Ⅲ「イグルー作り」 【計画内容】雪を切り出してたくさんのブロックを作り、それを積み上げて中に入ることができるイグルーを作成する。 【授業時間外の学修内容】クロスカントリースキーの教育的な意義について考えてくる。	B、E、L、M
第7回	【テーマ】粘土を使って、焼き上がりを考えながら陶芸に挑戦しよう。 【計画内容】少し多めの粘土を使い、立体作品に挑戦し、釉薬をつけ焼く。 【授業時間外の学修内容】立体としての焼き物の場合の作品イメージを膨らませてくる。	B、E、L	第15回	【テーマ】冬の野外活動Ⅳ「そり滑り」 【計画内容】いろいろな道具やシートを使って、単独や複数で坂を登ったり、滑り降りたりしてそり滑りを楽しむ。保幼小の現場に行ったときの指導や安全な遊ばせ方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】そり遊びの教育的な意義について予習する。	B、E、L、M
第8回	【テーマ】紙を使って、飛ばしっこ大会をしよう。 【計画内容】ハサミや接着剤を上手に使い、紙を飛ばしながら改良を加え、最後には全員で飛ばしっこ大会を行う。 【授業時間外の学修内容】紙を飛ばす事と次時の関係性について考えてくる。	B、E、L			

テキスト	文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領』 文部科学省、2017年、『幼稚園教育要領』 文部科学省、『保育所保育指針』
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		40%	40%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	製作物の場合は、講義ごとに評価をし、次回返却とする。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	類家斉、太田俊一／小学校教諭
	科目との関連	類家斉、太田俊一／小学校教諭の経験に基づく授業を展開する。

質問への対応	講義の中で受ける。研究室来訪によるものも問題ない。
資格	[こ]幼2種_選択、保育士_選択
その他	

科目名	赤ちゃん学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	中島　啓子				

授業の目的		
	ねらい	胎児の成長過程は、生命の奇跡の連続です。赤ちゃんは誕生してからも驚くほどの速さで身体の成長がみられます。赤ちゃんの知覚や認知の実態、運動生理の仕組み、社会性を学びます。望ましい家庭や保育環境についても学びます。
	到達目標	(1)胎児の成長過程について理解する。 (2)赤ちゃんが体感する世界について理解する。 (3)赤ちゃんの認知的発達について理解する。 (4)赤ちゃんの社会性の発達について理解する。 (5)赤ちゃんを取り巻く問題について理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業内容を紹介し、授業概要について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】赤ちゃんの感情と社会性の発達 【計画内容】赤ちゃんの感情表出や理解の発達、他者との関わり方の発達、心の発達について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、H、L
第2回	【テーマ】命の誕生物語 【計画内容】赤ちゃんが誕生するまでの胎児の成長過程について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、G、H、L	第10回	【テーマ】親子関係と赤ちゃんの社会性 【計画内容】親子関係と赤ちゃんの発達の関連性を考え、社会性の発達について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、H、L
第3回	【テーマ】赤ちゃんが体感する世界 【計画内容】赤ちゃんの知覚の発達、感覚と感覚統合について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、H、L	第11回	【テーマ】赤ちゃんの言葉 【計画内容】赤ちゃんの言葉の発達過程を通して、語彙を獲得するメカニズム、養育者の働きかけについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、H、L
第4回	【テーマ】赤ちゃんが見ている「ヒト」の世界 【計画内容】赤ちゃんが「ヒト」の顔を認識するメカニズムについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、H、L	第12回	【テーマ】赤ちゃんと環境(住まい・メディア) 【計画内容】赤ちゃんにとっての快適な住居環境やメディア環境について学びます。生活スタイルの変化により、赤ちゃんに対する映像メディアの影響と接し方について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、I、G、L
第5回	【テーマ】赤ちゃんが見ている「モノ」の世界 【計画内容】赤ちゃんの「ヒト」と「モノ」への反応の違いや「モノ」の理解について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、H、L	第13回	【テーマ】赤ちゃんと保育 【計画内容】赤ちゃんにとっての保育所の環境や役割や保育士の関わりについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、B、H、L
第6回	【テーマ】赤ちゃんの眠り 【計画内容】赤ちゃんの眠りの働きや様子を通して、睡眠のメカニズムについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、H、L	第14回	【テーマ】赤ちゃんと発達障害 【計画内容】発達障害をもった赤ちゃんの障がいの特徴と成育環境について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、G、L
第7回	【テーマ】赤ちゃんの体と運動の発達 【計画内容】胎児の運動と誕生後の運動発達と急激な成長について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、H、L	第15回	【テーマ】赤ちゃん学のまとめ 【計画内容】授業の内容を振り返り、まとめます。 【授業時間外の学修内容】前回授業内容の振り返りをするので、復習しておくこと。	A、G、L
第8回	【テーマ】赤ちゃんの学び 【計画内容】赤ちゃんの学びについて、学習と記憶という観点から学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容を復習しておくこと。	A、H、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	小西行郎、2008年、『赤ちゃんのからだ BOOK』、海竜社、9784759310115 森岡周、2016年、『発達を学ぶ』、協同医書出版社、9784763910776 小西行郎、2012年、『赤ちゃん学を学ぶ人のために』、世界思想社、9784790715702

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%		20%	20%
	補足			課題・ノート		受講シート	プリント

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	理科教育の経験を活かし、胎児から赤ちゃんの認知や発達を科学的に捉え、教授する。

質問への対応	初回講義で説明します。
資格	[こ]保育士_選択
その他	

科目名	総合実践演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	橋本　卓三、石田　敏明				

授業の目的	
ねらい	これまで学んできた保育に関するさまざまな知識や技能の総まとめをする科目に位置づきます。担当教員のもと設定したテーマに基づき、個人またはグループによる研究と発表を通して、探究心、企画力、協働する力を養います。保育者に求められる専門性を総合的に涵養し、資質能力の向上を目指します。
到達目標	(1)保育内容に関する知識や技能、保育を行う上での基本的な表現力を高める。 (2)多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力を養う。 (3)設定したテーマに基づいた研究発表を行う中で、企画力、運営力を高める。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の内容を紹介し、授業展開を説明します。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。配布プリント等の課題に取り組んでおくこと。	A、L	第9回	【テーマ】研究と実践7 【計画内容】研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題に取り組んでおくこと。	B、H、L
第2回	【テーマ】研究テーマ設定 【計画内容】指導教員のもと研究テーマを設定し、研究計画を立てます。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】研究テーマを考えておくこと。	H、L	第10回	【テーマ】研究と実践8 【計画内容】研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題に取り組んでおくこと。	B、H、L
第3回	【テーマ】研究と実践1 【計画内容】研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題に取り組んでおくこと。	B、H、L	第11回	【テーマ】研究と実践9 【計画内容】研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題に取り組んでおくこと。	B、H、L
第4回	【テーマ】研究と実践2 【計画内容】研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題に取り組んでおくこと。	B、H、L	第12回	【テーマ】研究と実践10 【計画内容】研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題に取り組んでおくこと。	B、H、L
第5回	【テーマ】研究と実践3 【計画内容】研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題に取り組んでおくこと。	B、H、L	第13回	【テーマ】研究発表会の企画1 【計画内容】研究発表会の企画とコーディネートについて学びます。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】これまでの研究をまとめ、研究発表会の準備ができるようにしておくこと。	A、L
第6回	【テーマ】研究と実践4 【計画内容】研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題に取り組んでおくこと。	B、H、L	第14回	【テーマ】研究発表会の企画2 【計画内容】研究発表会の企画とコーディネートをします。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】どのような研究発表会を開催したいか企画を考えておくこと。	H、L
第7回	【テーマ】研究と実践5 【計画内容】研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題に取り組んでおくこと。	B、H、L	第15回	【テーマ】研究発表と振り返り 【計画内容】これまで研究·実践してきたものを発表し、振り返りとまとめを行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】研究発表ができる準備をしておくこと。	F、L
第8回	【テーマ】研究と実践6 【計画内容】研究テーマに基づいた研究と実践を行います。(橋本卓三·石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題に取り組んでおくこと。	B、H、L			

テキスト	講義時に説明します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		30%	40%
補足						発表

課題に関するフィードバックの方法	第15回で、学んだ内容や課題について、振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[こ]保育士_選択
その他	

科目名	幼児身体教育学	授業形態	演習	単位数	2
教員名	長尾　明也				

授業の目的

ねらい	子どもの運動能力や体力の低下という今日的な課題を踏まえ、子どもの発育・発達に応じた運動遊びの指導について学ぶ。運動遊びを実際に体験しながら、年齢等に応じた運動遊びや子どもへのかかわりについて理解することを目指す。
到達目標	(1)幼児期における運動機能の発達の特徴を捉えることができる。 (2)年齢や運動経験差に応じた運動遊びの指導方法について理解できる。 (3)運動遊び指導時における子どもへのかかわりのポイントについて理解できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】到達目標や授業展開、評価などについて説明して授業の全体について概観する。 【授業時間外の学修内容】授業全体の概要を捉え、幼児期における課題について調べておく。	A	第9回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践② 【計画内容】忍者の修行など、幼児が楽しく体を動かして遊ぶ中で多様な動きを獲得できるような運動遊びについて学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	B、K
第2回	【テーマ】幼児期のからだの発達と今日的課題 【計画内容】幼児期における調和的な発育・発達の大切さや健康を取り巻く諸問題について学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践③ 【計画内容】サーキット遊びなど、自発的に体を動かしたくなるような環境構成の工夫について学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	B、K
第3回	【テーマ】幼児期における運動遊びの意義 【計画内容】社会性や脳の発達など、幼児期における運動遊びの意義について学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K	第11回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践④ 【計画内容】サーキット遊びなど、自発的に体を動かしたくなるような環境構成の工夫について学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	B、K
第4回	【テーマ】幼児期における運動指導の留意点 【計画内容】幼児期に身につけさせたい「走る」「飛ぶ」「投げる」「蹴る」などの基本的動作を獲得させる上での留意点について学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K	第12回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践⑤ 【計画内容】バラバルーンやリズム体操など、発達段階に応じた表現活動を創作する。 【授業時間外の学修内容】創作している表現活動について振り返り、改善点を明確にしておく。	E、L
第5回	【テーマ】運動遊び中の事故事例と対策 【計画内容】幼児期におけるけがや事故の原因と対策について学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K	第13回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践⑥ 【計画内容】バラバルーンやリズム体操など、発達段階に応じた表現活動を創作する。 【授業時間外の学修内容】創作している表現活動について振り返り、改善点を明確にしておく。	E、L
第6回	【テーマ】運動遊び指導実践① 【計画内容】朝運動プログラム(江別市教育委員会)に参加し、運動能力習得の適時期や発達に応じた運動学習、子どもとのコニュニケーションの取り方などについて学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	D、L	第14回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践⑦ 【計画内容】バラバルーンやリズム体操など、発達段階に応じた表現活動を創作する。 【授業時間外の学修内容】創作している表現活動について振り返り、改善点を明確にしておく。	E、L
第7回	【テーマ】運動遊び指導実践② 【計画内容】朝運動プログラム(江別市教育委員会)に参加し、運動能力習得の適時期や発達に応じた運動学習、子どもとのコニュニケーションの取り方などについて学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	D、L	第15回	【テーマ】授業の振り返りと総まとめ 【計画内容】これまでの授業で学んだ運動遊びに関わる知識をまとめる。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業で学習したことを、まとめておくこと。	A、L
第8回	【テーマ】運動遊びの工夫と実践① 【計画内容】忍者の修行など、幼児が楽しく体を動かして遊ぶ中で多様な動きを獲得できるような運動遊びについて学習する。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	B、K			

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、2012年、『幼児期運動指針』

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		35%	35%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に、具体的に説明します。
資格	[こ]保育士_選択
その他	

科目名	応用教育セミナーⅠ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	保育･教育者を目指すにあたり、実習、就職活動の心構えに必要な準備とマナーについて学びます。また、芸術鑑賞会や行事の企画･運営などを通し、保育･教育者に必要な創造力と感性を豊かにします。			
	到達目標	(1)保育･教育者に必要なマナーを身につけることができる。 (2)保育･教育者に必要な創造力と感性を豊かにすることができる。 (3)就職活動の実際と必要な準備について理解する。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容と講義展開について説明します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスに目を通し、授業全体の概要を捉えておくこと。	A、L	第9回	【テーマ】保育･教育専門職についてⅠ-2 【計画内容】就職活動の実際について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、持参すること。	B、L
	第2回	【テーマ】就職ガイダンス 【計画内容】就職活動の進め方を確認し、意識を高めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】就職活動に何が必要かを考えておくこと。	B、L	第10回	【テーマ】保育･教育専門職についてⅠ-3 【計画内容】履歴書の書き方について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。	B、L
	第3回	【テーマ】1年生を迎える会1 【計画内容】1年生を迎える会を企画し、準備･練習します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】企画案を構想し、準備･練習に必要なものを考えておくこと。	B、E、L	第11回	【テーマ】保育･教育専門職についてⅠ-4 【計画内容】履歴書の書き方について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。	B、L
	第4回	【テーマ】1年生を迎える会2 【計画内容】1年生を迎える会を開催します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】事前準備をしっかりしておくこと。	B、E、L	第12回	【テーマ】保育･教育専門職についてⅠ-5 【計画内容】履修カルテを用い現時点での履修状況を確認し、今後の課題について考えます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。	B、L
	第5回	【テーマ】芸術鑑賞会1 【計画内容】音楽会(クラシック音楽、ミュージカルなど)を鑑賞します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】演目について事前に調べ、日時･会場を確認しておくこと。	B、L	第13回	【テーマ】学びのまとめ資料作成1 【計画内容】こども学科でのこれまでの学びを冊子にまとめます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】必要なプリントなどを準備しておくこと。	B、L
	第6回	【テーマ】芸術鑑賞会2 【計画内容】音楽会(クラシック音楽、ミュージカルなど)を鑑賞します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】演目について事前に調べ、日時･会場を確認しておくこと。	B、L	第14回	【テーマ】学びのまとめ資料作成2 【計画内容】こども学科でのこれまでの学びを冊子にまとめます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】必要なプリントなどを準備しておくこと。	B、L
	第7回	【テーマ】マナー講習会 【計画内容】実習、就職活動に向け、基本的な立ち居振る舞いなど、社会人として必要なマナーについて学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】身だしなみや挨拶について考えておくこと。スーツを準備しておくこと。	B、L	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習を振り返り、自分の課題をまとめます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまで学んだことをまとめておくこと。	B、L
	第8回	【テーマ】保育･教育専門職についてⅠ-1 【計画内容】進路となる職種と採用試験について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、持参すること。	B、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	学科推奨科目。講義内容に変更がある場合は、事前に連絡します。

科目名	応用教育セミナーⅡ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	担当教員				
授業の目的	ねらい	保育･教育者を目指すにあたり、就職活動や専門職に必要な文章表現･一般教養･専門分野の知識と技能を高めます。また、希望する就職先の事前調査と自己の分析をし、面接練習を重ね、就職活動に向けた準備ができるようにします。また、2年間の学びの振り返りを冊子にまとめます。			
	到達目標	(1)保育･教育者に必要な知識と技能を高めることができる。 (2)保育･教育者に必要な創造力と感性を豊かにすることができる。 (3)自己分析を行い、就職活動に向けた準備をすることができる。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義内容と講義展開について説明します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスに目を通し、授業全体の概要を捉えておくこと。	A、L	第9回	【テーマ】面接指導3 【計画内容】就職活動に向け、面接の基本を学び、実践練習します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、面接練習に必要な準備をしておくこと。	B、L
	第2回	【テーマ】保育･教育専門職についてⅡ -1 【計画内容】保育･教育者の職務について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。	B、L	第10回	【テーマ】実習報告会 【計画内容】保育実習･教育実習で学んだことを発表する報告会を開催します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】発表の準備をしておくこと。	F、L
	第3回	【テーマ】保育･教育専門職についてⅡ -2 【計画内容】専門職として必要な文章表現について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。	B、L	第11回	【テーマ】学びのまとめ資料作成1 【計画内容】こども学科でのこれまでの学びを冊子にまとめます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】必要なプリントなどを準備しておくこと。	B、L
	第4回	【テーマ】保育･教育専門職についてⅡ -3 【計画内容】専門職として必要な文章表現について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。	B、L	第12回	【テーマ】学びのまとめ資料作成2 【計画内容】こども学科でのこれまでの学びを冊子にまとめます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】必要なプリントなどを準備しておくこと。	B、L
	第5回	【テーマ】保育･教育専門職についてⅡ -4 【計画内容】専門職として必要な教養分野について学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。	B、L	第13回	【テーマ】学びのまとめ資料作成3 【計画内容】こども学科でのこれまでの学びを冊子にまとめます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】必要なプリントなどを準備しておくこと。	B、L
	第6回	【テーマ】保育･教育専門職についてⅡ -5 【計画内容】就職活動に必要な専門分野の知識について確認します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、課題に取り組める準備をしておくこと。	B、L	第14回	【テーマ】卒業に向けて 【計画内容】こども学科での学習の振り返りと卒業関係書類を作成します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、必要な準備をしておくこと。	B、L
	第7回	【テーマ】面接指導1 【計画内容】就職活動に向け、面接の基本を学び、実践練習します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、面接練習に必要な準備をしておくこと。	B、L	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習を振り返り、自分の課題をまとめます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまで学んだことをまとめておくこと。	B、L
	第8回	【テーマ】面接指導2 【計画内容】就職活動に向け、面接の基本を学び、実践練習します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを確認し、面接練習に必要な準備をしておくこと。	B、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	学科推奨科目。講義内容に変更がある場合は、事前に連絡します。

科目名	こども家庭支援論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	中島　啓子				

授業の目的	
ねらい	社会の変容によって、政治や経済だけではなく、家庭や家族の在り方や子育ての状況も変化します。家庭支援が必要とされている社会背景を理解し、保育者としての専門性を生かした子育て家族への支援の役割を学んでいきます。また社会資源や地域、関係機関との連携を考え、多様な支援について学びます。
到達目標	(1)家庭の意義とその機能について理解する。 (2)子育て家族を取り巻く社会的状況について理解する。 (3)子育て家族に対する支援体制について理解する。 (4)子育て家族のニーズに応じた多様な支援展開と関係機関との連携について理解する。 (5)子育てサービスについて理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】家族の意義と機能について学び、授業の概要について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んで授業全体の概要を捉え、「家庭支援」についての社会の課題を調べておくこと。	A、K、L	第9回	【テーマ】子育て支援サービス 【計画内容】次世代育成支援推進法や政府の施策、子ども・子育て支援法等、児童福祉法に定める事業等について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L
第2回	【テーマ】家族支援の必要性 【計画内容】社会的背景と家族について考え、子育てが難しくなってきている現代について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L	第10回	【テーマ】保育所・幼稚園・認定子ども園における子育て家庭への支援 【計画内容】保育所や幼稚園、認定こども園の役目、求められている支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L
第3回	【テーマ】保育者が行う家庭支援の原理 【計画内容】家庭支援の理念や子どもの最善の利益を考慮する視点を考え、保育者の役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L	第11回	【テーマ】地域の子育て家庭への支援 【計画内容】地域における子育て支援の必要性と取り組みについて学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L
第4回	【テーマ】現代家庭における人間関係 【計画内容】夫婦、親子、きょうだい、祖父母との関係や生活の在り方の変容と子育ての変化について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L	第12回	【テーマ】特別な配慮を必要とする児童及びその家族に対する支援 【計画内容】児童虐待への対応や家庭事情のある子や障がいをもった子の家庭への支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L
第5回	【テーマ】地域社会の変容と家庭支援 【計画内容】家庭を取り巻く地域社会の変容や、生活の変化の中で子育てしやすい地域社会の形成について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L	第13回	【テーマ】子育て支援における関係機関との連携 【計画内容】子育て支援における家庭福祉を担う行政機関や児童福祉施設と保育士との連携について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L
第6回	【テーマ】男女共同参画社会と仕事と生活の調和 【計画内容】男女共同参画社会の実現、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の必要性と新たな取り組みの推進について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L	第14回	【テーマ】子育て支援サービス 【計画内容】子育て支援サービスの課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L
第7回	【テーマ】子育て家庭の福祉を図るための社会資源 【計画内容】社会資源を必要とする子育て家庭の現状と子育てを支える社会資源や子ども家庭福祉を図る専門職について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L	第15回	【テーマ】家庭支援の在り方 【計画内容】支援の例を通して、家庭への支援の在り方、保育士の資質向上について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L
第8回	【テーマ】子育て支援政策・次世代育成支援施策の推進 【計画内容】少子化対策や少子高齢化社会に対する法規定や「子ども・子育てビジョン」について学びます。 【授業時間外の学修内容】資料を読んでおくこと。	A、K、L			

テキスト	中野由美子、2018年、『家庭支援論』、一藝社、9784863591370
参考書	プリントを使用します。

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		30%	10%
補足			レポート・ノート・課題		受講シート・発表	資料

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
該当	経験内容	小学校教諭
	科目との関連	小学校教諭の経験を活かし、子育て家庭への支援、保護者支援、関係機関との連携を教授する。

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[こ]保育士_必修
その他	

科目名	こども家庭支援の心理学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	松田　久美				

授業の目的

ねらい	生涯発達における初期経験の重要性、及びそれへの親子関係、家族関係の影響について理解し、子育て家庭とそれを取り巻く社会状況との関係性、また、それらと子どもの精神保健との関係性について考察することを目的とする。 「生涯発達」の視点から、乳児期から老年期までの発達過程を概観し、被養育経験の質の違いと精神的健康や対人的コミュニケーション能力との関係性を理解する。また、それらへの家族及び家庭の機能がもたらす影響性について理解する。 さらには、子育て家庭を取り巻く現代の社会的状況との関係性とそこにある課題について考察する。
到達目標	(1)生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、また発達段階それぞれにおける課題について理解する。 (2)家族及び家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 (3)子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 (4)子どもの精神保健とその課題について理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス、生涯発達(1) 【計画内容】乳幼児期から学童期前期にかけての発達 【授業時間外の学修内容】「生涯発達」の定義を調べておくこと。	A、L	第9回	【テーマ】子育て家庭に関する現状と課題(1) 【計画内容】子育てを取り巻く社会的状況 【授業時間外の学修内容】現代の「子どもを取り巻く環境」について考えておく。	A、H、L
第2回	【テーマ】生涯発達(2) 【計画内容】学童期後期から青年期にかけての発達 【授業時間外の学修内容】授業内容を復習する。	A、L	第10回	【テーマ】子育て家庭に関する現状と課題(2) 【計画内容】家族のライフコースと発達段階 【授業時間外の学修内容】現代人のライフコースについて調べておく。	A、H、L
第3回	【テーマ】生涯発達(3) 【計画内容】成人期における発達 【授業時間外の学修内容】授業内容を復習する。	A、L	第11回	【テーマ】子育て家庭に関する現状と課題(3) 【計画内容】多様な家庭とその理解 【授業時間外の学修内容】現代の「子育て環境」について考えておく。	A、H、L
第4回	【テーマ】生涯発達(4) 【計画内容】老年期における発達 【授業時間外の学修内容】授業内容を復習する。	A、L	第12回	【テーマ】子育て家庭に関する現状と課題(4) 【計画内容】特別な配慮を要する家庭 【授業時間外の学修内容】授業内容を復習する。	A、L
第5回	【テーマ】家族･家庭の理解(1) 【計画内容】家族･家庭の意義と機能 【授業時間外の学修内容】「家族」とは何か、家庭の役割とはどのようなものであるのかについて考えておく。	A、H、L	第13回	【テーマ】子どもの精神保健と家族心理(1) 【計画内容】夫婦関係が与える影響 【授業時間外の学修内容】授業内容を復習する。	A、H、L
第6回	【テーマ】家族･家庭の理解(2) 【計画内容】親子関係･家族関係 【授業時間外の学修内容】親子の関係について考えておく。	A、H、L	第14回	【テーマ】子どもの精神保健と家族心理(2) 【計画内容】親子関係が与える影響 【授業時間外の学修内容】授業内容を復習する。	A、H、L
第7回	【テーマ】家族･家庭の理解(3) 【計画内容】父性･母性とペアレンティング 【授業時間外の学修内容】父性、及び母性について考えておく。	A、H、L	第15回	【テーマ】子どもの精神保健と家族心理(3) 【計画内容】子どもの心の健康とその課題 【授業時間外の学修内容】授業内容を復習する。	A、H、L
第8回	【テーマ】家族･家庭の理解(4) 【計画内容】子育ての経験とペアレンティングの変化 【授業時間外の学修内容】あらゆる生物の「子育て」について考えておく。	A、H、L			

テキスト	毎回の授業時に、プリントを配付します。
参考書	青木紀久代　編、2019年、『子ども家庭支援の心理学』、みらい、9784860154820 柏木恵子　編著、2013年、『よくわかる家族心理学』、ミネルヴァ書房、9784623055777

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	80%				20%	
補足					発表内容、及び各回の授業に関する振り返り内容も含める。	

課題に関するフィードバックの方法	採点後、答案を返却します。

実務経験と授業の関連

経験内容	
科目との関連	

質問への対応	適宜、対応します。
資格	[こ]保育士_必修
その他	第16回目に最終評価のための試験を行います。

科目名	こどもの理解と援助	授業形態	演習	単位数	1
教員名	清水　桂子				
授業の目的	ねらい	乳幼児の心身の発達や学びを把握することの意義を理解する。また、子どもを理解するための基本的な考え方や具体的な方法について理解する。さらに子ども理解に基づく保育士の援助について理解することを目的とする。			
	到達目標	(1)乳幼児の発達を踏まえた子どもの実態と子どもを理解する視点を持つことができる。 (2)子どもの理解の方法や子ども理解に基づく発達の援助、関わりについて理解する。			

授業の計画		
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容、評価の方法等について理解します。子どもを理解することの意義を考えます。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を確認のうえ、参考書をもとに保育者の援助について考えておくこと。	A
	第2回	【テーマ】保育における子ども理解とは 【計画内容】乳幼児の理解に基づいた養護及び教育の一体的展開について学びます。また、共感的子ども理解と子どもの関わりについて理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、B、K
	第3回	【テーマ】生活、遊びと子ども理解の視点について 【計画内容】子どもの生活や遊びの姿を通して、子どもの実態について理解します。子どもを理解する視点や、基本的な考え方を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、B、K
	第4回	【テーマ】人との関わりと子ども理解の視点について 【計画内容】子どもの人との関わりや関係作りについて理解します。子どもの実態把握と子どもを理解する視点や、基本的な考え方を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、B、K
	第5回	【テーマ】保育の環境と子ども理解の視点について 【計画内容】保育の環境の中における子どもの実態について理解します。環境を通して育ちゆく子どもを理解する視点や、基本的な考え方を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、B、K
	第6回	【テーマ】子どもを理解する方法について 【計画内容】保育における子ども理解の方法について学びます。観察の方法･記録･省察･評価などを通し、保育における実際を把握し具体的に理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	B、H
	第7回	【テーマ】子どもの理解と発達援助について 【計画内容】子ども理解に基づいた、保育士の援助の態度の基本について学びます。発達の課題に応じた援助や関わりについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	B、H
	第8回	【テーマ】子どもを理解することと援助について 【計画内容】これまでの学びを総合的に振り返り、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】これまでの学びを整理しておくこと。	B、L

テキスト	プリントを使用します
参考書	小川博久、2010年、『保育援助論』、萌文書林、9784893471390 塚本美知子、2018年、改訂『子ども理解と保育実践』、萌文書林、978893473066 厚生労働省、2019年、『保育所保育指針解説』、フレーベル館

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			学びのシートの記録を含む			

課題に関するフィードバックの方法	授業時ならびに授業最終回に講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	幼稚園教諭
		科目との関連	保育実践における実践経験を活かし、子ども理解とそれに基づく援助について教授する

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[こ]保育士_必修
その他	

科目名	保育の計画と評価	授業形態	講義	単位数	2
教員名	小林　美花				

授業の目的

ねらい	保育内容の充実と質の向上のための、全体的な計画と指導計画作成についての意義と方法を理解することを目的とします。また、子ども理解に基づく計画、実践、記録、省察、評価、改善について理解し、各年齢に応じた指導計画を作成できる力を養います。
到達目標	(1)全体的な計画と指導計画の意義と方法について理解する。 (2)各年齢やクラスに応じた指導計画を作成することができる。 (3)保育の過程(計画、実践、記録、省察、評価、改善)について理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義の概要について理解します。保育所における全体的な計画について理解します。 【授業時間外の学修内容】授業内で取り上げるテーマについて調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】保育所における指導計画について③ 【計画内容】1歳から3歳未満児の指導計画を作成する上での配慮点について理解し、各年齢に合った計画を実際に作成します。。 【授業時間外の学修内容】テキスト6章3･5節を読んでおくこと。	A、K、L
第2回	【テーマ】保育の計画と評価の基本① 【計画内容】保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育･保育要領の内容と社会的背景などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントと保育所保育指針･幼稚園教育要領･幼保連携型認定こども園教育･保育要領を読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】保育所における指導計画について④ 【計画内容】3歳以上児の指導計画を作成する上での配慮点について理解し、各年齢、異年齢保育の計画を実際に作成します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章1･5節を読んでおくこと。	A、K、L
第3回	【テーマ】保育の計画と評価の基本② 【計画内容】保育における計画と評価の意義について理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章を読んでおくこと。	A、L	第11回	【テーマ】保育所における指導計画について⑤ 【計画内容】計画に基づく、柔軟な保育の考え方と、臨機応変な保育内容の展開について理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第7章1節を読んでおくこと。	A、K、L
第4回	【テーマ】保育の計画と評価の基本③ 【計画内容】子ども理解に基づく保育の計画(計画･実践･記録･省察･評価･改善)について理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章を読んでおくこと。	A、L	第12回	【テーマ】保育所における保育の評価について① 【計画内容】保育の記録の書き方及び省察について理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章3節を読んでおくこと。	A、L
第5回	【テーマ】保育所における保育の計画について① 【計画内容】保育所における保育の目標と計画の基本的な考え方について学びます。また、保育所保育指針の内容について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第4章をよく読んでおくこと。	A、K、L	第13回	【テーマ】保育所における保育の評価について② 【計画内容】保育士の保育の自己評価の方法について理解します。また、自己評価後の保育の質の向上のための改善について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章3節を読んでおくこと。	A、L
第6回	【テーマ】保育所における保育の計画について② 【計画内容】全体的な計画と指導計画の繋がりについて理解し、全体的な計画と指導計画の作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第6章を読んでおくこと。	A、K、L	第14回	【テーマ】保育所における保育の評価について③ 【計画内容】保育所から小学校への接続の重要性を理解し、保育所児童保育要領の内容及び、発達の連続性を踏まえた記録の書き方について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第8章2節を読んでおくこと。	A、L
第7回	【テーマ】保育所における指導計画について① 【計画内容】指導計画を作成する上で、配慮する点や留意点について理解します。長期計画と短期計画を作成する上での、着目点や保育者の援助について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト6章3節を読んでおくこと。	A、L	第15回	【テーマ】保育における計画の重要性について 【計画内容】これまでの学びから、子どもの発達に沿った計画の重要性について再確認します。また、作成した計画の内容について、自己評価し保育の質の向上について理解します。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を復習しておくこと。	A、L
第8回	【テーマ】保育所における指導計画について② 【計画内容】0歳児の指導計画を作成する上での配慮点について理解し、発達に沿った計画を実際に計画します。 【授業時間外の学修内容】テキスト6章3･4節を読んでおくこと。	A、K、L			

テキスト	池田幸代･田中謙、2018年、『マネジメントする保育･教育カリキュラム』、教育情報出版
参考書	厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足			期限厳守			

課題に関するフィードバックの方法	課題については、授業において総評を行い、場合によっては解説資料など配付します。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	保育士
	科目との関連	保育士の実務経験を活かし、保育における計画の重要性と、保育現場の実態を踏まえた記録の内容と方法について教授する。

質問への対応	毎回の講義の中で聞き取り、返答します。
資格	[こ]保育士_必修
その他	積極的に受講することを期待します。

科目名	乳児保育Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	小林　美花				

授業の目的		
	ねらい	3歳未満児の発育、発達の過程を踏まえた援助と関わりや、子どもの最善の環境を踏まえた、生活や具体的な遊びの内容について理解することを目的とします。更には、子どもの発達をより促すための指導計画を作成できる力を身につけます。
	到達目標	(1)3歳未満児の発達の連続性と、それを促すための援助と関わりについて理解する。 (2)子どもの1日の生活の流れを把握し、遊びの重要性について理解する。 (3)乳児保育における計画の意義を理解し、各年齢や個別の指導計画を作成することができるようになる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の概要について説明します。乳児保育Ⅰの講義の振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】乳児保育Ⅰの復習をしてくこと。	A
	第2回	【テーマ】乳児保育の基本内容について① 【計画内容】乳児保育における応答的な関わりについて理解し、事例研究を行う中で関わりの重要性について学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章1. 2. 3節を読んでおくこと	B、J
	第3回	【テーマ】乳児保育の基本内容について② 【計画内容】子どもの育ちと、乳児期の体験の関連について理解します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章4. 5. 6節を読んでおくこと。	B
	第4回	【テーマ】乳児保育における生活と遊びについて① 【計画内容】3歳未満児の1日の生活実態について把握し、保育所と家庭の連携の重要性について事例を通して学びます。更に、生活と援助の実際について実技を行い、学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第4. 5. 6. 7章を読んでおくこと。	B、E、J
	第5回	【テーマ】乳児保育における生活と遊びについて② 【計画内容】発育·発達を踏まえた具体的な遊びの内容と、援助方法について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第4. 5. 6. 7章を読んでおくこと。	B、E
	第6回	【テーマ】乳児保育における生活と遊びについて③ 【計画内容】3歳未満児の子ども同士の関わりと、援助について事例を通して理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】乳児保育に関する情報収集をすること。	B、J
	第7回	【テーマ】乳児保育における配慮 【計画内容】安全管理について事例を通して理解を深め、集団保育としての乳児保育の課題について学び、最善の環境について考察します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントを読んでおくこと。	B、J
	第8回	【テーマ】乳児保育における指導計画について 【計画内容】これまでの学習を踏まえ、実際に3歳未満児の指導計画を作成し、グループワークを通して考察します。また、乳児保育のまとめを行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト第8章を読んでおくこと。	B、H、L

テキスト	入江慶太、2018年、『乳児保育 - 子ども：家庭·保育者が紡ぐ営み -』、教育情報出版
参考書	厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説』、フレーベル館 文部科学省·厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育·保育要領解説』、フレーベル館

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題や実技については、授業内で総評を行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	保育士
		科目との関連	乳児保育園での実務経験を活かし、保育現場の実態を踏まえた内容と、具体的な援助方法について教授します。

質問への対応	授業の前後及びオフィスアワーで対応します。
資格	[こ]保育士_必修
その他	積極的に受講することを期待します。

科目名	こどもの健康と安全	授業形態	演習	単位数	1
教員名	小林　八重子				

授業の目的

ねらい	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解し、衛生管理・事故防止・及び安全対策・危機管理・災害対策・体調不良などに対する適切な応用、感染症対策・こどもの発達や状態等に即した適切な対応について具体的に学びます。
到達目標	(1)こどもの保健的対応をふまえた健康と保育環境及び安全管理を学びます。 (2)こどもの体調不良や感染症発生時の適切な対応を学びます。 (3)職員間の連携を地域社会における連携等を学びます。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の目標を理解し、全15回の授業を概観します。 【授業時間外の学修内容】授業の概観を理解しておくこと。	A	第9回	【テーマ】こどもの体調不良に対する適切な対応① 【計画内容】体調不良や傷害が発生した場合の対応を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K
第2回	【テーマ】保健的観点を踏まえた保育環境と援助 【計画内容】こどもの健康と保育の環境、こどもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全の管理について学習します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第10回	【テーマ】こどもの体調不良に対する適切な対応② 【計画内容】応急処置や救急処置を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、B、H、K
第3回	【テーマ】保育における健康及び安全の管理① 【計画内容】衛生管理と事故防止及び安全対策を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第11回	【テーマ】こどもの体調不良に関する適切な対応③ 【計画内容】救急蘇生法を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、B、H、K
第4回	【テーマ】保育における健康及び安全の管理② 【計画内容】危機管理と災害への備えを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第12回	【テーマ】感染症対策 【計画内容】感染症の集団発生の予防と感染症発生時と罹患後の対応について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K
第5回	【テーマ】保育における保健的対応① 【計画内容】保育における保健的対応の基本的な考え方の対応を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第13回	【テーマ】健康及び安全の管理の実施体制① 【計画内容】職員間の連携・協働と組織的取組、保育における保健活動の計画及び評価について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K
第6回	【テーマ】保育における保健的対応② 【計画内容】個別的な配慮を要するこども(慢性疾患・アレルギー性疾患)への対応を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第14回	【テーマ】健康及び安全の管理の実施体制② 【計画内容】母子保健・地域保健における自治体との連携、家庭・専門機関・地域の関係機関との連携について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K
第7回	【テーマ】保育における保健的対応③ 【計画内容】3歳未満児の対応について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】授業全体の成果と課題を明確にします。 【授業時間外の学修内容】前回配付した「まとめ」のプリントについて理解を深めておくこと。	A、H、K、L
第8回	【テーマ】保育における保健的対応④ 【計画内容】障害のあるこどもへの対応を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K			

テキスト	プリントを使用します
参考書	馬場耕一郎、2018年、『保育所保育指針実践ガイドブック』、中央法規 岩田力、2019年、『こどもの健康と安全』、全国社会福祉協議会

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	各講義終了後にレポートを提出してもらい、学んだ内容を確認し返却します。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	養護教諭
		科目との関連	養護教諭としての業務経験をもとに実践に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。随時講義終了後に受け付けます。
資格	[こ]保育士_必修
その他	

科目名	障害児保育	授業形態	演習	単位数	2
教員名	渡辺　泰行				

授業の目的		
	ねらい	障がい児保育に係る基礎的な知識を理解するとともに、障がいのある子ども一人一人の発達課題に即した支援、協働して取り組む実践、他機関との連携等について学びます。基本的にパワーポイントを用いた講義形式で行いますが、必要に応じて視覚教材を使用したり、グループ討議、事例研究なども行ったりしながら具体的な保育内容・方法について学びます。
	到達目標	(1)障がい児保育の理念や歴史的変遷、法制度について理解できる。 (2)障がいの捉え方や特性などについて基礎的な知識をもつことができる。 (3)障がい児保育の現状と課題や他機関等の連携などについて基本的な考え方を理解できる。 (4)個々の障がい児や保護者への具体的な対応と支援について理解できる。 (5)レポート発表や事例研究などに積極的に参加し、障がい児保育に対する考え方を学び合うことができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション(障害児保育とは何か) 【計画内容】障害児保育とは何か、障害児保育の理念などと、15回の授業内容を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。 障がいの種類を調べておくとともに、障がいとは何であるのかについて自分の意見をまとめておくこと。	A	第9回	【テーマ】個々の発達を促す生活と遊び 【計画内容】障がいのある子ども一人一人の発達を促すために必要な生活と遊びについて事例を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A、J
	第2回	【テーマ】障害児保育の歴史的変遷と法制度 【計画内容】障がいのある子どもたちは歴史的にどのような流れで社会に受け入れられてきたのか、合わせて障害児保育に係る法制度について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付した前回のプリントを読んでおくこと。	A	第10回	【テーマ】子ども同士のかかわりと育ち合い 【計画内容】障がいのある子とない子とのかかわり合いと集団作りについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A、J
	第3回	【テーマ】子どもの発達の理解 【計画内容】いくつかの理論から子どもの「発達」の考え方と過程について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A	第11回	【テーマ】保育の課題に基づく指導計画と個別の支援計画 【計画内容】子どもの成長発達をねらう保育計画と個別の支援計画の内容と作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A、H、J
	第4回	【テーマ】障がいの概念と視覚、聴覚、言語障害及び肢体不自由の理解と支援 【計画内容】障がいの捉え方を学ぶとともに、視覚等の障がいの特性や支援のあり方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A	第12回	【テーマ】保護者や家族に対する支援 【計画内容】保護者の障がい受容や支援する姿勢について理解し、支援の実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A
	第5回	【テーマ】知的障害の理解と支援 【計画内容】知的障害の捉え方について、その原因や症状を理解し実際のかかわり方を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A	第13回	【テーマ】小学校や地域の専門機関との連携 【計画内容】連携のあり方を理解し、小学校への接続やどのような専門機関と連携して具体的支援に結び付けるかなどを学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A
	第6回	【テーマ】発達障害の理解と支援① 【計画内容】自閉症スペクトラム障害(ＡＳＤ)の概念の変遷及び特性と具体的支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A	第14回	【テーマ】小学校との連携とインクルーシブ教育システムについて 【計画内容】就学に関する流れの中で小学校への接続を学ぶとともに、特別支援教育の考え方と実際を学び、インクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮について学びます。 【授業時間外の学修内容】これまでの配付プリントを復習し、提示された課題についてレポートを作成すること。(まとめレポート)	A、G
	第7回	【テーマ】発達障害の理解と支援② 【計画内容】注意欠如・多動性障害(ＡＤＨＤ)と学習障害(ＬＤ)それぞれの特性と具体的支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントの課題に取り組むこと。	A	第15回	【テーマ】障害児保育の現状と課題のまとめと振り返り 【計画内容】障がい観の変遷や障害児保育の理念、具体的な実践等を知り、近年の動向を踏まえながらこれからの課題を学びます。 【授業時間外の学修内容】これまでの学びを振り返り自己の課題をまとめておくこと。	A、L
	第8回	【テーマ】虐待と障がいのある子ども 【計画内容】虐待の実状を学び、育てにくい子と捉えがちな障がいのある子への具体的援助について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了後に示す課題についてレポートを作成すること。(中間レポート)	A、G			

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	中間レポートは第10回以降に質問や意見などを振り返りながら講評し、まとめレポートは第15回授業で内容について講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校、特別支援学校の教諭及び管理職
		科目との関連	小学校、特別支援学校で特別支援教育に携わり、教育相談も担当する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[こ]保育士_必修
その他	

科目名	子育て支援	授業形態	演習	単位数	1
教員名	西原　真由美				

授業の目的

ねらい

子どもの育ちをめぐる環境の変化に伴い、子育て支援の必要性がクローズアップされています。その社会的背景を理解し、子どもの健やかな育ちを目指した子育て支援とはどのようなことなのか、実際に保育現場で対応している課題を取り上げながら考えていきます。事例を通して子育て支援の方法を学ぶとともに、保育現場でどのような子育て支援が行われているかを理解していきます。
様々な事例についてグループ討議を行い、保育士の専門性の向上を図ります。

到達目標

(1)保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性を理解する。
(2)保育士の行う子育て支援の展開を具体的に理解する。
(3)保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の概要及び15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を確認し、保育所保育指針第4章「子育て支援」に目を通しておくこと。	A、B	第9回	【テーマ】保育士の行う子育て支援の展開④ 【計画内容】職員間の連携・協働について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B
第2回	【テーマ】保育士の行う子育て支援の特性① 【計画内容】子どもの保育とともに行う保護者の支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の学習内容を復習し理解しておくこと。	A、B	第10回	【テーマ】保育士の行う子育て支援の展開⑤ 【計画内容】社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B
第3回	【テーマ】保育士の行う子育て支援の特性② 【計画内容】日常的・継続的な関わりを通じた保護者との相互理解と信頼関係の形成について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B	第11回	【テーマ】保育士の行う子育て支援とその実際(内容・方法・技術)① 【計画内容】保育所等における支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B
第4回	【テーマ】保育士の行う子育て支援の特性③ 【計画内容】保護者や家庭の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B	第12回	【テーマ】保育士の行う子育て支援とその実際(内容・方法・技術)② 【計画内容】地域の子育て家庭に対する支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B
第5回	【テーマ】保育士の行う子育て支援の特性④ 【計画内容】子ども・保護者が多様な他者と関わる機会や場の提供について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B	第13回	【テーマ】保育士の行う子育て支援とその実際(内容・方法・技術)③ 【計画内容】障害のある子ども及びその家庭に対する支援について学びます。 特別な配慮を要する子ども及びその家庭に対する支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B
第6回	【テーマ】保育士の行う子育て支援の展開① 【計画内容】子ども及び保護者の状況・状態の把握について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B	第14回	【テーマ】保育士の行う子育て支援とその実際(内容・方法・技術)④ 【計画内容】子ども虐待の予防と対応について学びます。 要保護児童等の家庭に対する支援について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B
第7回	【テーマ】保育士の行う子育て支援の展開② 【計画内容】支援の計画と環境の構成について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B	第15回	【テーマ】保育士の行う子育て支援とその実際(内容・方法・技術)⑤ 【計画内容】多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解について学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。 理解の進んでいない問題を抽出しておくこと。	A、B
第8回	【テーマ】保育士の行う子育て支援の展開③ 【計画内容】支援の実際・記録・評価・カンファレンスについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習しておくこと。	A、B			

テキスト	毎回プリントを配付します。
参考書	適宜紹介します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			50%		50%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	演習で取り組んだ課題についてグループ発表を行い、内容について講評します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	授業時間内に質問を受けます。
資格	[こ]保育士_必修
その他	グループ演習を行いますので、座席を指定します。

科目名	保育実習Ⅰ	授業形態	実習	単位数	4
教員名	保田　真希、小林　美花、清水　桂子				
授業の目的	ねらい	本講義では保育所、児童福祉施設等の役割や機能、保育士の業務や職業倫理、保育の計画・観察・記録等を理解する。また、観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解を深め、子どもの保育および保護者への支援について総合的に理解することを目的とする。			
	到達目標	(1)保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 (2)観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。 (3)既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。 (4)保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。 (5)保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。			
授業の計画	【計画内容】 【保育所(園)実習の内容】 1. 保育所の生活と一日の流れを理解し、保育所保育指針をふまえた保育の展開、保育所の役割と機能について学ぶ。 2. 子どもの観察や記録を通し、発達過程や子どもへの援助やかかわりについて学び、子どもへの理解を深める。 3. 子どもの発達過程に基づいた、保育の計画、環境、保育の内容について理解する。 4. 保育課程と観察、記録、省察・自己評価について理解する。 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理、職員間の連携について理解する。 【児童福祉施設等における実習の内容】 1. 施設の生活と一日の流れを理解し、施設の役割と機能について学ぶ。 2. 子どもの観察と記録を通し、個々の状況に応じた援助やかかわりについて学び、子どもへの理解を深める。 3. 子どもの心身の状況に応じた養護の内容や生活の環境等について理解し、計画に基づいた活動や援助の実際について学ぶ。 4. 支援計画、記録、考察・自己評価について理解する。 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理、職員間の連携について理解する。 【授業時間外の学修内容】実習に関する資料を熟読し、自己課題を持って臨むこと。			D	

テキスト	相浦雅子・那須信樹・原孝成、2020年、『Let's have a dialogue! ワークシートで学ぶ保育所実習』、同文書院、9784810314939
参考書	石橋裕子、2018年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院 プリントを使用します。随時紹介します。

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%			70%
	補足						実習施設の評価

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小林美花／保育士、清水桂子／幼稚園教諭
		科目との関連	小林美花、清水桂子／保育士・幼稚園教諭の実務経験を活かし、保育実習全般にかかわる具体的内容について教授する。

質問への対応	担当教員研究室にて随時対応します。
資格	[こ]保育士_必修
その他	

科目名	保育実習指導ⅠB	授業形態	演習	単位数	1
教員名	保田　真希、小林　美花、清水　桂子				
授業の目的	ねらい	本講義では、保育実習全般を通し、実習に際しての留意事項について理解を深める。また、実習の事後指導において、実習の総括と自己評価を行う。さらに、今後の学習に向けた自己課題や目標を明確にすることを目的とする。			
	到達目標	(1)保育実習の意義・目的を振り返り、理解を深めます。 (2)保育実習における実践内容を振り返り、自らの課題を明確にします。 (3)実習場面から子どもの人権と最善の利益、守秘義務について理解を深めます。 (4)実習計画を振り返り、実習内容や記録・評価について自己課題を理解します。 (5)実習の総括と自己評価を行う中で、新たな課題や目標を明確にします。			
授業の計画	第1回	【テーマ】保育実習の目的と概要 【計画内容】保育実習の目的と概要について振り返り、相互に意見交換する中で自身の経験について理解を深めます。(講義、演習、グループワーク、振り返り)(保田真希・小林美花・清水桂子) 【授業時間外の学修内容】テキスト、資料を熟読すると共に実習事後の振り返りをしておくこと。			B、H、K、L
	第2回	【テーマ】保育実習内容について 【計画内容】保育実習における実習内容や取り組みを振り返り、実習体験を報告し合う中で学びや課題を検討し、理解を深めます。(演習、グループワーク、ワークシート、振り返り)(保田真希・小林美花・清水桂子) 【授業時間外の学修内容】テキスト、資料を熟読すること テキスト、資料を熟読すること テキスト、資料を熟読すること			B、H、K、L
	第3回	【テーマ】保育実習における計画と記録について 【計画内容】保育実習における実習計画と記録について振り返り、相互に意見交換する中で保育の視点について理解を深めます。(演習、グループワーク、ワークシート、振り返り)(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】テキスト、資料を熟読すること			B、H、K、L
	第4回	【テーマ】プライバシーの保護と守秘義務 【計画内容】保育実習場面において、子どもや家族のプライバシー保護の実際を振り返り、実習施設と専門職の守秘義務の遂行について理解を深めます。(演習、グループワーク、ワークシート、振り返り)(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】テキスト、資料を熟読すること			B、H、K、L
	第5回	【テーマ】専門職の役割と子どもの人権・最善の利益 【計画内容】保育実習場面において、子どもの最善の利益と子どもの人権が如何に守られていたのか、その実際について振り返り、相互に意見交換する中で様々な支援について理解を深めます。(演習、グループワーク、ワークシート、振り返り)(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】テキスト、資料を熟読すること			B、H、K、L
	第6回	【テーマ】保育実習総括① 【計画内容】保育所実習の振り返りを総括する中で、これまでの学びについて理解し、今後の目標をたてます。(演習、グループワーク、ワークシート、振り返り)(保田真希・小林美花・清水桂子) 【授業時間外の学修内容】テキスト、資料を熟読すること			B、H、K、L
	第7回	【テーマ】保育実習総括② 【計画内容】児童福祉施設等での実習の振り返りを総括する中で、これまでの学びについて理解し、今後の目標をたてます。(演習、グループワーク、ワークシート、振り返り)(保田真希・小林美花・清水桂子) 【授業時間外の学修内容】テキスト、資料を熟読すること			B、H、K、L
	第8回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】保育実習を通しての学びを総括し、保育専門職としての今後の自己課題を明確化します。(講義、演習、レポート)(保田真希・小林美花・清水桂子) 【授業時間外の学修内容】テキスト、資料を熟読すること			A、B、G
テキスト	相浦雅子・那須信樹・原孝成、2020年、『Let's have a dialogue! ワークシートで学ぶ保育所実習』、同文書院、9784810314939				
参考書	石橋裕子、2018年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院				

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			60%			40%
	補足						演習への取り組み意欲

課題に関するフィードバックの方法	課題などについては、授業において総評を行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小林美花／保育士、清水桂子／幼稚園教諭
		科目との関連	小林美花、清水桂子／保育士・幼稚園教諭の実務経験を活かし、保育実習全般にかかわる具体的内容について教授する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。 担当教員研究室
資格	[こ]保育士_必修
その他	

科目名	保育実践演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	小林　美花、入江　彩子、中島　啓子、保田　真希				

授業の目的	
ねらい	これまでの学習や実習を振り返り、保育士として必要な専門的知識及び技術、判断力、更には専門職としての倫理観が習得、形成されたことを把握することを目的とします。また、実習などの体験から保育に関する現代的課題の現状を分析し、考察する力を習得します。
到達目標	(1)保育に関する現状について、分析、考察、検討する力を身につける。 (2)保育に関する問題について、多様な視点から考察できる力を習得する。 (3)保育士として必要な自己課題を明確化する。 (5)事例研究や研究発表を行う中で、多様な保育内容につて理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の概要について説明します。保育実習の振り返りを行います。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】保育実習の振り返りを行っておくこと。	A	第9回	【テーマ】現代的課題の分析と考察③ 【計画内容】長時間保育や延長保育の現状を把握し、子どもにとって最善の環境についてグループ討議を行い発表します。(小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】発表の準備をしておくこと。	B、F、H
第2回	【テーマ】保育実習の振り返り① 【計画内容】保育実習を振り返り、保育所や福祉施設と保育士の役割について振り返り、保育に関する現代的課題について考察します。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】保育所実習の日誌を確認しておくこと。	A、B、H	第10回	【テーマ】保育士としての必要な知識能力の確認① 【計画内容】これまでの学習を踏まえ、科目相互の関連について理解します。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】今まで学んだ科目を復習しておくこと。	B、L
第3回	【テーマ】保育実習の振り返り② 【計画内容】保育実習を振り返り、子どもを取り巻く環境や、現代の子育ての現状について考察します。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】保育所実習·施設実習の日誌を確認し図書館等での資料収集を行うこと。	B、H	第11回	【テーマ】保育士として必要な知識能力の確認② 【計画内容】保育所や施設における保育内容ついて把握し、グループ討議を行い実際の保育について現状を理解します。(小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】実習園の保育内容について確認しておくこと。	B、H
第4回	【テーマ】保育実習の振り返り③ 【計画内容】保育実習を振り返り、保育所と地域社会の関係について考察します。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】地域社会に関する資料を確認しておくこと。	B、H	第12回	【テーマ】保育士として必要な知識能力の確認③ 【計画内容】五領域のつながりと保育の展開方法について、グループ討議を行う中で理解を深めます。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】五領域の内容について確認しておくこと。	B、H
第5回	【テーマ】子どもと家庭理解について① 【計画内容】児童虐待についての現状を把握し、事例研究を通し保護者支援の意義と課題について学びます。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】児童虐待について新聞などで情報収集をすること。	B、J	第13回	【テーマ】保育士としての資質能力の確認① 【計画内容】これまでの学習や、実習を再度振り返り、自己評価を行い自己課題を明確化します。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】各実習の振り返りを行っておくこと。	A、B、K
第6回	【テーマ】子どもと家庭理解について② 【計画内容】児童虐待についての理解を深め、支援方法、留意点及び職員間の連携について、事例研究を通して考察します。(小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】児童虐待について新聞などで情報収集をすること。	B、J	第14回	【テーマ】保育士としての資質能力の確認② 【計画内容】保育士として必要な倫理観が形成されたか、自らの学びを振り返り把握します。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを確認しておくこと。	B、K
第7回	【テーマ】現代的課題の分析と考察① 【計画内容】待機児童、保育士不足についてグループ討議し、現状と課題から改善策を考えます。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】待機児童、保育士不足について新聞などで情報収集をすること。	B、H、I	第15回	【テーマ】保育士としての資質能力の確認③ 【計画内容】自らの学びを振り返り、保育士として必要な知識、技能などの習得と、自己課題が明確化されたことを最終確認します。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】今までの授業内容を確認しておくこと。	B、K、L
第8回	【テーマ】現代的課題の分析と考察② 【計画内容】少子高齢化についてグループ討議を行い、現代社会の現状と課題について考察します。 (小林美花·入江彩子·中島啓子·保田真希) 【授業時間外の学修内容】少子高齢化について新聞などで情報収集すること。	B、H、I				

テキスト	プリントを使用します
参考書	厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 文部科学省·厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育·保育要領解説』、フレーベル館

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	発表などについては、授業内で総評を行います。 課題などについては、解説資料を配付するなどします。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小林美花／保育士、中島啓子／小学校教諭
		科目との関連	小林美花、中島啓子／実務経験を活かし、子ども理解や現代的課題などについて幅広く教授する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[こ]保育士_必修
その他	積極的に授業に取り組むこと。

科目名	現代こども学	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菜原　桂子				

授業の目的		
	ねらい	現代のこどもたちが生きている社会の背景や現状について、様々な視点から幅広く捉え、こどもたちの抱えている問題や課題について考察し、保育者としての思考や視野を広げて資質を磨きます。
	到達目標	(1)社会の変化の中でのこどもたちの育ちの問題を捉えることができる。 (2)意欲的に資料や情報を収集し、まとめることができる。 (3)日本の近世を中心に広い視野で子ども観について考える力を養う。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の講義の内容・評価について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。	A、K	第9回	【テーマ】家族の抱える問題からこどもを考える④ 【計画内容】障がいのあるこどもの家族について考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、H
	第2回	【テーマ】遊びの変化からこどもを考える① 【計画内容】昔のこどもの遊びを通して育つもの、今のこどもの遊びを通して育つものについて比較しながら考察します。またその課題についても明らかにして考えます。 【授業時間外の学修内容】昔の遊び、今の遊び、自分が小さい頃どのような遊びを通して育ってきたか考えておくこと。	A、H、K	第10回	【テーマ】こども集団について考える 【計画内容】こども集団とは何か、ＳＮＳとこども集団の変質について考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、F
	第3回	【テーマ】遊びの変化からこどもを考える② 【計画内容】現代のこどもを取り巻く環境について、またその環境による遊びの変化と課題について考察します。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、H、K	第11回	【テーマ】生活の変化からこどもを考える①睡眠と子ども 【計画内容】現代の生活リズムや、睡眠とこどもの育ちについて考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、F
	第4回	【テーマ】遊びの変化からこどもを考える③ 【計画内容】自由時間の過ごし方とメディアが与える影響について考察し、こどもの育ちについて考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、H	第12回	【テーマ】生活の変化からこどもを考える②食事と子ども 【計画内容】食事のとり方、メニューとこどもの育ちについて考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、B
	第5回	【テーマ】遊びの変化からこどもを考える④ 【計画内容】身体遊びの変化とこどもの育ちについて考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、K	第13回	【テーマ】生活の変化からこどもを考える③子どもの言語活動 【計画内容】生活の変化とこどものコミュニケーションについて考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、J
	第6回	【テーマ】こどもたちが生活する環境の変化について考える① 【計画内容】家族の在り方の変化、生活スタイルの多様化の中でのこどもを考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、H	第14回	【テーマ】生活の変化からこどもを考える④情報環境とこども 【計画内容】インターネット、携帯電話とこどもについて考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、F
	第7回	【テーマ】家族の抱える問題からこどもを考える。 【計画内容】子育て家族の問題とこどもについて考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、K	第15回	【テーマ】現代のこどもについて学びのまとめ 【計画内容】講義の内容を振り返り、課題に基づいてレポートを作成します。 【授業時間外の学修内容】授業全体の復習を行っておくこと。	A、K、L
	第8回	【テーマ】家族の抱える問題からこどもを考える③ 【計画内容】こどもの最善の利益とは何かについて考えます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、G			

テキスト	プリントを使用します
参考書	比留川洋、2017年、『子ども白書 2017年』、本の泉社 汐見稔幸、2019年、『子ども学』、萌文書林 近藤俊明、2017年、『子ども学への招待』、ミネルヴァ書房

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足			取り組み状況重視		意欲的な態度	

課題に関するフィードバックの方法	課題に対してのフィードバックは講義の中で行います。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	保育士・幼稚園教諭一種
		科目との関連	保育士・幼稚園教諭の実務経験を活かし、あらゆる視点から現代の子どもたちの課題について考察し、子どもの理解を深める授業を行います。

質問への対応	授業内、授業終了後に対応いたします。
資格	[こ]保育士_選択
その他	保育コース卒業必修 自主学習も評価します。提出物は不足の無いよう自己管理をしっかり行ってください。

科目名	保育実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	2

教員名	小林　美花、清水　桂子、保田　真希

授業の目的		
	ねらい	実習施設における実践を通して保育所の役割や機能について、理解を深めます。これまでの学びや実習の経験を踏まえ、計画、実践、記録、自己評価を実践を通し学びます。さらに、保育士の役割や職業倫理について理解を深め、保育士を目指す者としての自己の課題を明確化します。
	到達目標	(1)保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深める。 (2)子どもの観察やかかわりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める。 (3)既習の教科や実習の経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。 (4)保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価について実際に取り組み、理解を深める。 (5)保育士の業務内容や職業倫理についてを具体的な実践を通し理解し、自己の課題を明確化する。

授業の計画		
	【計画内容】 【保育所(園)実習の内容】 1. 保育所の役割や機能などを理解し、養護と教育が一体となって行われる保育の具体的展開について学ぶ。 2. 子どもの心身の状況や活動、保育士等の実践等について観察に基づいて理解し、保育所の生活の流れや展開について把握する。 3. 保育及び、保護者、家庭への支援や地域社会との連携について理解する。 4. 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・観察・記録・省察・評価等について理解し、指導計画の作成や保育実践を通して学びを深める。 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理について理解すると共に、多様な保育の展開について学ぶ。 6. 保育士を目指す上での自己の課題を明確化する。 【授業時間外の学修内容】実習に関する資料を熟読し、自己課題を持って臨むこと。	D

テキスト	関口はつ江、2020年、『Q＆Aで学ぶ保育・教育実習』、サンウェイ出版、987488389 相浦雅子・那須信樹・原孝成、2020年、『let'ts have a dialogue! ワークシートで学ぶ保育所実習』、同文書院、9874810314939
参考書	石橋裕子、2020年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院 プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%			70%
補足			事前事後の課題提出			実習施設の評価

課題に関するフィードバックの方法	実習終了後に講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小林美花／保育士、清水桂子／幼稚園教諭
		科目との関連	小林美花、清水桂子／保育士・幼稚園教諭の実務経験を活かし、保育実習全般にかかわる具体的内容について教授する。

質問への対応	担当教員研究室にて随時対応します。
資格	[こ]保育士_選必
その他	「保育実習Ⅱ」は、これまでの学びを基に理論と実践を結びつける学習の場であります。実習生であることを自覚し、謙虚に、そして意欲的に臨んでください。「保育実習Ⅱ」履修者は、実習を開始する前に「保育原理」「保育内容総論」「保育実習指導ⅠA」を履修しておく必要があります。

科目名	保育実習Ⅲ	授業形態	実習	単位数	2

教員名	保田　真希、小林　美花、清水　桂子

授業の目的		
	ねらい	本講義では保育実習などの経験を踏まえ、児童福祉施設等の役割や機能、保育士の業務や職業倫理を理解する。また、家庭と地域の生活実態を学び、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解、知識、技術、判断力を習得することを目的とする。
	到達目標	(1)実践を通して児童福祉施設等の役割や機能について理解する。 (2)家庭と地域の生活実態にふれる中で、児童家庭福祉・社会的養護に対する理解を深める。 (3)子どもへの支援、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を養う。 (4)保育士の職務内容や職業倫理について、実践を通し理解を深める。 (5)保育士としての自己の課題を明確化する。

授業の計画		
【計画内容】 1. 児童福祉施設等の役割と機能について学ぶ。 2. 支援の実際において、受容・共感する態度について学び実践する。 3. 個人差や個々の生活環境について理解し、子どもの理解を深め、個々のニーズについて把握する。 4. 子どもの家族に対する対応とその支援について学ぶ。 5. 多様な専門職との連携の実際について学ぶ。 6. 児童福祉施設等と地域社会との連携・協働について学ぶ。 7. 実践を通し保育士の様々な職務・業務と職業倫理について学ぶ。 8. 児童福祉施設等における個別支援計画の作成とその実際について学ぶ。 9. 児童福祉施設等の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確にする。 【授業時間外の学修内容】実習にかかわる資料を熟読し、自己課題を持って臨むこと		D

テキスト	石橋裕子、2018年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院
参考書	加藤洋子他編、2018年、『事例を通して学びを深める一施設実習ガイド』、ミネルヴァ書房

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%			70%
	補足						実習施設の評価

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小林美花／保育士、清水桂子／幼稚園教諭
		科目との関連	小林美花、清水桂子／保育士・幼稚園教諭の実務経験を活かし、保育実習全般にかかわる具体的内容について教授する。

質問への対応	担当教員研究室にて随時対応します。
資格	[こ]保育士_選必
その他	

科目名	保育実習指導Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	小林　美花、清水　桂子、保田　真希				

授業の目的	
ねらい	保育実習の意義と目的及び保育士の専門性と職業倫理について、理解することを目的とします。また、これまでの学習を振り返り、保育士として必要な実践力も習得します。更に、実習事後指導を通して、実習の振り返り、考察、自己評価を行い保育士として必要な自己の課題を明確化します。
到達目標	(1)保育実習の意義と目的について総合的に理解します。 (2)これまでの学習内容から関連性を踏まえ、保育実践力を習得します。 (3)保育士の業務内容と職業倫理について理解します。 (4)実習事後指導を通し、自己評価を行い保育に対する課題などを明確にします。

授業の計画						
第1回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて① 【計画内容】保育実習の意義と目的について理解します。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容の確認と共に、参考書をもとに保育実習の意義と目的について整理しておくこと。	A、K	第9回	【テーマ】保育の計画と実践③ 【計画内容】子どもの発達を踏まえた保育の計画と記録について理解を深め、具体的な計画を作成します。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】指導計画について復習しておくこと。	B、H、K
第2回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて② 【計画内容】保育実習の内容や段階について理解します。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。	A、K	第10回	【テーマ】保育の計画と実践④ 【計画内容】保育の観察、記録、自己評価に基ずく保育の改善について、事例を通して学びます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】ＰＤＣＡサイクルについて復習しておくこと。	B、J
第3回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて③ 【計画内容】子どもの最善の利益を考慮した保育について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。	A、K	第11回	【テーマ】保育士の専門性と職業倫理① 【計画内容】保育士の専門性と職業倫理について、保育実践を通して理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】職業倫理について復習しておくこと。	B、K
第4回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて④ 【計画内容】子どもの保育と子育て支援について理解を深め、事例を通して具体的な支援方法を検討します。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。	B、J	第12回	【テーマ】保育士の専門性と職業倫理② 【計画内容】プライバシーの保護について、事例を通して理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】配付したプリントをよく読んでおくこと。	B、J
第5回	【テーマ】保育実践力の育成① 【計画内容】場面状況に応じた関わりや援助方法について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】乳幼児の援助方法について復習しておくこと。	B、H	第13回	【テーマ】保育実習総括① 【計画内容】保育実習後に自己の実習を総括します。また、グループワークを行い多様な保育についても理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】実習日誌の確認をしておくこと。	B、H
第6回	【テーマ】保育実践力の育成② 【計画内容】子どもの発育・発達を踏まえ、保育の知識や技術を活かした保育実践の内容について考察します。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】乳幼児期の発達について復習しておくこと。	B、K	第14回	【テーマ】保育実習総括② 【計画内容】保育実習後に自己評価を行い、自己課題を明確にします。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】保育実習の日誌を確認しておくこと。	B、L
第7回	【テーマ】保育内容と計画と実践① 【計画内容】全体的な計画に基づく具体的な計画について理解します。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】全体的な計画について復習しておくこと。	B、K	第15回	【テーマ】保育実習総括③ 【計画内容】これまでの学習の振り返りと、実習自己評価から保育士としての資質能力の最終確認を行います。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】授業全体の復習をしておくこと。	B、L
第8回	【テーマ】保育の計画と実践② 【計画内容】具体的な計画を踏まえた保育実践の内容について理解します。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】指導計画の種類について復習しておくこと。	B、K				

テキスト	相浦雅子・那須信樹・原孝成、2020年、『Let's have a dia l ogue!　ワークシートで学ぶ保育所実習』、同文書院、9784810314939
参考書	『Q & Aで学ぶ保育・教育実習』、サンウェイ出版、987488389 石橋裕子、2018年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題などについては、授業において総評を行います。

実務経験と授業の関連			
該当	経験内容	小林美花／保育士、清水桂子／幼稚園教諭
	科目との関連	小林美花、清水桂子／保育士・幼稚園教諭の実務経験を活かし、保育実習全般にかかわる具体的内容について教授する。

質問への対応	担当教員研究室にて対応します。
資格	[こ]保育士_選必
その他	「保育実習Ⅱ」履修者は、必ず履修する必要があります。第16回に実習直前の最終確認を行います。

科目名	保育実習指導Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1
教員名	保田　真希、小林　美花、清水　桂子				

授業の目的

ねらい	これまでの学びを踏まえ、自己課題を明確化するとともに、児童福祉施設等において保育を行う上で必要な実践力を身につけます。また、事例検討を行う中で保育内容について学び、児童福祉施設等における計画、記録、実践、自己評価について理解を深め、課題を明確にします。
到達目標	(1)保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解します。 (2)実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を養います。 (3)保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学びます。 (4)保育士の専門性と職業倫理について理解します。 (5)実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にします。

授業の計画

第1回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて 【計画内容】保育実習の意義と目的を確認し、児童福祉施設等における実習内容や段階について理解します。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容の確認と共に、児童福祉施設における実習の目的を整理しておくこと。	A、B、K	第9回	【テーマ】保育実践力の育成 【計画内容】障害児入所施設・児童発達支援センター等における保育の表現技術を生かした保育実践について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】具体的実践場面について準備しておくこと。	B、H、K、L
第2回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて 【計画内容】児童福祉施設等における子どもの最善の利益を考慮した保育について理解します。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】これまでの資料を整理し配付プリントを読了しておくこと。	B、H、K、L	第10回	【テーマ】保育の計画と実践 【計画内容】児童福祉施設等における個別支援計画に基づく保育の計画と実践について学びます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】復習する中で理解の進んでいない部分について抽出しておくこと。	B、K、L
第3回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて 【計画内容】児童養護施設・母子生活支援施設等における子どもの保育と家族への支援について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】復習する中で理解の進んでいない部分について抽出しておくこと。	B、H、K、L	第11回	【テーマ】保育の観察・記録・自己評価 【計画内容】保育の観察・記録・自己評価に基づく保育の改善について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】これまでの資料を整理する中で振り返りをおこなっておくこと。	B、H、K、L
第4回	【テーマ】保育実習による総合的な学びについて 【計画内容】障害児入所施設・児童発達支援センター等における子どもの保育と家族への支援について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】復習する中で理解の進んでいない部分について抽出しておくこと。	B、H、K、L	第12回	【テーマ】保育士の専門性 【計画内容】児童養護施設・乳児院等における保育士の専門性について保育実践を通して理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】これまでの資料を整理する中で復習をしておくこと。	B、H、K、L
第5回	【テーマ】保育実践力の育成 【計画内容】児童養護施設・児童心理治療施設等において、子どもの状態に応じた適切な関わりについて理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	B、H、K、L	第13回	【テーマ】保育士の専門性 【計画内容】障害児入所施設・児童発達支援センター等における保育士の専門性について保育実践を通して理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】これまでの資料を整理する中で復習をしておくこと。	B、H、K、L
第6回	【テーマ】保育実践力の育成 【計画内容】母子生活支援施設・乳児院等において、子どもの状態に応じた適切な関わりについて理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	B、H、K、L	第14回	【テーマ】保育士の職業倫理 【計画内容】保育場面を振り返る中で、保育士の職業倫理の実際について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】具体的実践場面について準備しておくこと。	B、H、K、L
第7回	【テーマ】保育実践力の育成 【計画内容】障害児入所施設・児童発達支援センター等において、子どもの状態に応じた適切なかかわりについて理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読んでおくこと。	B、H、K、L	第15回	【テーマ】保育実習総括 【計画内容】児童福祉施設等における実習の総括を通し、保育職に就くための自己評価と今後の課題を明確にします。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】これまでの学びを整理しておくこと。	A、L、G
第8回	【テーマ】保育実践力の育成 【計画内容】児童養護施設・乳児院等における保育の表現技術を生かした保育実践について理解を深めます。(小林美花・清水桂子・保田真希) 【授業時間外の学修内容】具体的実践場面について準備しておくこと。	B、H、K、L			

テキスト	田中利則、2018年、『事例を通して学びを深める一施設実習ガイド』、ミネルヴァ書房 プリントを使用します
参考書	石橋裕子ほか、2018年、『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』、同文書院、9784810314250

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	30%		50%		20%	
補足					演習への取組意欲	

課題に関するフィードバックの方法	課題などについては、授業において総評を行います。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	小林美花／保育士、清水桂子／幼稚園教諭
	科目との関連	小林美花、清水桂子／保育士・幼稚園教諭の実務経験を活かし、保育実習全般にかかわる具体的内容について教授する。

質問への対応	担当教育研究室にて随時対応します。
資格	[こ]保育士_選必
その他	

科目名	幼児理解の理論と方法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	松田　久美				

授業の目的		
	ねらい	教師が、一人ひとりの子どもに応じた指導や援助を行うためには、思考や理解といった認知活動や心の動きを正確に捉え、必要な対処を適切に行う能力が必要である。そうした力を身につけるために、幼児の認知や人格の発達がどういったメカニズムで生じるのかについて理解し、集団、個人、及び集団と個人との関係性を把握するための方法を知り、幼児を取り囲む環境や背後にある諸問題について考察する。また、精神疾患や身体疾患、及び発達障害を抱えた子どもについても理解し、それぞれの支援に必要なアセスメント法を知り、今後の課題・展望に関する考察を行う。
	到達目標	(1)幼児を理解するための基礎となる知識を身につける。 (2)幼児を理解することの重要性、幼児を取り囲む環境や背後にある諸問題について考察し、理解を深める。 (3)幼児を理解するために必要な具体的な方法について理解する。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の概要の説明。 【授業時間外の学修内容】幼児教育に携わる者にとって、「幼児を理解する」とはどういったことであるのかについて考えておくこと。	A、L	第9回	【テーマ】アセスメント法3: 集団と個人を捉える 【計画内容】実験心理学的手法、脳機能計測法、脳機能画像撮影法について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をしておく。	B、L
第2回	【テーマ】胎児から新生児へ 【計画内容】生物学的・神経学的視点から「生命の誕生」を理解する。 【授業時間外の学修内容】「生命の誕生」について考察しておく。	A、L	第10回	【テーマ】虐待を受けた子どもの理解 【計画内容】子ども観の変遷とも重なる「児童虐待の歴史」を概観し、社会状況と虐待との関連性理解する。虐待が子どもに与える影響を知り、子どもへの支援、保護者への対応を理解し、虐待が生じる要因について考察する。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をしておく。	A、K、L
第3回	【テーマ】認知活動の理解1 【計画内容】感覚(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚)について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をしておく。	A、L	第11回	【テーマ】子どもの不安症の理解 【計画内容】アセスメント、子どもへの支援、保護者への対応について理解し、今後の課題・展望に関する考察を行う。 【授業時間外の学修内容】不安症の定義を捉えておく。	A、K、L
第4回	【テーマ】認知活動の理解2 【計画内容】知能説を知り、知能の発達について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をしておく。	A、L	第12回	【テーマ】子どもの抑うつの理解 【計画内容】アセスメント、子どもへの支援、保護者への対応について理解し、今後の課題・展望に関する考察を行う。 【授業時間外の学修内容】抑うつ、うつ病の定義について調べておく。	A、K、L
第5回	【テーマ】認知活動の理解3 【計画内容】幼児期の思考の発達について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をしておく。	A、L	第13回	【テーマ】子どもの ODD/CD の理解 【計画内容】アセスメント、子どもへの支援、保護者への対応について理解し、今後の課題・展望に関する考察を行う。 【授業時間外の学修内容】ODD/CD はそれぞれ、どういった行動的特徴を持つのかについて調べておく。	A、K、L
第6回	【テーマ】気質と人格 【計画内容】発達理論を知り、パーソナリティの発達について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をしておく。	A、L	第14回	【テーマ】子どもの身体疾患の理解 【計画内容】身体疾患が子どもに与える心理的影響、アセスメント、子どもへの支援、保護者への対応について理解し、今後の課題・展望に関する考察を行う。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をしておく。	A、K、L
第7回	【テーマ】アセスメント法1: 集団と個人、及び集団と個人との関係を捉える 【計画内容】質問紙法、観察法(チェックリスト法)、ソシオメトリーについて理解する。 【授業時間外の学修内容】アセスメントとは何かについて調べておくこと。	B、L	第15回	【テーマ】子どもの自閉症スペクトラム障害(ASD)・注意欠陥多動性障害(ADHD)の理解 【計画内容】アセスメント、子どもへの支援、家族(親・きょうだい)への対応について理解し、今後の課題・展望に関する考察を行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を振り返っておくこと。	A、K、L
第8回	【テーマ】アセスメント法2: 集団と個人、及び集団と個人との関係を捉える 【計画内容】インタビュー法、生理的反応の測定法について理解する。 【授業時間外の学修内容】前回の授業の復習をしておく。	B、L				

テキスト	谷田貝公昭・大沢裕 編著、2017年、『幼児理解』、一藝社、978486351769
参考書	石川新一・佐藤正二 編著、2015年、『臨床児童心理学 : 実証に基づく子ども支援のあり方』、ミネルヴァ書房、9784623072460

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	80%				20%	
	補足					討論での発言内容、考察内容を含む	

課題に関するフィードバックの方法	採点後、答案を返却します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	適宜対応します。
資格	[こ]幼2種_必修
その他	第16回に最終評価のための試験を行います。

科目名	保育内容人間関係	授業形態	演習	単位数	2
教員名	菜原　桂子				

授業の目的

ねらい

近年、子どものコミュニケーション能力や規範意識の低下など、人と関わる力の育ちの問題が指摘されています。このような背景の中で、保育内容5領域の中でも、人と豊かな関わりを養う領域「人間関係」を学ぶ意義は深いと言えます。この授業では、幼稚園教育要領と保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「人間関係」のねらいと内容を学修します。生涯にわたる人格形成の基礎が培われる乳幼児期には、特定範囲の人との安定した関係を得ることが必須条件となることをふまえ、乳幼児と密接にかかわる保育者に求められる援助の在り方について学びます。

到達目標

(1)幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「人間関係」のねらいと内容について理解する。
(2)人間関係の発達における乳幼児期の重要性について理解する。
(3)乳幼児期の人間関係の発達における、保育者の役割について理解を深める。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション・自己理解と自己概念 【計画内容】授業の目標を理解し、全15回の授業を概観します。人間関係について考え、自己分析を行います。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。	A、B、K	第9回	【テーマ】遊びと人間関係(1) 【計画内容】子どもの人間関係を考慮した活動内容について考え、指導案を作成して実践に繋げます。また、評価・反省を行い、省察について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、H、K
第2回	【テーマ】領域「人間関係」のねらいと内容について 【計画内容】『幼稚園教育要領』・『保育所保育指針』・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』における領域「人間関係」について学びます。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領』・『保育所保育指針』・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の領域「人間関係」の部分を読んでおくこと。	A、K	第10回	【テーマ】遊びと人間関係(2) 【計画内容】遊びを通して幼児期から培う社会性やコミュニケーション能力の重要性について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、B、H
第3回	【テーマ】人間関係の発達(1)乳児期 【計画内容】「愛着」と「愛着形成」およびその重要性について学びます。また、乳幼児期における人との関わりについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、B、K	第11回	【テーマ】気になる子どもとの関わり 【計画内容】気になる子どもと保育課題、特別支援教育について学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、K
第4回	【テーマ】人間関係の発達(2)幼児期から児童期 【計画内容】「自我の芽生え」について学びます。また、幼児の主体的な活動について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、B、K	第12回	【テーマ】子育て支援と家庭との関わり 【計画内容】実践事例を踏まえて、子育て支援について学び、保護者対応の留意点を考察します。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、J
第5回	【テーマ】遊びの発達と人間関係 【計画内容】子どもにとっての「遊び」の意義、遊びの中で生まれる人間関係について学び、経験の中で身に付けていく内容と援助の留意点について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、B、H	第13回	【テーマ】子どもの人間関係をめぐる課題(1) 【計画内容】少子高齢化社会や情報社会に生きる子どもたちについて理解を深めます。また保育の中での情報機器や教材の活用法について考察します。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、K
第6回	【テーマ】子どもと保育者の関わり 【計画内容】子どもが身につけていく人間関係を、保育計画・指導計画にどのように位置づけるかを学びます。また、保育に対しての省察の意義、教育における評価の考え方について考察します。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、B、K	第14回	【テーマ】子どもの人間関係をめぐる課題(2) 【計画内容】これまでの授業を踏まえ、子どもの人間関係をめぐる現代的課題とその解決方法について検討します。また、小学校の教材などへのつながりについて考察します。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、G
第7回	【テーマ】保育者の援助と自立・共同・協同・協働 【計画内容】「生きる力」の基礎としての「自立」について学び、子どもが人と関わる力を身に付けて行くことについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、F、L	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】保育内容5領域とのつながりと「保育内容人間関係」の特性に応じた保育の実践の動向を知り、保育の構想の向上に取り組むことについて考察します。 【授業時間外の学修内容】授業全体の復習を行うこと。	A、L
第8回	【テーマ】人間関係を結ぶ友だちとの関わり 【計画内容】子どもが友だち関係を広げていく活動内容や保育者の役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書の指定個所をよく読んでおくこと。	A、F、H			

テキスト	保育内容人間関係、2018年、『保育内容人間関係』、株式会社みらい 講義ノートを作成します プリントを使用します
参考書	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		30%	10%
補足						

課題に関するフィードバックの方法	課題は15回中に返却し、フィードバックを行います。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	保育士・幼稚園教諭一種
	科目との関連	保育士・幼稚園教諭の実務経験を活かし保育現場の課題や保育に関する実際の事例を交え、子どもたちの豊かな育ちを支える保育者について考察しながら授業を行います。

質問への対応	授業内、授業日の昼休み、オフィスアワーなどで対応します。
資格	[こ]幼2種_選必、保育士_必修
その他	最終日に講義ノートをまとめて提出し、評価を行います。

科目名	保育内容健康	授業形態	演習	単位数	2
教員名	小林　八重子				

授業の目的

ねらい	(1)保育所保育指針及び幼稚園教育要領における領域「健康」のねらいと内容を理解し学びます。 (2)領域「保健」の観点から、保育所の役割・基本的生活習慣の指導・環境構成の在り方などについて理解し学びます。
到達目標	(1)保育所保育方針及び幼稚園教育要領に基づいた「健康」を学びます。 (2)幼児の発達と健康、生活習慣・食習慣について学びます。 (3)保育における運動やけがや病気・応急処置等について学びます。

授業の計画

第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の目標を理解し、全15回の授業を概観します。 【授業時間外の学修内容】授業の概観を理解しておくこと	A	第9回	【テーマ】食習慣の形成と食育 【計画内容】心と体の栄養になるような楽しい食事の環境作りについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントに示す予習課題について取り組むこと。	A、K
第2回	【テーマ】領域「健康」のねらいと内容 【計画内容】保育所保育方針及び幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらいや内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第10回	【テーマ】食習慣に必要な教材の作成 【計画内容】こどもに必要な食習慣をつけさせるために必要な教材を作成します。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントに示す復習課題について取り組むこと。	A、B、F、K
第3回	【テーマ】領域「健康」と保育の実際 【計画内容】「安定感」「戸外の遊び」「生活の場の整備」など、保育の実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第11回	【テーマ】保育における運動 【計画内容】運動遊びの指導のポイントについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントに示す復習課題について取り組むこと。	A、H、K
第4回	【テーマ】幼児の発達と健康① 【計画内容】乳幼児期における身体の発育・発達について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第12回	【テーマ】幼児のけがや事故 【計画内容】効果的な安全管理や安全教育のあり方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリント示す復習課題について取り組むこと。	A、H、K
第5回	【テーマ】幼児の発達と健康② 【計画内容】幼児期における心や社会性の発達について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第13回	【テーマ】応急処置の基本 【計画内容】適切な応急処置の仕方について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントに示す復習課題について取り組むこと。	A、B、H、K
第6回	【テーマ】幼児の生活習慣と健康 【計画内容】幼児の睡眠を中心とした生活リズムの現状と課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、H、K	第14回	【テーマ】幼児に罹りやすい病気 【計画内容】感染症、アレルギー、予防接種などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】これまで配付したプリントを復習し、理解の進んでない問題を整理しておくこと。	A、H、K
第7回	【テーマ】基本的な生活習慣の形成 【計画内容】身の回りの清潔や衣類の着脱、排泄など基本的な生活習慣の形成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、H、K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】授業全体の成果と課題を明確にします。 【授業時間外の学修内容】前回配付した「まとめ」のプリントについて理解を深めておくこと。	A、H、K、L
第8回	【テーマ】基本的な生活習慣に必要な教材の作成 【計画内容】こどもに必要な生活習慣をつけさせるために必要な教材を作成します。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントに示す復習課題に取り組むこと。	A、B、F、K			

テキスト	プリントを使用します
参考書	こうの悟郎、2018年、『子どもの保健』、診断と治療社 小林美由紀、2018年、『子どもの保健演習ノート』、診断と治療社

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			60%		40%	
補足			レポート			

課題に関するフィードバックの方法	各講義終了後にレポートを提出してもらい、学んだ内容を確認し返却します。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	養護教諭
	科目との関連	養護教諭としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。随時講義終了後に受け付けます。
資格	[こ]幼2種_選必、保育士_必修
その他	

科目名	教育課程論	授業形態	講義	単位数	2
教員名	高橋　さおり				

授業の目的		
	ねらい	教育基本法や学校教育法等の法令に従い学習指導要領や幼稚園教育要領を基準として各学校等において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解します。また、各学校等に求められる今日的な課題を理解し、その実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解します。
	到達目標	(1)教育課程の役割・機能・意義を理解することができる。 (2)教育課程編成の基本原理と方法を理解することができる。 (3)カリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義内容や到達目標、成績評価方法等について説明し、授業の全体を概観します。 【授業時間外の学修内容】『幼稚園教育要領解説』pp.74-77を読んでおくこと。	A、L	第9回	【テーマ】指導計画の作成(1)幼稚園、認定こども園 【計画内容】指導計画の作成を通して、園や地域の実態を踏まえつつ、領域を横断して教育内容を選択・配列することの意義や方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、H、L
	第2回	【テーマ】教育課程とカリキュラム 【計画内容】教育課程とカリキュラムの概念を捉え、教育課程の意義や役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A、K、L	第10回	【テーマ】指導計画の作成(2)小学校 【計画内容】指導計画の作成を通して、学校や地域の実態を踏まえつつ、教科・領域を横断して教育内容を選択・配列することの意義や方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、H、L
	第3回	【テーマ】教育課程と関係法規 【計画内容】教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則等の教育課程に関する法規について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、L	第11回	【テーマ】カリキュラム・マネジメントの重要性 【計画内容】子どもが身につけたい資質・能力を明確にした上で、その実現に向けてたえず計画を改善していかなければならないことについて、教育内容・方法の計画という観点から学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、K、L
	第4回	【テーマ】幼稚園及び認定こども園の教育課程 【計画内容】幼稚園及び認定こども園における教育課程の意義、目的、編成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、K、L	第12回	【テーマ】教育課程を支える諸条件のマネジメント 【計画内容】ヒト(教職員組織・保護者・地域住民)・モノ(教材教具・施設設備等)・カネ(財政的な措置等)といった諸条件のマネジメントを行うことで、カリキュラムをよりよいものとしていくことについて学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、L
	第5回	【テーマ】幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領について 【計画内容】幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の意義や役割、主な内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A、K、L	第13回	【テーマ】教育課程と評価 【計画内容】子どもたちが何を理解しているか、または何を理解していないかという現状把握を起点として、どのように計画を改善していくかについて、学校全体の評価の問題と関連付けながら学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、L
	第6回	【テーマ】小学校の教育課程 【計画内容】小学校における教育課程の意義、目的、編成について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、K、L	第14回	【テーマ】幼小接続について 【計画内容】「小1プロブレム」について考察し、幼小接続の現状と課題について理解します。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A、H、L
	第7回	【テーマ】学習指導要領について 【計画内容】小学校学習指導要領の意義や役割、主な内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、K、L	第15回	【テーマ】学修の振り返り 【計画内容】授業の振り返りを行い、教育課程をめぐる現代の課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】授業全体の復習をしておくこと。	A、H、L
	第8回	【テーマ】幼稚園教育要領及び学習指導要領の変遷 【計画内容】幼稚園教育要領及び小学校学習指導要領の改訂の変遷とその主な内容、社会的背景について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、L			

テキスト	文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館、9784577814475 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館、9784577814499
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社、9784491034607 プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	小レポート等については、授業中間時および最終回に講評します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回授業時に説明します。
資格	[こ]幼・小2種_必修
その他	

科目名	教育実習講義Ⅱ	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菜原　桂子、長尾　明也、中島　啓子、松田　久美				

授業の目的

ねらい	「教育実習」は、大学における教職課程と実習幼稚園・小学校との連携の中で指導体制が組織され、教育理論と教育実践が相互に交流し合いながら高められ、教育者を志す者の教育的情熱と力量形成の源となるものです。教育実習に向けて、実習の効果を一層高めるために、安心して実習できる心構えをしっかりと持ち、それぞれが自分の目標を定めて取り組めるようにします。
到達目標	(1)教育実習の指導技術が理解できる。 (2)教育実習の心得が理解できる。 (3)意欲をもって教育実習に参加しようとする。 (4)自分の目標をもって教育実習に取り組むことができる。 (5)教育実習の成果と課題をまとめることができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】教育実習オリエンテーションについて 【計画内容】教育実習の意義と目的について再確認します。挨拶の仕方、礼状の書き方、実習校・園への対応の仕方を学びます。実習調査書に記入した「実習への心構えと具体的な目標」について交流して意識化します。教育実習日誌の記入についても学びます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】『教育実習の手引き』、実習調査書控を準備すること。	A・B・K	第9回	【テーマ】教育実習の交流1 【計画内容】教育実習での成果と課題を交流します。子どもとのかかわりや指導内容についてとクラスに分かれて交流します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教育実習の時の日誌、指導案、作成した教材などを準備すること。	A、F、H、K
第2回	【テーマ】幼稚園実習・小学校実習の指導案づくり・実践(模擬保育・模擬授業)? 【計画内容】実習内容の理解、子ども一人ひとりへの対応の仕方、保育の仕方を具体的に学びます。小学校グループと幼稚園グループに分かれて指導案を作成し模擬保育・模擬授業を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案づくりの予習(下書き)をしてくること。幼稚園グループは自己紹介作品を展開できるように練習してくること。	A、B、F、K	第10回	【テーマ】教育実習の交流2 【計画内容】教育実習での成果を課題を交流します。実習校・園の日課表などについても交流します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教育実習日誌、指導案、作成した教材などを準備すること。	A、F、H、K
第3回	【テーマ】幼稚園実習・小学校実習の指導案づくり・実践(模擬保育・模擬授業)? 【計画内容】実習内容の理解、子ども一人ひとりへの対応の仕方、保育の仕方を具体的に学びます。小学校グループと幼稚園グループに分かれて作成した指導案で、模擬授業、部分指導のシュミレーションを行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案にそって、必要な教材・教具・提示予定の作品などを準備すること。	A、F、H	第11回	【テーマ】小学校教諭・幼稚園教諭をめざして1 【計画内容】幼稚園グループ：実習で指導いただいた先生の指導する姿の観察などから、自分が目指す理想の幼稚園教諭像を小論文に書き、交流します。(菜原桂子・松田久美・中島啓子) 小学校グループ：小学校で実習した教科の内容について学習指導要領の関連でまとめます。(長尾明也) 【授業時間外の学修内容】幼稚園教諭・小学校教諭の仕事内容などメモしてくること。	A、F、HA、F、H
第4回	【テーマ】幼稚園実習・小学校実習の指導案づくり・実践(模擬保育・模擬授業) 【計画内容】実習内容の理解、子ども一人ひとりへの対応の仕方、保育の仕方を具体的に学びます。小学校グループと幼稚園グループに分かれて作成した指導案で模擬授業・部分指導のシュミレーションを行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案にそって、必要な教材・教具・提示予定の作品などを準備すること。	A、F、H	第12回	【テーマ】小学校教諭・幼稚園教諭をめざして2 【計画内容】幼稚園グループ：実習で部分指導した内容と幼稚園教育要領と関係づけてまとめます。(菜原桂子・松田久美・中島啓子) 小学校グループ：小学校で実習した教科の内容について学習指導要領の関連でまとめます。(長尾明也) 【授業時間外の学修内容】幼稚園教諭・小学校教諭の仕事内容などメモしてくること。	A、F、HA、F、H
第5回	【テーマ】幼稚園実習・小学校実習の指導案づくり・実践(模擬保育・模擬授業) 【計画内容】実習内容の理解、子ども一人ひとりへの対応の仕方、保育の仕方を具体的に学びます。小学校グループと幼稚園グループに分かれて指導案を作成します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】指導案にそって、必要な教材・教具・提示予定の作品などを準備すること。	A、F、H	第13回	【テーマ】小学校教諭・幼稚園教諭をめざして3 【計画内容】幼稚園グループ：実習で部分指導した内容と幼稚園教育要領と関係づけてまとめます。(菜原桂子・松田久美・中島啓子) 小学校グループ：小学校で実習した教科の内容について学習指導要領の関連でまとめます。(長尾明也) 【授業時間外の学修内容】幼稚園教諭・小学校教諭の仕事内容などメモしてくること。	A、F、HA、F、H
第6回	【テーマ】実習日誌の確認と実習要項について 【計画内容】実習日誌・実習要項を配付し実習に向けて必要事項を具体的に理解します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまで学んできたことをもとに教育実習に向けての決意や心構えをしっかり行うこと。	A、F、H	第14回	【テーマ】小学校教諭・幼稚園教諭をめざして4 【計画内容】実習中、校長・園長、指導教諭からうけた助言や指導、課題とされたことを整理して、自分から取り組んでいくよう自己課題カードを作成します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教育実習日誌などの園長・校長、指導担当教諭の所見等を準備すること。	A、F、H
第7回	【テーマ】教育実習事前準備を行うこと。実習訪問担当教員との個別面談・打合を行うこと。 【計画内容】実習参加への決意を表明します。幼稚園・小学校実習への抱負と決意を表明して本実習に臨みます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】実習準備に関する最終確認をしっかり行うこと。	A、F	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】小学校教諭としての、採用までの流れを整理し応募の仕方について学びます。また今回の実習の成果を土台に今後どのように進んで行くのか考えます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】自己評価の資料を準備すること。	A、F、H
第8回	【テーマ】教育実習報告書の作成・振り返りシート・礼状の作成 【計画内容】教育実習を振り返り、成果と課題についてまとめます。実習園・実習校へのお礼状を作成し、発送します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】教育実習後、実習日誌、指導案を提出すること。	A、F、H、K			

テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部、2018年、『教育実習の手引き』
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東京書籍 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 内閣府他、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』、フレーベル館

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		40%	30%		20%	10%
補足		模擬授業・保育等	期日厳守		積極的な取り組み状況	

課題に関するフィードバックの方法	課題は15回中に返却しその都度振り返りを行います。

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	菜原桂子・松田久美／幼稚園教諭　長尾明也・中島啓子／小学校教諭
	科目との関連	それぞれの講義で業務経験を活かし実務に即した指導内容を踏まえた教育実習事前・事後指導を行います。

質問への対応	各授業担当者のオフィスアワー(昼休み)
資格	[こ]幼・小2種_必修
その他	教職に就くために教育実習での実践的経験は極めて重要です。教育実習の事前準備と事後の改善点整理をしっかり行うようにしましょう。講義ノートは第15回にまとめて提出して評価を行います。

科目名	教育実習	授業形態	実習	単位数	4
教員名	菜原　桂子、長尾　明也、中島　啓子、松田　久美				
授業の目的	ねらい	教育実習は、教育者を目指す皆さんが幼児・児童と関わり、その仕事の実際にふれ、現実を体験する中で、自らの決意と適性を確認していきます。また、自己の人間的・学問的な課題を自覚して、新たに教育者となるための目標を設定する場としてきわめて重要な科目です。教育実習では、保育内容（幼稚園）・教科指導、道徳・特別活動指導、生徒指導（小学校）等、諸行事への参加、学校地域社会との関係理解など、様々な教育活動を経験して、教育者の役割、幼稚園・小学校の機能を十分に把握することが求められています。本教科においては、「教育実習講義Ⅰ・Ⅱ」と連動し、幼稚園・小学校の教育現場で体験的な学習に3週間参加して、教職のすばらしさを知り、教員としての資質や能力を体得することを目的とします。また、意欲的に研修する態度も身につけ、教職員の指導のもとに、誠実でかつ意欲的に取り組まなければなりません。		
	到達目標	(1)教育者としての自覚のもとに、責任をもち積極的に教育活動に参加できる。 (2)幼児・児童の実態に基づいた指導案の作成、保育・授業に対する評価・反省ができる。 (3)幼児・児童の実態に基づいた関わり、環境構成、人間関係づくりなどができる。 (4)教材研究を積極的に行うとともに、提出物の内容が適切であり期限を守って提出することができる。		
授業の計画	【計画内容】 (1)観察、参加、保育・授業を体験します。 (2)各実習園・実習校の職員による指導を受けます。 (3)各実習園・実習校の行事へ参加します。 (4)指導案を作成し、保育・研究授業をします。 (5)実習日誌を書きます。 (6)こども学科教員による訪問指導を受けます。（学科全教員） 【事後学習の内容】 ・実習園・実習校への礼状、実習報告書の作成。（全教員） ・実習の反省及び今後の課題。（全教員） 【授業時間外の学修内容】実習園・実習校のオリエンテーション・打合等で指示された準備、持参する用具等の確認・記名など。	D			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東京書籍 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 北翔大学・北翔大学短期大学部、2020年、『教育実習の手引き』
参考書	必要に応じてプリント等を配付します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		40%				60%
	補足		実習日誌・実践授業指導案・実習報告書				実習園、校からの評価を参考にする

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	菜原桂子・松田久美／幼稚園教諭　長尾明也・中島啓子／小学校教諭
		科目との関連	各実習についての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。

質問への対応	教育実習担当（随時）：幼稚園…菜原、中島、松田、　小学校…長尾 教育実習訪問時（随時）：教育実習訪問指導教員
資格	[こ]幼・小2種_必修
その他	実習前年度までに、「教職概論（2単位）」「教育原理（2単位）」「教育相談とカウンセリング（2単位）」「教育実習講義Ⅰ（2単位）」「日本国憲法（2単位）」を修得していること。実習終了後の事後指導を含む。

科目名	教職実践演習(幼・小)	授業形態	演習	単位数	2
教員名	松田　久美、荒川　巌、高橋　さおり、類家　斉				

授業の目的		
	ねらい	「教育実習講義Ⅰ・Ⅱ」及び「教育実習」を通して身につけた、小学校教諭、幼稚園教諭として必要な知識及び技能を確認するとともに、本学の目指す教師像や到達目標等に照らし合わせ、各々に不足している能力及び資質の向上を目指す。
	到達目標	(1)使命感や責任感、教育的思考力が身についている。 (2)社会性や対人関係能力が身についている。 (3)幼児児童の理解力や学級経営能力が身についている。 (4)教科・保育内容等の指導力が身についている。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】個人での取り組みの後、小学校就職志望者と幼稚園(保育所)就職志望者に分かれてグループ編成し、各グループでディスカッションします(個別ワーク、及びグループワークを行います)。問題意識を持って設定したテーマ(教育、保育、及び児童、幼児に関わる)に沿って作成した「研究報告書」の「概要」を各指導教員に提出する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】「教育実習」を振り返り、知識の不足、技能の不十分さなど自覚した点を明らかにしておくこと。夏休みの課題「研究報告書の概要」を作成しておくこと。	A、H	第9回	【テーマ】論文作成への取り組み3 【計画内容】個々の必要に応じて、担当教員より添削指導等を受けながら、「研究報告書」の執筆作業を進める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】執筆内容に齟齬のないよう、丁寧に書き進めること。	G、L
	第2回	【テーマ】課題への取り組み1 【計画内容】幼稚園・小学校における「クラス便り」や、表現活動の「構想資料」などの作成に取り組む。(全教員) 【授業時間外の学修内容】計画的に課題に取り組めるよう準備すること。	B、L	第10回	【テーマ】論文作成への取り組み4 【計画内容】個々の必要に応じて、担当教員より添削指導等を受けながら、「研究報告書」の執筆作業を進める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】論文全体の体裁を整え、提出の準備をすること。	G、L
	第3回	【テーマ】課題への取り組み2 【計画内容】幼稚園・小学校における「クラス便り」や、表現活動の「構想資料」などの作成に取り組む。下一桁が奇数であるか偶数であるかで分かれるなどの方法をとりながら、個々のスケジュールで進める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】自分が立てた計画に沿って課題を進められるよう準備すること。	B、L	第11回	【テーマ】プレゼンテーション準備1 【計画内容】「研究報告書」の内容に関する「個人発表」の準備を、担当教員より教示を得ながら進める(全教員) 【授業時間外の学修内容】自分が作成した「論文」内容に関するわかりやすい(他者に伝わる)「発表」の準備を行う。	F、L
	第4回	【テーマ】課題への取り組み3 【計画内容】幼稚園・小学校における「クラス便り」や、表現活動の「構想資料」などの作成に取り組む。(全教員) 【授業時間外の学修内容】期限を守って提出できるよう、作業を進めること。	B、L	第12回	【テーマ】プレゼンテーション準備2 【計画内容】「研究報告書」の内容に関する「個人発表」の準備を、担当教員より教示を得ながら進める(全教員) 【授業時間外の学修内容】自分が作成した「論文」内容に関するわかりやすい(他者に伝わる)「発表」の準備を行う。	F、L
	第5回	【テーマ】課題への取り組み4 【計画内容】幼稚園・小学校における「クラス便り」や、表現活動の「構想資料」などの作成に取り組む。(全教員) 【授業時間外の学修内容】期限を守って提出できるよう、作業を進めること。	B、L	第13回	【テーマ】プレゼンテーション準備3 【計画内容】「研究報告書」の内容に関する「個人発表」の準備を、担当教員より教示を得ながら進める(全教員) 【授業時間外の学修内容】自分が作成した「論文」内容に関するわかりやすい(他者に伝わる)「発表」の準備を行う。	F、L
	第6回	【テーマ】論文作成への取り組み1 【計画内容】各自の「研究報告書」の「概要」に照らし合わせながら、「研究報告書」作成のための資料を収集する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】論文のテーマを設定し、どのような構成にするかについて明らかにしておくこと。	G、L	第14回	【テーマ】プレゼンテーション4 【計画内容】「研究報告書」の内容に関する個人発表(全教員) 【授業時間外の学修内容】自分が作成した「論文」内容に関するわかりやすい(他者に伝わる)「発表」の準備を行う。	F、L
	第7回	【テーマ】小学校教諭の実際(幼稚園と小学校の連携、インクルーシブ教育・保育について) 【計画内容】幼稚園・小学校管理職の経験者を講師に招き、幼小の関連や低学年の学級担任の役割や実務、とくに幼稚園から小学校低学年の子どもの活動傾向などについて学ぶ。(全教員) 【授業時間外の学修内容】配付したプリント等で小学校教諭・幼稚園教諭の職務について予習すること。	A、H	第15回	【テーマ】学びの振り返り(まとめ) 【計画内容】この授業の受講を通して、小学校教諭、幼稚園教諭として必要な資質や能力の向上が図れたかどうか、またそれはどのような点についてそのように言えるのかについてなど、「成果」を確認する。(全教員) 【授業時間外の学修内容】この授業全体を通して、得られたものについてを振り返っておく。	H、I、L
	第8回	【テーマ】論文作成への取り組み2 【計画内容】必要な資料(先行研究など)を収集して、読み取ったり、自分で調査をして結果を出すなどして、執筆作業を始める。(全教員) 【授業時間外の学修内容】序論、本論、結論のそれぞれで何についてどのように記述していくのかを明確にしながら、書き進めること。	G、L			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%	40%	10%	
	補足			期限厳守	期限厳守		

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	松田久美／幼稚園教諭　荒川巌・類家斉／小学校教諭　高橋さおり／中学校教諭
		科目との関連	それぞれの業務経験を活かし、教師に必要な能力及び資質の向上を図ります。

質問への対応	全体指導と小・幼グループ指導の2通りの授業形態があるため、初回講義時に説明します。
資格	[こ]幼・小2種_必修
その他	「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」のすべてを修得済み、あるいは修得見込みであること。

科目名	こどもの遊び論	授業形態	演習	単位数	2
教員名	長尾　明也				

授業の目的		
	ねらい	今、子どもの育ちに様々な問題が起きています。それは子どもが豊かに育つための遊びの時間や空間、人間関係を構築する力の低下、自然環境の破壊などが背景にあることが考えられます。子どもにとって遊びとは何かを考え、幅広い遊びについて理解を深めます。また保育者として、それらの遊びを保育の現場でどのように展開していくことが望ましいのかを考え、目的をもって活動展開する力を養います。
	到達目標	(1)遊びの理論について理解する。 (2)発達に応じた遊びを展開するための留意点を理解する。 (3)子どもにとって意義のある遊びを立案し実践する力を身に付ける。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】15回の講義の内容について説明します。 【授業時間外の学修内容】授業内で取り上げるテーマについて、予習してくること。	A	第9回	【テーマ】遊びの文化② 【計画内容】遊びの歴史的文化について学び、これからの子どもたちに伝えていきたい伝承遊びやわらべ歌を学び実践します。 【授業時間外の学修内容】8回目に出された課題として、個人またはグループで選択した遊びについて調べてくること。	A、B、L
	第2回	【テーマ】子どもの「いのち」と「リズム」 【計画内容】子どものいのちの尊さと、自然界のリズムについて学び、その関係性を明らかにするとともに、子どもに対する理解度を深めます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、B、L	第10回	【テーマ】遊びの文化③ 【計画内容】遊びの歴史的文化について学び、これからの子どもたちに伝えていきたい伝承遊びやわらべ歌を学び実践します。 【授業時間外の学修内容】9回目に出された課題として、個人またはグループで選択した遊びについて調べてくること。	A、B、L
	第3回	【テーマ】遊びと子どもの育ち 【計画内容】子どもの心身の発達に応じた遊びや、遊びの理論・遊びの分類について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、B、L	第11回	【テーマ】教育としての遊び① 【計画内容】保育所や幼稚園のような集団の営みの中で、保育者とともに楽しむ遊びや、教育的役割を果たしている遊びについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、B、L
	第4回	【テーマ】子どもの遊びとその課題 【計画内容】子どもにとって充実した遊びの環境とはどのような事かを考え、問題点や解決に向けて考えていきます。 【授業時間外の学修内容】3回目に出された課題「現代の子どもの遊びの充実に対し、問題点として考えられること」を考えてくること。	A、B、L	第12回	【テーマ】教育としての遊び② 【計画内容】保育所や幼稚園のような集団の営みの中で、保育者とともに楽しむ遊びや、教育的役割を果たしている遊びについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、B、L
	第5回	【テーマ】遊びの発達的特徴 【計画内容】遊びの中でみられる子どもの発達の特徴を理解し、遊びの機能と効用について学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、B、L	第13回	【テーマ】遊びの展開① 【計画内容】授業内で行った遊びを一つ選択し、その遊びをイメージして指導案を立案し実践します。 【授業時間外の学修内容】展開してみたい遊びを一つ選び、ねらいと準備するもの、展開の手順を考えてくること。	B、K
	第6回	【テーマ】発達段階を考えた遊び① 【計画内容】発達に見合った遊びを考え、実践するための留意点や指導法を学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、B、L	第14回	【テーマ】遊びの展開② 【計画内容】授業内で行った遊びを一つ選択し、その遊びをイメージして指導案を立案し実践します。 【授業時間外の学修内容】13回目に到達できなかった部分を仕上げてくること。	B、K
	第7回	【テーマ】発達段階を考えた遊び② 【計画内容】発達に見合った遊びを考え、実践するための留意点や指導法を学びます。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、B、L	第15回	【テーマ】子どもの遊びと理論についてのまとめ 【計画内容】講義の内容を振り返り、課題に基づいてレポートを作成します。 【授業時間外の学修内容】授業全体の復習を行っておくこと。	B、L
	第8回	【テーマ】遊びの文化① 【計画内容】遊びの歴史的文化について学び、これからの子どもたちに伝えていきたい伝承遊びやわらべ歌を学び実践します。 【授業時間外の学修内容】事前配付プリントを読んでおくこと。	A、B、L			

テキスト	プリントを使用します
参考書	厚生労働省、2018年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 文部科学省、2018年、『幼稚園教育要領解説』、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2018年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		30%	30%	30%	10%	
	補足		模擬授業	レポート・指導案案	小作品提出		

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。オフィスアワー(4月発表)を参考にしてください。
資格	
その他	保育コース必修。

科目名	こどもの表現遊び研究	授業形態	演習	単位数	2
教員名	清水　桂子				

授業の目的	
ねらい	子どもの生活のあらゆる場面において、表現活動は行われています。保育者は、子どもの育ちを基盤としながら子どもの表現を受けとめ、支えることが求められます。授業では、実践を通し幅広い視点をのもと、豊かな表現活動を展開できるよう理解を深めていきます。
到達目標	(1)乳幼児期の生活の中における表現活動について理解する。 (2)多様な表現活動をとらえる視点と関わりのあり方について理解する。 (3)豊かな表現活動を理解し、創意工夫する力と実践力を身につける。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】講義内容、評価の方法、受講姿勢等について説明します。領域[表現]を再確認したうえで、乳幼児期の表現活動について考えます。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を確認のうえ、参考書をもとに乳幼児の表現活動について考えておくこと。	A、B、K	第9回	【テーマ】身近な素材と表現活動　④[歌・動き]と表現活動 【計画内容】生活の中における身近な素材やもの[歌・動き]等を題材とた表現活動について、実践を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、B、K
第2回	【テーマ】保育内容表現と表現活動ついて 【計画内容】保育の中における多様な表現活動について学びます。子どもの育ちを基盤としながら、「保育内容表現」との関係性を学び、実践を通して理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、B、K	第10回	【テーマ】[歌・動き]を用いた表現活動の工夫と展開 【計画内容】身近な素材やもの[歌・動き]等を題材とした、表現活動の展開方法等を実践を通して学びます。グループワークを通し検討・発表につなげます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	B、E、H、K
第3回	【テーマ】身近な素材と表現活動　①絵本と表現活動 【計画内容】生活の中における身近な素材やもの[絵本]等を題材とした表現活動について、実践を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、B、K	第11回	【テーマ】豊かな表現活動と保育教材について 【計画内容】乳幼児の育ちに応じた、表現活動や遊びの展開につながる保育教材の考案と、用い方について研究します。 【授業時間外の学修内容】保育教材の内容について検討しておくこと。	B、H、K
第4回	【テーマ】[絵本]を用いた表現活動の工夫と展開 【計画内容】身近な素材やもの[絵本]等を題材とした、表現活動の展開方法等を実践を通して学びます。グループワークを通し検討・発表につなげます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	B、E、H、K	第12回	【テーマ】豊かな表現活動と保育教材の工夫 【計画内容】考案した保育教材の作成と用い方について研究します。グループワークを通して、教材の意味を検討します。 【授業時間外の学修内容】保育教材作成の準備をしておくこと。	B、H、K
第5回	【テーマ】身近な素材と表現活動　②[音・音色]と表現活動 【計画内容】生活の中における身近な素材やもの[音・音色]等を題材とた表現活動について、実践を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、B、K	第13回	【テーマ】総合的な表現活動について 【計画内容】これまでの表現活動での学びを総合的に活かし、実践し発表します。発表を通して多様な表現活動について幅広くとらえ、理解につなげます。 【授業時間外の学修内容】発表に向け、準備を進めておくこと。	B、H、K
第6回	【テーマ】[音・音色]を用いた表現活動の工夫と展開 【計画内容】身近な素材やもの[音・音色]等を題材とした、表現活動の展開方法等を実践を通して学びます。グループワークを通し検討・発表につなげます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	B、E、H、K	第14回	【テーマ】総合的な表現活動の展開 【計画内容】これまでの表現活動での学びを総合的に活かし、実践し発表します。発表を通して多様な表現活動について幅広くとらえ、理解につなげます。 【授業時間外の学修内容】発表に向け、準備を進めておくこと。	B、H、K
第7回	【テーマ】身近な素材と表現活動　③[言葉・擬音語]と表現活動 【計画内容】生活の中における身近な素材やもの[言葉・擬音語]等を題材とた表現活動について、実践を通して学びます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	A、B、K	第15回	【テーマ】総合的な学びの振り返りとまとめ 【計画内容】これまでの学びをふりかえり、まとめます。幅広い表現活動についての理解を再確認します。 【授業時間外の学修内容】テキスト、配付プリントを読んでおくこと。	B、K、L
第8回	【テーマ】[言葉・擬音語]を用いた表現活動の工夫と展開 【計画内容】身近な素材やもの[言葉・擬音語]等を題材とした、表現活動の展開方法等を実践を通して学びます。グループワークを通し検討・発表につなげます。 【授業時間外の学修内容】配付プリントの指定箇所を読んでおくこと。	B、E、H、K			

テキスト	プリントを配付します
参考書	今川恭子他、2005年、『子どもの表現を見る、育てる』、文化書房博文社、8301-1057-0 厚生労働省編、2019年、『保育所保育指針解説書』、フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2019年、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、フレーベル館

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		30%	40%
補足			学びの記録含む			実技発表

課題に関するフィードバックの方法	授業時ならびに最終回に講評します。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	幼稚園教諭
		科目との関連	保育実践の経験を活かし、乳幼児の表現活動について教授する。

質問への対応	初回講義時に説明します。616研究室
資格	
その他	学科推奨科目。動きやすい服装で出席して下さい。

科目名	こどもの造形遊び研究	授業形態	演習	単位数	2
教員名	入江　彩子				

授業の目的		
	ねらい	パネルシアターを制作します。また、教育実習で学んだことを昇華させるプロセスとして、壁面構成を共同制作します。この演習を通して、造形表現の基礎知識や技能を習得し、子どもの造形活動について様々な角度から考え、学びます。
	到達目標	(1)子どもが楽しめるパネルシアターを考案し、創意工夫して制作することができる。 (2)作品制作を通して造形表現の基礎知識や技能を習得し、造形感覚を養う。 (3)共同制作について理解し、他者と協力して作品を制作することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス、パネルシアター制作1 【計画内容】講義概要、講義展開等について説明します。パネルシアターについて知識と理解を深めます。また、内容を検討してアイディアスケッチと計画表を作成します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。図書館等を利用して、パネルシアターの本を何冊か読んでおくこと。	A、K	第9回	【テーマ】壁面構成制作1 【計画内容】グループごとに壁面構成の内容を検討し、アイディアスケッチと計画表を作成します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。図書館等を利用して、壁面構成の本を何冊か読んでおくこと。	H、K
	第2回	【テーマ】パネルシアター制作2 【計画内容】アイディアスケッチと計画表を基に制作を開始します。 【授業時間外の学修内容】アイディアスケッチと計画表を完成させておくこと。	E	第10回	【テーマ】壁面構成制作2 【計画内容】計画に基づいて共同で制作を進めます。 【授業時間外の学修内容】アイディアスケッチと計画表を完成させておくこと。	E、H
	第3回	【テーマ】パネルシアター制作3 【計画内容】各々の計画に基づいて制作を進めます。 【授業時間外の学修内容】制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E	第11回	【テーマ】壁面構成制作3 【計画内容】計画に基づいて共同で制作を進めます。 【授業時間外の学修内容】制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E、H
	第4回	【テーマ】パネルシアター制作4 【計画内容】各々の計画に基づいて制作を進めます。 【授業時間外の学修内容】制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E	第12回	【テーマ】壁面構成制作4 【計画内容】計画に基づいて共同で制作を進めます。 【授業時間外の学修内容】制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E、H
	第5回	【テーマ】パネルシアター制作5 【計画内容】各々の計画に基づいて制作を進めます。 【授業時間外の学修内容】制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E	第13回	【テーマ】壁面構成制作5 【計画内容】計画に基づいて共同で制作を進めます。 【授業時間外の学修内容】制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E、H
	第6回	【テーマ】パネルシアター制作6 【計画内容】各々の計画に基づいて制作を進めます。 【授業時間外の学修内容】制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E	第14回	【テーマ】壁面構成制作6 【計画内容】壁面構成を完成させます。 【授業時間外の学修内容】講義内で作品を完成できるよう、制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E、H
	第7回	【テーマ】パネルシアター制作7 【計画内容】パネルシアターを完成させます。 【授業時間外の学修内容】講義内で作品を完成できるよう、制作進度が遅れている場合は制作を進めておくこと。	E	第15回	【テーマ】壁面構成発表会、展示 【計画内容】完成した作品を発表します。発表後、作品を展示します。 【授業時間外の学修内容】発表の準備をしておくこと。	F
	第8回	【テーマ】パネルシアター発表会 【計画内容】完成した作品を発表します。 【授業時間外の学修内容】発表の準備をしておくこと。	F			

テキスト	プリントを使用します
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%	50%	20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	第8回と第15回に課題(作品)の講評をします。

実務経験と授業の関連			
		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	
その他	学科推奨科目。 ・パネルシアター: 第2回～7回は、用具セットと絵の具セットを持参して下さい。 ・壁面構成 : 第10回～14回は、用具セットを持参して下さい。

科目名	こどもの運動遊び研究	授業形態	演習	単位数	2
教員名	大宮　真一				

授業の目的		
	ねらい	幼児期は、人の一生に大きな影響をもたらす重要な時期です。しかし、近年の幼児の社会生活環境は、「子どもたちを自然豊かな環境の中で、のびのびと遊ばせ育む」といった理想的な環境とはほど遠いものになりつつあります。 子どもたちにとって、最も大切な「遊び」の時間も少なくなり、体を動かして遊ぶ機会もますます減少する傾向にあります。このような遊びに伴う身体活動の減少は、さまざまな形で子どもたちの心身の健全な発育発達を阻害する状況を生み出しつつあります。 本授業では、この指針の内容から、幼児期の運動が、「体力の発達」や「運動能力の向上」、さらには「こころ」の成長や「認知機能」、脳の発達に及ぼす影響について学習します。
	到達目標	(1)幼児期に運動遊びを行うことの大切さが、理屈とともに理解できる。 (2)幼児期における運動能力の発達を理解できる。 (3)幼児期運動指針に基づいて、幼稚園および保育園で積極的に運動プログラムを実施することの意義が理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】この授業全体の15回の流れを説明します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A	第9回	【テーマ】散歩による子どもたちの成長② 【計画内容】晩春の野幌森林公園を散策し、初春との景色の違いや動植物の変化について学習します。また、幼児を散歩へ連れ出すことの留意点を学習します。 【授業時間外の学修内容】屋外で活動をするので体調を整えておくこと。	G、M
第2回	【テーマ】幼児期運動指針とは ?/ 幼児期における身体活動の現状と問題点① 【計画内容】幼児期運動指針の背景、策定された意図、知っておくべきポイントや子どもの遊び状況の問題点について学習します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】運動効果を高める具体的な取り組み① 【計画内容】幼児期運動指針に記された運動効果を高める具体的な取り組みにおいて、保育者に向けた提案について学習します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A、K
第3回	【テーマ】幼児期における身体活動の現状と問題点② / 幼児期における運動の意義① 【計画内容】子どもの生活習慣の問題点、幼児期における運動の意義について学習します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A、K	第11回	【テーマ】運動効果を高める具体的な取り組み② 【計画内容】幼児期運動指針に記された運動効果を高める具体的な取り組みにおいて、保護者に向けた提案について学習します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A、K
第4回	【テーマ】幼児期における運動の意義② / 幼児期における運動の意義③ 【計画内容】子どもが丈夫で健康的な体になるための方法や意欲的に運動を取り組む心を育むための方法について学習します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A、K	第12回	【テーマ】幼児の動作発達と評価① 【計画内容】幼児の運動発達の特性、動きの習得の考え方、動きの評価の重要性について学習します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A、K
第5回	【テーマ】散歩による子どもたちの成長① 【計画内容】初春の野幌森林公園を散策し、五感を働かせて自然の中を歩くことによって心身への影響について学習します。 【授業時間外の学修内容】屋外で活動をするので体調を整えておくこと。	G、M	第13回	【テーマ】幼児の動作発達と評価② 【計画内容】幼児の動きの多様性をとらえる評価の方法、動きの洗練化をとらえる評価の方法、発達段階の特性と経験しておきたい遊び、基本的な動きの習得において小学校教育とのつながりについて学習します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A、K
第6回	【テーマ】幼児期における運動の意義④ 【計画内容】運動を行うと子どもの協調性、コミュニケーション能力が高まることについて学習します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A、K	第14回	【テーマ】幼稚園・保育園で特化している行っている運動について 【計画内容】幼稚園実習または保育園実習先で特化して実施している運動指導の実態を調査し、保育者が幼児の運動に関わることの重要性について学習します。 【授業時間外の学修内容】幼稚園実習および保育園実習の日誌で自らが運動に関わったところを確認しておくこと	A、G、K、L
第7回	【テーマ】幼児期における運動の意義⑤ 【計画内容】運動が認知的能力の発達にも効果があることについて学習します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A、K	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】この授業を振り返り、幼稚園および保育園で運動プログラムを実施するための提言をします。 【授業時間外の学修内容】これまでの14回の授業を振り返っておくこと。	A、K、L
第8回	【テーマ】幼児期における運動の意義⑥ 【計画内容】幼児の生活動作スキルについて学習します。 【授業時間外の学修内容】『幼児期運動指針』を熟読しておくこと。	A、K			

テキスト	日本発育発達学会、2014年、『幼児期運動指針実践ガイド』、杏林書院
参考書	浅見俊雄・福永哲夫、2015年、『子どもの遊び・運動・スポーツ』、市村出版 松田恵示、2016年、「遊び」から考える体育の学習指導、創文企画 一般社団法人　幼少年体育指導士会、2018年、『幼少年のための運動遊び・体育指導』、杏林書院

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			50%		50%	
	補足			レポート		平時・積極的な関わり	

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	E-Mail:omiya@hokusho-u.ac.jp
資格	
その他	学科推奨科目。 状況によって、江別市児童体力向上事業における朝運動指導現場に参加することがあります。 屋外での活動は、こども学科専用ポロシャツ、ジャージ、ハーフパンツを着用してください。

科目名	こどものリズム表現Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2
教員名	武井　歌織				

授業の目的		
	ねらい	エミール･ジャック＝ダルクローズが創案した、音楽基礎教育の具体的な実践教育である「リトミック」の技術的習得と指導法学習を行う。リトミックを指導する上での基礎的な、リズム運動･ピアノ演奏法･指導法(4歳児･5歳児)を習得し、子どもたちがリトミックに興味を持ち、好きになり、感動体験ができるような、楽しさに包まれた指導力を身に付ける。
	到達目標	(1)リズム : リズムを表現する基礎的な動きができるようになる。 (2)ピアノ演奏 : リズム指導における基礎的なピアノ奏法ができるようになる。 (3)指導法 :4･5歳児指導法の年間カリキュラムを把握してそれを実践できるようになる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】4歳児指導法(1学期) 【計画内容】4歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(1学期) 【授業時間外の学修内容】テキストの p.10-p.40を読んでおく。	A、B	第9回	【テーマ】リズム運動3(リズムカノン3･4拍子 / 複リズム) 【計画内容】3拍子と4拍子のカノンを曲を使ってステップしたり歌ったりします。複リズムを経験します。 【授業時間外の学修内容】前回までにやったカノンの内容を復習しておく。	B、E
	第2回	【テーマ】4歳児指導法(2学期) 【計画内容】4歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(2学期) 【授業時間外の学修内容】テキストの p.58-p.88を読んでおく。	A、B	第10回	【テーマ】5歳児指導法(3学期) 【計画内容】5歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(3学期)認定試験の公示、具体的な内容を説明します。 【授業時間外の学修内容】テキストの p.114-p.136を読んでおく。	A、B
	第3回	【テーマ】リズム運動①(リズムカノン3拍子) 【計画内容】3拍子のカノンをいろいろな方法で学びます。 【授業時間外の学修内容】3拍子基礎リズムの復習をしておく。	B、E	第11回	【テーマ】リトミックのためのピアノ演奏法5歳児(1学期～3学期) 【計画内容】現場で子どもたちにリトミックを行う際のピアノ演奏法を学びます。具体的に皆で動いてみます。 【授業時間外の学修内容】テキストの中より、指定した曲を練習してくること。	E
	第4回	【テーマ】4歳児指導法(3学期) 【計画内容】4歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(3学期) 【授業時間外の学修内容】テキストの p.104-p.132を読んでおく。	A、B	第12回	【テーマ】まとめ① 【計画内容】指導法の復習とまとめ 【授業時間外の学修内容】テキスト全体を読み返し、公示された課題を常に復習すること。	A、B、E
	第5回	【テーマ】リトミックのためのピアノ演奏法4歳児(1学期～3学期) 【計画内容】現場で子どもたちにリトミックを行う際のピアノ演奏法を学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの中より、指定した曲を練習してくること。	B、E	第13回	【テーマ】まとめ② 【計画内容】リズム運動の復習とまとめ 【授業時間外の学修内容】認定試験の公示内容に従って、復習･練習を重ねること。	B、E
	第6回	【テーマ】リズム運動②(リズムカノン4拍子 / 複リズム) 【計画内容】4拍子のカノンをいろいろな方法で学びます。複リズムを経験します。 【授業時間外の学修内容】4拍子の基礎リズムを復習しておく。	B、E	第14回	【テーマ】リトミック理論(リトミック研究センターの理論とダルクローズについて) 【計画内容】リトミックの教育的効果、ダルクローズの理念について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの p.4-p.5をもう一度読んでおく。	A、B
	第7回	【テーマ】5歳児指導法(1学期) 【計画内容】5歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(1学期) 【授業時間外の学修内容】テキストの p.10-p.38を読んでおく。	A、B	第15回	【テーマ】幼稚園･保育園での演奏 / リズム 【計画内容】これまでのまとめと確認を行います。 【授業時間外の学修内容】認定試験の公示内容に従って、復習･練習を重ねる。	E
	第8回	【テーマ】5歳児指導法(2学期) 【計画内容】5歳児の発育と発達、それに合わせたリトミックの指導法を学びます。(2学期) 【授業時間外の学修内容】テキストの p.56～p.96を読んでおく。	A、B			

テキスト	リトミック研究センター、1991年、『幼稚園･保育園のためのリトミック　4歳児用』 リトミック研究センター、1991年、『幼稚園･保育園のためのリトミック　5歳児用』
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		70%			30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	授業時間内の課題について、口頭で講評を行ったり実際に一緒に動いたりして確認する。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	リトミック研究センターディプロマA
		科目との関連	リトミックのリズム指導や、幼児の指導方法など

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[こ]リトミック幼･保1級_必修
その他	身体を動かす授業です。動きやすい服装で、底の薄いシューズを用意して出席してください。

科目名	音楽療法概論	授業形態	演習	単位数	2
教員名	澤田　悦子				

授業の目的	
ねらい	音楽療法の対象領域は幅広く、乳幼児から成人まで、あらゆる年代の方々に適用されます。対象者の目的や状況に音楽を活用するため、対象者の理解を深めながら音楽療法の概要と基礎的知識を学びます。さらに音楽の機能と作用や療法としての活用方法を学びます。
到達目標	(1)音楽療法の意義や基礎知識を理解することができる。 (2)対象領域と療法の目的を理解できる。 (3)対象領域と音楽表現に関する知識や技術を理解できる。 (4)音楽を療法として活用する方法や技術を理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んで、テキスト第1章「音楽療法とは何か」(pp.11-12)を読んでくること。	A	第9回	【テーマ】音楽療法の実際2 【計画内容】対象領域①障がい児・者の音楽療法について学ぶ。事例を通して活動の理解を深め、対象領域と長期目標、短期目標を学び、プログラム作成の計画準備を行う。 【授業時間外の学修内容】テキストの第5章2)・7)を読んでくること。	A、J、H
第2回	【テーマ】音楽療法とは何か 【計画内容】音楽の構成要素、音楽療法の定義などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第1章を読んでくること。	A、K	第10回	【テーマ】音楽療法の実際3 【計画内容】対象領域②保育・子育て支援、精神科領域での音楽療法について学ぶ。事例を通して活動の理解を深め能動的活動・受動的活動について学び、プログラム作成の計画準備を行う。 【授業時間外の学修内容】テキストの第5章2)・3)・7)を読んでくること。	A、J、H
第3回	【テーマ】音楽療法の歴史1 【計画内容】音楽が生活の中で如何に活用されてきたか、諸外国での歴史を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第2章1)から4)を読んでくること。	A、K	第11回	【テーマ】音楽療法の実際4 【計画内容】対象領域③高齢者・高齢者施設や他領域での音楽療法について学ぶ。事例を通して活動の理解を深め、活動記録の方法を学び、プログラム作成の計画準備を行う。 【授業時間外の学修内容】テキストの第5章4)・5)・6)を読んでくること。	A、J、H
第4回	【テーマ】音楽療法の歴史2 【計画内容】音楽が生活の中で如何に活用されてきたか、日本での歴史を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の歴史の振り返りとテキストの第2章5)から6)を読んでくること。	A、K	第12回	【テーマ】音楽療法の実際5 【計画内容】実践者の役割と活動の評価方法について学ぶ。こどもの領域(幼児)のセッションプログラム作成をグループで計画立案を行う。 【授業時間外の学修内容】テキストの第5章1)・3)、第6章2)を読んでくること。	A、H
第5回	【テーマ】音楽の作用1 【計画内容】音楽の生理的作用、心理的作用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第3章1)から2)を読んでくること。	A、K	第13回	【テーマ】音楽療法の実際6 【計画内容】子育て支援や高齢者領域(高齢者施設)でのプログラム作成をグループで計画立案を行う。 【授業時間外の学修内容】テキストの第5章 1)を読んでくること。	A、H
第6回	【テーマ】音楽の作用2 【計画内容】音楽の社会的作用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第3章3)から5)を読んでくること。	A、K	第14回	【テーマ】音楽療法の実際7 【計画内容】子育て支援や高齢者領域(高齢者施設)における作成したプログラムをグループで発表する準備を行う。 【授業時間外の学修内容】テキストの第6章1)・2)を読んでくること。	A、H
第7回	【テーマ】音楽療法の原理 【計画内容】音楽療法における諸理論について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストの第4章1)を読んでくること。	A、K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】音楽療法概論の振り返りと発表を行う。 【授業時間外の学修内容】テキストを読んで、発表準備を行うこと。	A、F、L
第8回	【テーマ】音楽療法の実際1 【計画内容】音楽療法の対象領域と個人・集団セッションの対応について学ぶ。事例を通して活動の理解を深めセッションの音楽と手順を学び、プログラム作成の計画準備を行う。 【授業時間外の学修内容】テキストの第5章1)を読んでくること。	A、J、H			

テキスト	村井靖児、2012年、『音楽療法の基礎』、音楽之友社、4276122880
参考書	配付プリントを使用します 講義時に説明します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		20%	40%
補足			レポート			発表

課題に関するフィードバックの方法	第15回目に中間レポートを返却し、学んだ内容を振り返り、講評します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	音楽コース必修

科目名	音楽療法演習	授業形態	演習	単位数	2
教員名	澤田　悦子				

授業の目的	
ねらい	「音楽療法演習」では、「音楽療法概論」で学んだ基礎知識や理論を生かし、音楽の活用の実際を演習します。対象領域や目的を理解し、受動的音楽療法や能動的音楽療法の実際を学びます。
到達目標	(1)対象者を理解し、音楽表現に関する知識と技術を実践できる。 (2)音楽療法での音楽活動と活用方法の実際を理解し、実践できる。 (3)音楽療法の活動目標と手順、内容を計画し、実践できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでくること。「音楽療法概論」で学んだことを復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】プログラム作成3 【計画内容】音楽療法の治療構造(対象領域、目的、環境設定、音楽、時間配分等)を理解し、プログラム(こども・高齢者)を作成する。 【授業時間外の学修内容】作成に必要な資料を準備しておくこと。	A、H
第2回	【テーマ】音楽療法での音楽活動と表現 【計画内容】音楽療法で活用される音楽と実践方法(対象者の理解と目標の設定、活動、記録、評価など)について概論での学びを確認する。 【授業時間外の学修内容】音楽療法の定義を理解しておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】プログラム作成4 【計画内容】音楽療法の治療構造(対象領域、目的、環境設定、音楽、時間配分等)を理解し、プログラムを作成する。作成後は、学外演習およびプレゼンテーションの準備を行う。 【授業時間外の学修内容】作成に必要な資料を準備しておくこと。	A、H
第3回	【テーマ】能動的音楽療法1 【計画内容】対象領域(こども・高齢者)と音楽(歌唱)、その活動方法について学び、演習する。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび資料の歌唱を選曲し、実践できるよう練習しておくこと。	A、H	第11回	【テーマ】音楽療法の実践1 【計画内容】各自、作成プログラムに基づいて学外演習、発表準備を行う。 【授業時間外の学修内容】プログラムでの実践者の役割、進行、使用楽器などの確認をしておくこと。	A、H
第4回	【テーマ】能動的音楽療法2 【計画内容】対象領域(こども・高齢者)と音楽(簡易楽器演奏と伴奏)、その活動方法について学び、演習する。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび資料の楽器演奏を選曲し、伴奏、実践できるよう練習しておくこと。	A、H	第12回	【テーマ】音楽療法の実践2 【計画内容】音楽療法の実践として高齢者施設での学外演習を行う。 【授業時間外の学修内容】プログラムでの実践者の役割、進行、使用楽器などの確認をしておくこと。	A、D
第5回	【テーマ】能動的音楽療法3 【計画内容】対象領域(こども・高齢者)と音楽(身体表現)、その活動方法について学び、演習する。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび資料から選曲し、身体活動ができるよう練習しておくこと。	A、H	第13回	【テーマ】音楽療法の実践3 【計画内容】高齢者施設での学外演習の振り返りを行い、活動計画と実践の課題についてディスカッションを行う。 【授業時間外の学修内容】プログラムでの実践者の役割、進行、使用楽器などの確認をしておくこと。	A、G、L
第6回	【テーマ】受動的音楽療法 【計画内容】受動的音楽療法(鑑賞)と療法の目的を学び、演習する。 【授業時間外の学修内容】療法の目的を考え、テキストを参考にして音楽を選曲しておくこと。	A、H	第14回	【テーマ】音楽療法の実践4 【計画内容】各自、作成プログラム(こども)に基づいて発表の準備を行う。 【授業時間外の学修内容】プログラムでの実践者の役割、進行、使用楽器などの確認をしておくこと。	A、H
第7回	【テーマ】プログラム作成1 【計画内容】対象領域・対象者(こども・高齢者)の理解を深め、活動の目的と実践者の役割を把握し、音楽活動計画の作成を行う。 【授業時間外の学修内容】対象領域について理解を深めておくこと。	A、H	第15回	【テーマ】音楽療法演習の振り返りとまとめ 【計画内容】演習を振り返り、各自、プログラムの活動計画(こども)と実践の発表とまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】前回までの講義内容を理解しておくこと。	A、F、L
第8回	【テーマ】プログラム作成2 【計画内容】音楽療法の治療構造(対象領域、目的、環境設定、音楽、時間配分等)を理解し、プログラムを作成する。 【授業時間外の学修内容】作成に必要な資料を準備しておくこと。	A、H			

テキスト	村井靖児、1995年、『音楽療法の基礎』、音楽之友社、4276122880
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%		20%	40%
補足			レポート			発表

課題に関するフィードバックの方法	第15回目でレポートを返却し、発表後に演習を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	音楽コース必修

科目名	こどものうた研究	授業形態	演習	単位数	2
教員名	橋本　卓三、石田　敏明				

授業の目的

ねらい	保育者として必要な声楽の技術と知識を学び、童謡やわらべうたなどのこどものうたについて研究し、演奏するための表現力を高めます。呼吸と発声のトレーニングを行い、音程・リズム・ハーモニーなどの基礎的なソルフェージュを学びながら、歌詞や曲の構成を理解し、ソロやアンサンブルによる表現豊かな演奏を目指します。さらに、歌唱を中心とした音楽劇にも取り組み、保育所・幼稚園で音楽活動を展開する能力を習得することを目的とします。
到達目標	(1)歌唱における基礎的な呼吸法と発声法を習得することができる。 (2)ソルフェージュを通し、楽譜を読む力と音楽を表現する力を高めることができる。 (3)こどものうたのレパートリーを増やし、演習と発表を通して実践的指導力を高めることができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業内容を紹介し、授業展開を説明します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。課題を練習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】音楽劇の実践研究3 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】題材について考えておくこと。	B、E
第2回	【テーマ】歌唱の実践研究1 【計画内容】呼吸法と発声法・ソルフェージュを学び、こどものうたの歌唱表現を研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	B、E	第10回	【テーマ】音楽劇の実践研究4 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	B、E
第3回	【テーマ】歌唱の実践研究2 【計画内容】呼吸法と発声法・ソルフェージュを学び、こどものうたの歌唱表現を研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	B、E	第11回	【テーマ】音楽劇の実践研究5 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	B、E
第4回	【テーマ】歌唱の実践研究3 【計画内容】呼吸法と発声法・ソルフェージュを学び、こどものうたの歌唱表現を研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	B、E	第12回	【テーマ】音楽劇の実践研究6 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	B、E
第5回	【テーマ】歌唱の実践研究4 【計画内容】呼吸法と発声法・ソルフェージュを学び、こどものうたの歌唱表現を研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	B、E	第13回	【テーマ】音楽劇の実践研究7 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	B、E
第6回	【テーマ】歌唱の実践研究5 【計画内容】こどものうたの発表とまとめを行います。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	E、L	第14回	【テーマ】音楽劇の実践研究8 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	B、E
第7回	【テーマ】音楽劇の実践研究1 【計画内容】題材を選定し、実践計画を立案します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題を練習しておくこと。	B	第15回	【テーマ】音楽劇の実践研究9 【計画内容】音楽劇の発表とまとめを行います。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】発表に向け、事前練習しておくこと。	E、L
第8回	【テーマ】音楽劇の実践研究2 【計画内容】計画に基づき、選定した題材の音楽劇の表現について研究します。(橋本卓三・石田敏明) 【授業時間外の学修内容】発表に向け、事前練習しておくこと。	B、E			

テキスト	松山祐士編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037
参考書	小林美実編、2014年、『こどものうた200』、チャイルド社、9784805481004 安田浩、2013年、『幼児のオペレッタ傑作集』、チャイルド社、9784805481110

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					30%	70%
補足						発表

課題に関するフィードバックの方法	第15回で発表の後、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	
その他	学科推奨科目。

科目名	こどもの合奏研究	授業形態	演習	単位数	2
教員名	石田　敏明、橋本　卓三				

授業の目的	
ねらい	簡易楽器やベル、鍵盤楽器などの基礎的な知識や演奏技能を身につけ、合奏の表現力と豊かな音楽性を養います。保育所・幼稚園等での音楽活動を展開する指導力の習得を目的とします。
到達目標	(1)さまざまな楽器の特徴を理解し、奏法を身につける。 (2)合奏を通して、アンサンブル能力を高め、協調性を養う。 (3)こどもの音楽活動を理解し、豊かな音楽表現ができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明します。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。課題曲を練習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】合奏の演奏研究8 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H
第2回	【テーマ】合奏の演奏研究1 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H	第10回	【テーマ】合奏の演奏研究9 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H
第3回	【テーマ】合奏の演奏研究2 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H	第11回	【テーマ】合奏の演奏研究10 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H
第4回	【テーマ】合奏の演奏研究3 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H	第12回	【テーマ】合奏の演奏研究11 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H
第5回	【テーマ】合奏の演奏研究4 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H	第13回	【テーマ】合奏の演奏研究12 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H
第6回	【テーマ】合奏の演奏研究5 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H	第14回	【テーマ】合奏の演奏研究13 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H
第7回	【テーマ】合奏の演奏研究6 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H	第15回	【テーマ】まとめと発表 【計画内容】これまで実践したきたことのまとめと発表を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】事前練習を行い、発表に臨むこと。	E、H、L
第8回	【テーマ】合奏の演奏研究7 【計画内容】楽器の特徴や演奏法について研究し、合奏の実践を行います。(石田敏明･橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習しておくこと。	E、H			

テキスト	松山祐士編、2018年、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037
参考書	講義の中で指示します

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分					30%	70%
補足						発表

課題に関するフィードバックの方法	第15回の発表の後、学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	
その他	学科推奨科目

科目名	こどもの音楽研究	授業形態	演習	単位数	2
教員名	橋本　卓三、石田　敏明				

授業の目的		
	ねらい	豊かな音楽性と技能を高めることを目的とします。合唱、簡易楽器、オペレッタ、創作オリジナル作品などの発表準備と演奏活動を通し、それぞれの分野が保育や教育の場で指導力として生かされる実践的能力を身につけます。
	到達目標	(1)高度な技能、表現力を習得し、豊かな音楽性を身につけます。 (2)保育や教育の場で演奏できる実践力と指導力を身につけます。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明する。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。発表の計画を考えておくこと。	A	第9回	【テーマ】演奏研究･実践8 【計画内容】器楽演奏･歌唱の実践について学ぶ。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H
	第2回	【テーマ】演奏研究･実践1 【計画内容】発表の計画立案を行い、器楽演奏･歌唱について学ぶ。(橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲や選曲の準備、練習してくること。	B、E、H	第10回	【テーマ】演奏研究･実践9 【計画内容】器楽演奏･歌唱の実践について学ぶ。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H
	第3回	【テーマ】演奏研究･実践2 【計画内容】発表のタイムスケジュール作成、器楽演奏･歌唱について学ぶ。(橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H	第11回	【テーマ】演奏研究･実践10 【計画内容】器楽演奏･歌唱の実践について学ぶ。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H
	第4回	【テーマ】演奏研究･実践3 【計画内容】器楽演奏･歌唱の実践について学ぶ。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H	第12回	【テーマ】演奏研究･実践11 【計画内容】器楽演奏･歌唱の実践について学ぶ。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H
	第5回	【テーマ】演奏研究･実践4 【計画内容】器楽演奏･歌唱の実践について学ぶ。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H	第13回	【テーマ】演奏研究･実践12 【計画内容】器楽演奏･歌唱の実践について学ぶ。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H
	第6回	【テーマ】演奏研究･実践5 【計画内容】器楽演奏･歌唱の実践について学ぶ。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H	第14回	【テーマ】リハーサル 【計画内容】発表の手順について学び、実践練習を行う。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H
	第7回	【テーマ】演奏研究･実践6 【計画内容】器楽演奏･歌唱の実践について学ぶ。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H	第15回	【テーマ】発表とまとめ 【計画内容】器楽演奏と歌唱の発表とまとめを行う。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H
	第8回	【テーマ】演奏研究･実践7 【計画内容】器楽演奏･歌唱の実践について学ぶ。 (橋本卓三･石田敏明) 【授業時間外の学修内容】課題曲を練習してくること。	B、E、H			

テキスト	松山祐士編、『こどものうた大百科』、ドレミ楽譜出版社、9784285142037
参考書	初回講義時に説明します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分					30%	70%
	補足						発表

課題に関するフィードバックの方法	第15回で発表の後、学んだ内容を振り返りながら講評をします。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	
その他	学科推奨科目。

科目名	小学校英語	授業形態	講義	単位数	1
教員名	類家　斉				
授業の目的	ねらい	小学校における外国語活動及び、外国語科で使用するすべての英語表現や単語を理解する。 ○実際のコミュニケーションの活動を通して、児童に示範するに値する発音や表現を身に付ける。 ○指導に必要十分な英語力を身に付け、クラスルームイングリッシュや書く活動への理解を高める。			
	到達目標	(1)小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な「実践的な英語運用力」を身に付ける。 (2)小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な「背景的な知識」を身に付ける。 (3)授業実践に必要な5技能についての理解を深め、実際の場面で活用できる。 (4)指導に必要十分な英語力を身に付け、児童の学年に応じた活用ができる。 (5)指導に当たる場合に必要な授業の構成要素について理解し、適切に配置し、指導できる。			
授業の計画	第1回	【テーマ】オリエンテーション・授業実践に必要な英語力…学習指導要領の小学校外国語科・外国語活動で扱う英語の語彙と表現等についての知識・理解 【計画内容】児童用冊子(文部科学省作成)で使用されている単語・構文等をすべてのユニットで確認し、「聞く・話す(やり取り・発表)・読む・書く」活動が確実にできるように力を身に付ける。 【授業時間外の学修内容】児童用冊子にある単語と表現について予習する。			A、B、E
	第2回	【テーマ】授業実践に必要な英語力…小学校外国語(5.6年生)で扱うスモールトークの実際 【計画内容】5.6学年で扱うスモールトークを相手意識を保ちながら実際に行うことで、コミュニケーションに必要な表現や語彙についての知識を深め、技能を高める。実際のクラスルームイングリッシュも活動を通して体得する。 【授業時間外の学修内容】スモールトークの実際を紹介するビデオ(文部科学省ユーチューブ)を鑑賞してくる。			A、B、E
	第3回	【テーマ】文構造・文法に関わる基礎的な知識理解 【計画内容】小学校外国語活動及び外国語科において扱う文構造・文法に関わる基礎的な知識を確認し、自己と他者を常に意識させる実際の活動を英語での活動と組み合わせ、語順の重要さと主語の存在について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】語順を扱っている unit はどこになるのかというテーマで児童用冊子を予習し、そのユニットを探す。			A
	第4回	【テーマ】第二言語習得についての考え方 【計画内容】母語転移(実際の日本人の英語使用の状況と正と負の転移について知識・理解)及び音声の仕組(英語の音韻システムの音的特徴についての理解)についてを主として、第二言語習得概論を解説する。授業方法と計画の立案に極めて有用なものであることの理解を深める。 【授業時間外の学修内容】児童用冊子で扱っているものの中から、音声の仕組みについて触れている場面を探す。			A、E
	第5回	【テーマ】英語の音声と綴りの関係についての理解及びフォニックスの実際 【計画内容】フォニックス指導の理念と実際の理論についての理解を深め、初期のフォニックス指導の留意点について理解する。また、音声と綴りの関係についても実際の教材を使用して理解する。 【授業時間外の学修内容】音声と綴りの関係について、英語の場合について予習する。			A、B
	第6回	【テーマ】英語で書かれた児童文学について 【計画内容】英語らしいリズムを意識した教材(マザーグース等)の音読や朗読を通し、他者を尊重し、英語でコミュニケーションをとる態度及び言語や文化に対する関心を高める重要性について実感的に理解する。また、付随する詩・歌等についても理解を深める。 【授業時間外の学修内容】英語で書かれた児童用絵本を借りて、その作品に触れてみる。特定の本である必要はない。			A、B、E
	第7回	【テーマ】小・中・高の一貫した異文化理解・異文化コミュニケーションについて 【計画内容】世界の文化の多様性を理解し文化が及ぼす言語への影響についての認識を深め、英語の語順や文構造に現れる日本語でのコミュニケーションとの違いについて理解する。 【授業時間外の学修内容】英語の語順の仕組みについて予習する。			A
	第8回	【テーマ】非言語コミュニケーションの重要性・異文化での時空間の認識に違いについて 【計画内容】英語を使用するときに現れるジェスチャーとボディランゲージの重要性を理解する。加えて、英語と日本語の時間に対する感覚や空間の使い方についての違いを比較しながら理解する。 【授業時間外の学修内容】英語を使用するときのジェスチャーについてその種類を予習する。			A、B
テキスト	文部科学省、2018年、『Let's Try 1.2』 文部科学省、2018年、『We Can 1.2』 2020年、『ニューホライズン　エレメンタリースクール』、東京書籍				
参考書	札幌市教育委員会、2020年、『札幌市教育委員会指導の手引き』 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』				

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		30%	60%		10%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	講義で使用するプリントを回収し、評価・指導・評定を行う。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭の経験に基づき授業を展開する。

質問への対応	講義の中で受ける。研究室への来訪も受ける。
資格	[こ]小2種_必修
その他	

科目名	国語科指導法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	高橋　さおり				
授業の目的	ねらい	小学校学習指導要領解説を主たる教材として、小学校における国語科学習指導の目標・内容、指導計画、学習指導方法について学びます。			
	到達目標	(1)学習指導要領に示された小学校国語科の目標・内容を理解することができる。 (2)各学年の目標・内容に応じた指導計画を立てることができる。 (3)各学年の発達に応じた指導方法を工夫することができる。			

授業の計画						
	第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義内容や到達目標、成績評価方法等について説明し、授業の全体を概観します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を読んでおくこと。テキスト pp.183-189を読んでおくこと。	A、L	第9回	【テーマ】学習評価について 【計画内容】国語科学習の評価の考え方を理解し、評価の視点について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、L
	第2回	【テーマ】国語科の目標と内容の理解 【計画内容】学習指導要領に示された「目標」と「内容」について学び、国語科指導の全体像を捉えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A、L	第10回	【テーマ】情報機器及び教材の活用について 【計画内容】国語科指導の特性を踏まえ、どのような教材活用の方法があるかという観点から、ＩＣＴを活用した授業の在り方について考えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A、L
	第3回	【テーマ】指導計画及び内容の取扱いの配慮事項 【計画内容】学習指導要領に示された「指導計画の作成と内容の取扱い」について学び、それぞれの留意点について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A、L	第11回	【テーマ】学習指導案の作成 【計画内容】具体的な授業を計画し、学習指導案を作成します。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	K、L
	第4回	【テーマ】第1学年及び第2学年の目標と内容(書写を含む) 【計画内容】具体的な授業プランを参照しながら、第1学年及び第2学年の目標と内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A、H、L	第12回	【テーマ】学習指導案の交流・検討 【計画内容】学習指導案の交流・検討を行い、授業設計の在り方について考察します。 【授業時間外の学修内容】作成した学習指導案の見直しを行うこと。	K、L
	第5回	【テーマ】第3学年及び第4学年の目標と内容(書写を含む) 【計画内容】具体的な授業プランを参照しながら、第3学年及び第4学年の目標と内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A、H、L	第13回	【テーマ】模擬授業の実施 【計画内容】作成した学習指導案をもとに模擬授業を実施します。 【授業時間外の学修内容】模擬授業の準備を行うこと。	B、L
	第6回	【テーマ】第5学年及び第6学年の目標と内容(書写を含む) 【計画内容】具体的な授業プランを参照しながら、第5学年及び第6学年の目標と内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定された箇所を読んでおくこと。	A、H、L	第14回	【テーマ】模擬授業の検討 【計画内容】模擬授業の検討を行い、授業改善の視点及び方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】模擬授業の振り返りをしておくこと。	A、H、L
	第7回	【テーマ】教材研究について 【計画内容】児童の実態を踏まえつつ各領域の特性に応じた教材研究の意義と方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、H、L	第15回	【テーマ】学修の振り返り 【計画内容】授業の振り返りを行い、小学校国語科指導のまとめを行います。 【授業時間外の学修内容】授業全体の復習を行うこと。	A、L
	第8回	【テーマ】指導計画について 【計画内容】単元の指導計画を作成し、授業設計する方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを読んでおくこと。	A、H、L			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　国語編』、東洋館出版社、9784491034621
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			70%		30%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	小レポート等については、授業中間時および最終回に講評します。

実務経験と授業の関連		経験内容	
		科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[こ]小2種_選必
その他	

科目名	社会科指導法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地　達夫				

授業の目的		
	ねらい	「社会科指導法」では、小学校学習指導要領解説社会編の内容についての、基礎的な指導技術を学習します。また、幼稚園教育、保育所保育、小学校生活科・理科、中学校社会科との関連についても部分的に触れます。
	到達目標	(1)社会科における基礎的な指導技術について理解できる。 (2)関連教科、機関との接続・連携について理解できる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業のねらい、到達目標、授業計画、成績評価方法、参考文献について説明します。 【授業時間外の学修内容】指定教科書の第1章2「社会科改訂の趣旨及び要点」について一読しておくこと。	A	第9回	【テーマ】博物館資料の活用1 【計画内容】事前指導のあり方について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	A
	第2回	【テーマ】社会科における単元構造 【計画内容】単元構造の捉え方について確認します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】博物館資料の活用2 【計画内容】具体的な体験活動を通じて学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	M
	第3回	【テーマ】社会科における授業構造 【計画内容】授業構造の捉え方について学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	A、K	第11回	【テーマ】博物館資料の活用3 【計画内容】事後指導のあり方について学習します。 【授業時間外の学修内容】第10回・第11回の授業内容を整理しておくこと。	A
	第4回	【テーマ】発問・指示の基本 【計画内容】具体的な例示を通して、発問・指示の基本を学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	A、K	第12回	【テーマ】模擬授業の実践(中学年) 【計画内容】授業実践・授業分析を共有しながら学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	F、H
	第5回	【テーマ】学習指導案作成の基本 【計画内容】教科書や資料集を用いて、学習指導案案の作成のポイントを学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	A、K	第13回	【テーマ】模擬授業の実践(高学年) 【計画内容】授業実践・授業分析を共有しながら学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	F、H
	第6回	【テーマ】図表の指導方法 【計画内容】具体的な事例を通して、指導方法の基本を学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	A、K	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの学習内容の重要な点について確認します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない学習内容について復習しておくこと。	L
	第7回	【テーマ】地図の指導方法 【計画内容】具体的な事例を通して、指導方法の基本を学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	A、K	第15回	【テーマ】まとめと応用 【計画内容】学習成果の活かし方について説明します。 【授業時間外の学修内容】理解のできていない学習内容について確認しておくこと。	A
	第8回	【テーマ】写真等の視覚資料の指導方法 【計画内容】具体的な事例を通して、指導方法の基本を学習します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容(概要)について抑えておくこと。	A、K			

テキスト	文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領解説社会編』、東洋館出版社、9784491023724
参考書	佐藤浩樹他、2019年、『テキスト初等社会科』、学文社、9784762029141 日本社会科教育学会編、2008年、『社会科授業力の開発小学校編』、明治図書、9784184333161 全国社会科教育学会編、2008年、『小学校の優れた社会科授業の条件』、明治図書、9784184914216

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	50%		30%		20%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	授業課題は、返却時に講評等を行う。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回授業時に説明します。
資格	[こ]小2種_選必
その他	「社会」を履修済み・同時履修することが望ましい(小学校教員志望者)。ただし、「社会」未履修者を拒むものではない。模擬授業(第12・13回)は、希望者(数名)を募ります。詳細は初回講義時に説明します。

科目名	算数科指導法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	荒川　巌				

授業の目的

ねらい	算数科の目標、算数学習の指導と評価のあり方、子どもの発達段階に応じた指導内容や指導の要点、算数学習で大切にしたい問題解決的な学習のあり方について学習します。「教えること」と「学ばせること」の違いや子どもたち相互の学び合いなど教師の望ましいかかわりを学ぶとともに、教育実習に向けての学習指導案づくりや模擬授業を通して、算数科学習指導法の基礎を身につけてほしいと思います。
到達目標	(1)指導案作成や模擬授業に対して、意欲的に取り組むことができる。 (2)学年の発達に応じた算数科の指導法を工夫できる。 (3)学年の発達を考えて、学習指導案を作成できる。 (4)問題解決学習のあり方を理解できる。

授業の計画

第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義概要、受講の心得、講義の進め方、グループ編成、評価方法など。 【授業時間外の学修内容】1年「算数」で学習した12単元の授業を基に指導案を作る	A	第9回	【テーマ】事例研究①　低学年の例「ひきざん(求残、求差)、わり算(包含除、等分除)」 【計画内容】低学年の指導の実際の学びます。 【授業時間外の学修内容】式「7−3」と「12÷3」となる多様な問題を作成しておくこと。 式「7−3」と「12÷3」となる、多様な問題を作成しておくこと。	J
第2回	【テーマ】算数科の目標と内容 【計画内容】学習指導要領解説と児童用教科書を使って、算数科の目標と四領域について調べます。 【授業時間外の学修内容】教科書 p.21-p.29で算数科の目標を調べておくこと。	A、B	第10回	【テーマ】事例研究②　高学年の例「面積、割合」 【計画内容】高学年の指導の実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】割合が用いられている日常場面を見つけておくこと。	J
第3回	【テーマ】算数授業の実際(問題解決学習の基本スタイル) 【計画内容】実際の授業を映像で観て、算数学習(問題解決学習)の基本スタイルを学びます。 【授業時間外の学修内容】自分が学んだ算数学習について想起しておくこと。	A、K	第11回	【テーマ】学習指導案の作成と検討①　(指導場面と目標の検討) 【計画内容】学習指導案を作成します。指導場面を決定し、単元・本時のねらいと数学的活動のあり方について検討します。 【授業時間外の学修内容】学習指導案作成の単元及び本時の展開場面を決定しておくこと。	H
第4回	【テーマ】低学年の子どもの特徴と指導のポイント 【計画内容】低学年の子どもの特徴と指導法について考察します。 【授業時間外の学修内容】低学年の子どもの発達状況を調べておくこと(教科書 p.29・p.30)を熟読する。	A、B	第12回	【テーマ】学習指導案の作成と検討②　(教材の作成、発問、板書など) 【計画内容】学習指導案を作成します。指導細案と教材の準備をします。 【授業時間外の学修内容】指導細案と教材の構想を立てておくこと。	H
第5回	【テーマ】高学年の特徴と指導のポイント 【計画内容】高学年の子どもの特徴に合わせた指導法について考察します。 【授業時間外の学修内容】高学年の子どもの発達状況を調べておくこと(p.29・p.30)を熟読する。	A、B	第13回	【テーマ】模擬授業の実際① 【計画内容】グループで模擬授業をします。 【授業時間外の学修内容】係分担し、模擬授業の準備を終えておくこと。	H
第6回	【テーマ】問題解決学習と算数的活動 【計画内容】算数的活動と学習集団育成の観点を中心に、算数科の問題解決学習成立の要件を考えます。 【授業時間外の学修内容】かけ算(例2×3)で、教えることと学ばせることとは何かを考えておくこと。	A、H	第14回	【テーマ】模擬授業の実際② 【計画内容】グループで模擬授業をし、成果と課題についまとめます。 【授業時間外の学修内容】係分担し、模擬授業の準備を終えておくこと。	H
第7回	【テーマ】算数学習での教師の働きかけ 【計画内容】基礎的な指導法(発問、板書、ノート指導)について学びます。 【授業時間外の学修内容】学年発達段階に応じたノート指導のあり方について考えておくこと。	A、H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】講義の成果と課題を明確にします。 【授業時間外の学修内容】講義全体の成果と課題をまとめておくこと。	L
第8回	【テーマ】算数学習指導と評価(観点別学習状況の評価、TT、少人数指導) 【計画内容】指導と評価の一体化について学ぶとともに、算数学習における学習集団の育成のあり方を考察します。 【授業時間外の学修内容】算数科における観点別学習状況の評価の観点について調べておくこと。	A、H			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 算数編』
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			30%		40%	30%
補足			模擬授業指導案・教材			講義記録

課題に関するフィードバックの方法	毎回記入する授業シートに対しコメントを記録する

実務経験と授業の関連

該当	経験内容	小学校教諭
	科目との関連	算数科の具体的指導や授業準備

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[こ]小2種_選必
その他	算数は、教科学習の2割程度の時数を占めます。子どもが楽しく学び、わかる喜びが生まれる算数学習の展開と指導のポイントについて学びましょう。

科目名	理科指導法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	類家　斉、太田　俊一				

授業の目的		
	ねらい	各学年の目標と授業の過程で育てたい問題解決の資質や能力についての解説などを行い、A·B の内容区分の単元について教科書等の内容で学びます。各学年の単元構成·指導計画の作成の仕方を学習するとともに、学習展開案を作成し、互いに教師と児童に分かれて模擬授業を行います。
	到達目標	(1)各学年の目標と指導内容(単元)が理解できる。 (2)目標及び内容に即した単元構成·指導計画や学習展開を考えることができる。 (3)模擬授業を通して、子どもの問題解決学習や科学的な見方や考え方の培い方がわかる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション及び3学年の目標と問題解決学習 【計画内容】3年「風やゴムの働き」において、風やゴムで動く車を作成して実験を行います。 【授業時間外の学修内容】教科書や学習指導要領、理科実験ノートを予習する。	A、C、F、H	第9回	【テーマ】5学年の目標と模擬授業による問題解決学習 【計画内容】5年「ふりこのきまり」において、情報機器や視聴覚教材を活用した効果的な授業方法を学び、教材研究を深めます。 【授業時間外の学修内容】作成した指導案を基に授業の想定を予習する。	A、C、F、H
	第2回	【テーマ】3学年の目標と指導案による問題解決学習 【計画内容】3年「風やゴムの働き」の問題解決的な学習指導案の作成の仕方を学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書や学習指導要領、理科実験ノートを予習する。	A、C、F、H	第10回	【テーマ】6学年の目標と問題解決学習 【計画内容】6年「水溶液」において、いろいろな水溶液を集め、酸性、アルカリ性、中性の実験を行います。 【授業時間外の学修内容】教科書や学習指導要領、理科実験ノートを予習する。	A、C、F、H
	第3回	【テーマ】3学年の目標と模擬授業による問題解決学習 【計画内容】3年「風やゴムの働き」において、情報機器や視聴覚教材を活用した効果的な授業方法を学び、教材研究を深めます。 【授業時間外の学修内容】作成した指導案を基に授業の想定を予習する。	A、C、F、H	第11回	【テーマ】6学年の目標と指導案作成による問題解決学習 【計画内容】6年「水溶液」の問題解決的な学習指導案の作成の仕方を学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書や学習指導要領、理科実験ノートを予習する。	A、C、F、H
	第4回	【テーマ】4学年の目標と問題解決学習 【計画内容】4年「電気のはたらき」において、乾電池や光電池を使用した回路を作成して実験を行います。 【授業時間外の学修内容】教科書や学習指導要領、理科実験ノートを予習する。	A、C、F、H	第12回	【テーマ】6学年の目標と模擬授業による問題解決学習 【計画内容】6年「水溶液」において、情報機器や視聴覚教材を活用した効果的な授業方法を学び、教材研究を深めます。 【授業時間外の学修内容】作成した指導案を基に授業の想定を予習する。	A、C、F、H
	第5回	【テーマ】4学年の目標と指導案作成による問題解決学習 【計画内容】4年「電気のはたらき」の問題解決的な学習指導案の作成の仕方を学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書や学習指導要領、理科実験ノートを予習する。	A、C、F、H	第13回	【テーマ】身近にある施設を活用した環境学習～博物館授業①～ 【計画内容】大学の近くにある埋蔵文化財センターを活用し、北海道の昔の環境や気候の変化、動植物の変化などを調べたり、学芸員さんから直接お話を聞きます。 【授業時間外の学修内容】環境の変化·気候変動·動植物の変化といった事柄について、予習する。	A、D、K、M
	第6回	【テーマ】4学年の目標と模擬授業による問題解決学習 【計画内容】4年「電気のはたらき」において、情報機器や視聴覚教材を活用した効果的な授業方法を学び、教材研究を深めます。 【授業時間外の学修内容】作成した指導案を基に授業の想定を予習する。	A、C、F、H	第14回	【テーマ】身近にある施設を活用した環境学習～博物館授業②～ 【計画内容】埋蔵文化財センターで調べた北海道の昔の環境や気候の変化、動植物の変化などの情報を、インターネットなどを活用して、さらに詳しく調べレポートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】13回目に見学した内容から、自分が特定した要素について詳細に予習する。	A、D、K、M
	第7回	【テーマ】5学年の目標と問題解決学習 【計画内容】5年「ふりこのきまり」において、実際にふりこを作成して実験を行います。 【授業時間外の学修内容】教科書や学習指導要領、理科実験ノートを予習する。	A、C、F、H	第15回	【テーマ】理科指導法のまとめ 【計画内容】理科学習指導案作成のポイントや模擬授業での成果や課題を話し合い、問題解決学習についてレポートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】14回目までの理科実験ノート(実習の記録)を事前に負の帰っておく。	A、G、K、L
	第8回	【テーマ】5学年の目標と指導案作成による問題解決学習 【計画内容】5年「ふりこのきまり」の問題解決的な学習指導案の作成の仕方を学びます。 【授業時間外の学修内容】教科書や学習指導要領、理科実験ノートを予習する。	A、C、F、H			

テキスト	文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領　理科編』、東洋館 文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領解説 理科編』、東洋館
参考書	文科省検定教科書、各社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分		50%	20%	20%	10%	
	補足		模擬授業	指導案·レポート	模擬授業教材	模擬授業	

課題に関するフィードバックの方法	実習の記録を取っているため、毎時間ごとに集め、指導と評価を行う。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	類家斉、太田俊一／小学校教諭
		科目との関連	類家斉、太田俊一／小学校教諭の経験に基づく授業を展開する。

質問への対応	講義の中で行う。研究室来訪による対応も可能(類家研究室)
資格	[こ]小2種_選必
その他	

科目名	生活科指導法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	菊地　達夫				

授業の目的	
ねらい	本科目では、小学校生活科の目標、内容、役割（新小学校学習指導要領解説生活編）をふまえ、基本となる指導方法について、作業学習を取り入れ、体得しながら学習します。また、関連教科・機関との接続・連携についても、必要に応じて触れます。
到達目標	(1)生活科における基本的な指導方法（指導案作成を含む）について理解できる。 (2)幼稚園・保育所・認定こども園との接続・連携の在り方について理解できる。 (3)他教科（例：理科・社会科）等との接続・連携、合科的な指導について理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】授業の目的・到達目標・評価方法・参考文献について説明します。 【授業時間外の学修内容】指定教科書の第1章2「生活科改訂の趣旨及び要点」について一読しておくこと。	A	第9回	【テーマ】まち探検活動の事前指導 【計画内容】まち探検活動の事前活動について思考しながら学習します。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	A
第2回	【テーマ】生活科の目標・役割 【計画内容】生活科の目標とどのような役割をもつのか確認しながら学習します。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】まち探検活動の実際 【計画内容】まち探検活動を実際に行い、マップづくりのための情報収集をします。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	M
第3回	【テーマ】生活科の内容（第1階層） 【計画内容】内容(1)～(3)に関して、どのような学習対象・学習活動、思考・認識、能力・態度を育成するべきか、思考しながら学習します。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	A、K	第11回	【テーマ】まち探検活動の事後指導 【計画内容】情報収集した内容を中心として、まち探検マップを作成します。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	A、F
第4回	【テーマ】生活科の内容（第2階層） 【計画内容】内容(4)～(8)に関して、どのような学習対象・学習活動、思考・認識、能力・態度を育成するべきか、思考しながら学習します。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	A、K	第12回	【テーマ】接続・連携の視点 【計画内容】保育内容、他教科（同学年）、理科・社会科、総合的な学習の時間に、どのように接続・連携できるか、思考しながら学習します。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	A、K
第5回	【テーマ】生活科の内容（第3階層） 【計画内容】内容(9)に関して、どのような学習対象・学習活動、思考・認識、能力・態度を育成するべきか、思考しながら学習します。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	A、K	第13回	【テーマ】部分的模擬授業 【計画内容】短い時間を使った授業実践（応募者のみ）を行い、その授業について省察します。 【授業時間外の学修内容】参考図書等を手がかりに、関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	F、H
第6回	【テーマ】場面設定学習1（登下校の安全対策） 【計画内容】登下校の安全に関する学習活動について、体験的（情報機器の活用方法を含む）に学習します。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	A、J	第14回	【テーマ】まとめと確認 【計画内容】これまでの学習内容について確認します。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容についてよく復習しておくこと。	L
第7回	【テーマ】場面設定学習2（学校探検） 【計画内容】学校探検に関する学習活動について、体験的（情報機器の活用方法を含む）に学習します。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	A、J	第15回	【テーマ】まとめと整理 【計画内容】これまでの学習内容について重点事項を整理します。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容についてよく復習しておくこと。	A、K
第8回	【テーマ】場面設定学習3（動植物を活用した飼育・遊び） 【計画内容】動植物を活用した飼育活動、遊びについて思考しながら体験的（情報機器を活用しての提示を含む）に学習します。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領解説生活編の関係する学習内容（概要）について抑えておくこと。	A、J			

テキスト	文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領解説 生活編』、東洋館出版社
参考書	松本勝信編、2007年、『生活科教育の実践的理論とカリキュラム・授業』、現代教育社 後藤正人、2014年、『生活科で魅力ある学級づくり』、文渓堂

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分	50%		30%		20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	授業課題は、返却時に講評等を行う。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回授業時に説明します。
資格	[こ]小2種_選必
その他	模擬授業（第13回）は、希望者（数名）を募ります。詳細は、初回講義時に説明します。

科目名	音楽科指導法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	石田　敏明、橋本　卓三				

授業の目的	
ねらい	学習指導要領に基づいて、音楽教育を「どのようなねらい」で「どのような指導」を行うのかを把握した上で、教育の中で音楽科の果たす役割の重要性を考えます。音楽の面白さや楽しさを指導する留意点を学びます。また、歌唱・リコーダー・器楽合奏などの実技演習も行い、音楽の技能と表現力の向上を目指します。
到達目標	(1)小学校音楽科の目標・内容を理解することができる。 (2)音楽科の目標と内容に応じた指導計画・学習展開がわかる。 (3)指導技術を高めるために、教材研究を深め、歌唱や楽器を表現力豊かに演奏することができる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業の紹介をし、授業展開を説明します。(石田敏明) 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておくこと。これまで学習した楽典について復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】音楽科における情報機器の活用 【計画内容】音楽科教育における情報機器の効果的な活用と授業実践について学びます。(石田敏明) 【授業時間外の学修内容】テキスト第Ⅲ章5を読んでおくこと。	A、K
第2回	【テーマ】学習指導要領に示される音楽科の目標と内容 【計画内容】音楽教育の目標とねらいはどこにあるのか学びます。(石田敏明) 【授業時間外の学修内容】テキスト第Ⅰ章、第Ⅱ章1～3を読んでおくこと。	A、B、K	第10回	【テーマ】音楽科における評価 【計画内容】音楽科における評価の意義と観点について学びます。(石田敏明) 【授業時間外の学修内容】テキスト第Ⅲ章6を読んでおくこと。	A、K
第3回	【テーマ】学習指導要領に示される各学年の目標と内容 【計画内容】各学年の音楽教育の目標と内容を理解し、指導法について学びます。(石田敏明) 【授業時間外の学修内容】テキスト第Ⅱ章3・4を読んでおくこと。	A、E	第11回	【テーマ】学習指導案の作成 【計画内容】学習指導案を作成します。(石田敏明) 【授業時間外の学修内容】指導案の題材を考えておくこと。	B、K
第4回	【テーマ】歌唱の指導内容と教材研究 【計画内容】歌唱指導の基本と留意点を理解し、各学年の歌唱共通教材について学びます。(橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】テキスト第Ⅱ章5(歌唱分野)を読んでおくこと。	A、E、K	第12回	【テーマ】模擬授業(歌唱) 【計画内容】学習指導案をもとに模擬授業(歌唱)をおこない、成果と課題についてまとめます。(橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】模擬授業の準備をしっかりしておくこと。	B、K
第5回	【テーマ】器楽の指導内容と教材研究 【計画内容】器楽指導の基本と留意点を理解し、各学年の教材研究と楽器の実技演習をおこないます。(石田敏明) 【授業時間外の学修内容】テキスト第Ⅱ章(器楽分野)を読んでおくこと。	A、E、K	第13回	【テーマ】模擬授業(器楽) 【計画内容】学習指導案をもとに模擬授業(器楽)をおこない、成果と課題についてまとめます。(石田敏明) 【授業時間外の学修内容】模擬授業の準備をしっかりしておくこと。	B、K
第6回	【テーマ】音楽づくりの指導内容と教材研究 【計画内容】音楽づくり指導の基本と留意点を理解し、各学年の教材研究と授業実践について学びます。(橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】テキスト第Ⅱ章5(音楽づくり分野)を読んでおくこと。	A、E、K	第14回	【テーマ】模擬授業(鑑賞・音楽づくり) 【計画内容】学習指導案をもとに模擬授業(鑑賞・音楽づくり)をおこない、成果と課題についてまとめます。(橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】模擬授業の準備をしっかりしておくこと。	B、K
第7回	【テーマ】鑑賞の指導内容と教材研究 【計画内容】鑑賞指導の基本と留意点を理解し、各学年の教材研究と授業実践について学びます。(橋本卓三) 【授業時間外の学修内容】テキスト第Ⅱ章5(鑑賞)を読んでおくこと。	A、E、K	第15回	【テーマ】音楽科指導法のまとめと振り返り 【計画内容】授業のまとめと振り返りをおこない、音楽科指導法について整理します。(石田敏明) 【授業時間外の学修内容】講義内容をまとめ、課題曲を練習しておくこと。	E、L
第8回	【テーマ】授業設計と学習指導案について 【計画内容】音楽科の授業設計について理解し、学習指導案作成の意義と書き方について学びます。(石田敏明) 【授業時間外の学修内容】テキスト第Ⅲ章1～4を読んでおくこと。	A、B、K			

テキスト	有本真紀他、2019年、新版『教員養成課程小学校音楽科教育法』、教育芸術社、9784877888237 文部科学省、『小学校学習指導要領解説音楽編』、東洋館出版社、9784491034652
参考書	文部科学省、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社、9784491034607 初等科音楽教育研究会編、『最新初等科音楽教育法 改訂版』、音楽之友社、9784276821019

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	第15回で課題や学んだ内容を振り返りながら講評します。

実務経験と授業の関連		
	経験内容	
	科目との関連	

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[こ]小2種_選必
その他	小学校等で使用したソプラノリコーダーを用意してください。

科目名	図画工作科指導法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	入江　彩子				

授業の目的

ねらい	学習指導要領に示された小学校図画工作科について理解を深め、学年や実態に応じた用具・材料を選択し指導できるよう、図画工作科で扱う用具・材料について学びます。 また、教材研究や学習指導案について学習し、学習指導案の作成や作品制作、模擬授業を行います。
到達目標	(1)学習指導要領に示された小学校図画工作科の目標・内容を理解することができる。 (2)学年の発達に応じた用具・材料の選択、指導方法について理解を深めることができる。 (3)学習指導案を作成することができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】ガイダンス 【計画内容】講義概要、講義展開等について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。テキスト「小学校学習指導要領解説　図画工作編」の第1章を読んでおくこと。	A	第9回	【テーマ】指導計画・学習指導案について 【計画内容】指導計画・学習指導案について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを復習しておくこと。	A、B
第2回	【テーマ】小学校図画工作科について 【計画内容】「表現」、「図画工作科が教科として果たす役割」等について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを復習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】教材研究・作品制作・学習指導案の作成1 【計画内容】教材研究をし、学習指導案の作成、作品制作をします。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを復習しておくこと。	B、E
第3回	【テーマ】用具の使い方と指導について1 【計画内容】絵の具について知識を深め、絵の具・筆等の使い方や表現方法、指導方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを復習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】教材研究・作品制作・学習指導案の作成2 【計画内容】教材研究をし、学習指導案の作成、作品制作をします。 【授業時間外の学修内容】学習指導案と作品を完成させておくこと。	B、E
第4回	【テーマ】学習指導要領(低学年)、用具の使い方と指導について2 【計画内容】学習指導要領の第1学年及び第2学年の目標と内容について学習します。また、クレヨン・パスについて知識を深め、使い方や表現方法、指導方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを復習しておくこと。テキスト「第1学年及び第2学年の目標と内容」を読んでおくこと。	A	第12回	【テーマ】模擬授業・作品発表1 【計画内容】授業の展開について確認し、作成した学習指導案を基に、模擬授業と作品の発表を行います。 【授業時間外の学修内容】模擬授業と作品発表の準備をしておくこと。	F、K
第5回	【テーマ】学習指導要領(中学年)、用具の使い方と指導について3 【計画内容】学習指導要領の第3学年及び第4学年の目標と内容について学習します。また、主な描画材料とハサミの使い方や表現方法、指導方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを復習しておくこと。テキスト「第3学年及び第4学年の目標と内容」を読んでおくこと。	A	第13回	【テーマ】模擬授業・作品発表2 【計画内容】作成した学習指導案を基に、模擬授業と作品の発表を行います。 【授業時間外の学修内容】模擬授業と作品発表の準備をしておくこと。授業の記録が未完成の場合は完成させておくこと。	F、K
第6回	【テーマ】学習指導要領(高学年)、用具の使い方と指導について4 【計画内容】学習指導要領の第5学年及び第6学年の目標と内容について学習します。また、カッターナイフや小刀等の使い方や指導方法、表現方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを復習しておくこと。テキスト「第5学年及び第6学年の目標と内容」を読んでおくこと。	A	第14回	【テーマ】模擬授業・作品発表3、振り返り 【計画内容】作成した学習指導案を基に、模擬授業と作品の発表を行います。模擬授業と作品発表について振り返ります。 【授業時間外の学修内容】模擬授業と作品発表の準備をしておくこと。授業の記録が未完成の場合は完成させておくこと。	F、K、L
第7回	【テーマ】図画工作科の材料・活動内容1 【計画内容】紙について知識を深めます。また、低学年が使用する材料について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを復習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】図画工作科の活動内容、演習、全体の振り返りとまとめ 【計画内容】様々な実践例から図画工作科の活動内容の知識を深めます。また、絵画や工作等の教材を制作します。講義を振り返り、全体のまとめを行います。 【授業時間外の学修内容】授業の記録が未完成の場合は完成させておくこと。	B、L
第8回	【テーマ】図画工作科の材料・活動内容2 【計画内容】粘土について知識を深めます。また、中・高学年が使用する材料と ICT の活用について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付されたプリントを復習しておくこと。	A			

テキスト	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説　図画工作編』、日本文教出版
参考書	プリントを使用します

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			40%	40%	20%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	第12回～14回で、課題(指導案・作品)の講評をします。

実務経験と授業の関連

経験内容	
科目との関連	

質問への対応	初回講義時に説明します。
資格	[こ]小2種_選必
その他	準備する物：テキスト、用具セット(※絵の具セットは使用しません。)

科目名	家庭科指導法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	角田　成子				

授業の目的		
	ねらい	小学校家庭科学習指導要領においては、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習や、各内容間・他教科等との関連を重視していることから、実際に教材を作成したり、実生活で実践したりして、家庭科における指導内容・方法の工夫について研究します。特に、「衣食住の生活」の内容と他内容、他教科・他領域との関連した学習では、課題解決の過程を重視した指導案作成や模擬授業を実施し、指導力を高めます。
	到達目標	(1)家庭科の目標と指導内容が理解できる。 (2)目標および指導内容の取扱いに即した指導計画や学習展開を考えることができる。 (3)模擬授業を通して児童の課題解決を目指した授業についての理解を深めることができる。 (4)他教科・他領域と関連した指導内容・方法を理解し、工夫することができる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】オリエンテーション及び課題をもって工夫する「衣生活」の指導① 【計画内容】学習指導要領の指導内容の重点ついて理解し、指導過程(計画・実践・振り返り)と指導の工夫について学び合います。 【授業時間外の学修内容】シラバスや学習指導要領を事前に読んでおくこと。	A、B、K	第9回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「消費生活・環境」の指導① 【計画内容】自立した消費者の育成について理解するための情報活用や、購入する物を中心に情報機器を使った学習指導案を作成し交流します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す課題に取り組むこと。	A、F、H
	第2回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「衣生活」の指導② 【計画内容】衣服の着用と手入れの学習過程と展開について理解し、生活を豊かにするための製作①(ミシン)を通して基礎的な知識・技能についての指導力を高めます。 【授業時間外の学修内容】前回の配付したプリントを読んでおくこと。	A、D、K	第10回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「消費生活・環境」の指導② 【計画内容】家族の一員としての朝食づくりに係る買い物計画を課題に、学習指導案作成や模擬授業を交流します。 【授業時間外の学修内容】前回のプリントの課題に取り組むこと。	A、F、H、L
	第3回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「衣生活」の指導③ 【計画内容】生活を豊かにするための製作②と作品製作後の評価活動について学び合います。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントのポイントを整理しておくこと。	A、D、H、K	第11回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「家族・家庭生活」の指導① 【計画内容】家庭科の3つの内容間の関連を図った授業構築について学び合い、評価活動についての指導力を高めます。 【授業時間外の学修内容】テキストの指定したページを読んで予習しておくこと。	A、B、H、K
	第4回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「食生活」の指導① 【計画内容】調理実習における基礎的知識・技能を理解し、「健康・快適・安全」の視点からその指導と工夫について学び合います。 【授業時間外の学修内容】前回のプリントの内容を復習しておくこと。	A、N、K	第12回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「家族・家庭生活」の指導② 【計画内容】栄養のバランスを考えた家族の朝食を考え、実践することから指導力を高め合います。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを復習しておくこと。	A、D、K
	第5回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「食生活」の指導② 【計画内容】五大栄養素のはたらきや食品群についての理解を深め、実習を通して日本の伝統的な食事について指導の工夫を学びます。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントの内容を復習しておくこと。	A、D	第13回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「家族・家庭生活」の指導③ 【計画内容】家族の一員として、地域の一員としての役割を意識した指導案作成と交流活動を行います。 【授業時間外の学修内容】プリントの課題について予習しておくこと。	A、F、K、L
	第6回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「食生活」の指導③ 【計画内容】生活を豊かにするための食育について振り返り、実習場面での評価活動について学び合います。 【授業時間外の学修内容】前回の講義のポイントについて復習しておくこと。	A、K、L	第14回	【テーマ】他教科・他領域との関連と深い学びへ向けてICTを活用した指導の工夫 【計画内容】日常の生活を振り返り、課題を見付けて解決していくために情報を収集して、ICTを活用した模擬授業を構築し交流します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントを予習しておくこと。	A、F、K
	第7回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「住生活」の指導① 【計画内容】エコライフレポートを資料に振り返り、省エネ行動についての模擬授業から学び合います。 【授業時間外の学修内容】指定したテキストの個所を読んでおくこと。	A、B、K	第15回	【テーマ】家庭科指導法のまとめ 【計画内容】家庭科における基礎的知識・技能について、問題解決学習における模擬授業での成果と課題についてまとめます。 【授業時間外の学修内容】まとめのプリントについての理解を深めておくこと。	A、B、L
	第8回	【テーマ】課題をもって考え、工夫する「住生活」の指導② 【計画内容】季節に合わせた住まい方(日本の伝統的な生活)を取り入れた学習指導案作成や模擬授業を交流します。 【授業時間外の学修内容】配付したプリントの復習をしておくこと。	A、B、H、L			

テキスト	浜島京子、岡陽子ほか、2020年、『5・6新しい家庭』、東京書籍 鳴海多恵子、石井克枝ほか、2020年、『5・6小学校わたしたちの家庭科』、開隆堂
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説家庭科編』、東洋館

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			40%	20%	40%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法			
実務経験と授業の関連	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭の経験に基づく授業を展開する。
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。		
資格	[こ]小2種_選必		
その他			

科目名	体育科指導法	授業形態	講義	単位数	2
教員名	長尾　明也				

授業の目的	
ねらい	小学校学習指導要領に基づき、小学校における体育科の目標及び内容、指導計画、指導方法について学びます。また、模擬授業の実施とその振り返りを通じて、実践的な指導力の向上を目指します。
到達目標	(1)小学校体育科の目標及び指導内容が理解できる。 (2)目標及び内容に適した指導計画や学習展開を考えることができる。 (3)学年の発達に応じた指導方法を工夫することができる。 (4)体育科における問題解決学習の在り方について理解できる。

授業の計画						
第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】到達目標や授業展開、評価方法などについて説明して授業の全体について概観します。 【授業時間外の学修内容】学習指導要領総則を予習しておく。	A	第9回	【テーマ】各運動領域における授業づくり④ 【計画内容】表現運動系、保健領域の授業づくりにおいて、ICT の活用など効果的な指導方法の在り方について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K
第2回	【テーマ】児童の発達と今日的課題 【計画内容】児童の体力低下の要因と体育科の役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】教材研究及び指導案作成① 【計画内容】グループ(運動領域)毎に、運動の特性や発達の段階などに応じた単元計画を作成します。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	B、H
第3回	【テーマ】体育科の目標及び運動領域の内容 【計画内容】児童の体力低下の要因と体育科の役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K	第11回	【テーマ】教材研究及び指導案作成② 【計画内容】グループ(運動領域)毎に、児童の主体的な学びを保障する本時案を作成します。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	B、H
第4回	【テーマ】体育科における指導計画の作成と授業づくり 【計画内容】指導計画作成上の留意点や運動することの楽しさを味わう授業づくりについて学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K	第12回	【テーマ】模擬授業(低学年) 【計画内容】模擬授業を行い、発達の段階を踏まえた指導のポイントを実践的に学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	B、L
第5回	【テーマ】体育科における学習評価 【計画内容】目標に準拠した評価など、指導に活かす評価について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K	第13回	【テーマ】模擬授業(中学年) 【計画内容】模擬授業を行い、発達の段階を踏まえた指導のポイントを実践的に学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	B、L
第6回	【テーマ】各運動領域における授業づくり① 【計画内容】体つくり運動、器械運動系の授業づくりにおいて、ICT の活用など効果的な指導方法の在り方について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K	第14回	【テーマ】模擬授業(高学年) 【計画内容】模擬授業を行い、発達の段階を踏まえた指導のポイントを実践的に学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	B、L
第7回	【テーマ】各運動領域における授業づくり② 【計画内容】陸上運動系、水泳系の授業づくりにおいて、ICT の活用など効果的な指導方法の在り方について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】講義の成果と課題を明確にします。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業で学習したことを、まとめておくこと。	A、L
第8回	【テーマ】各運動領域における授業づくり③ 【計画内容】ボール運動系の授業づくりにおいて、ICT の活用など効果的な指導方法の在り方について学びます。 【授業時間外の学修内容】前回の講義内容を復習して理解しておくこと。	A、K			

テキスト	プリントを使用します
参考書	文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領解説 体育編』、東洋館出版社

成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分		35%	35%		30%	
補足		模擬授業	レポート			

課題に関するフィードバックの方法	

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭の経験に基づく授業を展開する。

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[こ]小2種_選必
その他	

科目名	英語科指導法	授業形態	講義	単位数	1
教員名	類家　斉				

授業の目的		
	ねらい	外国語活動・外国語科における指導法について、指導に必要な要素を適切に構成した指導計画・指導案等を作成することができることを到達目的としている。そのために、指導に必要な内容や活動について具体的な体験を通して十分に理解し、映像資料等で児童の実態を視聴することでより実践的な計画及び案に結び付ける。
	到達目標	(1)小学校において外国語教育を指導するために必要な基本的な知識等を身に付ける。 (2)上記(1)到達目標を達成するために、指導の在り方・評価の在り方についての知識と理解を深める。 (3)上記(1)到達目標を達成するために、各学年の学習目標を正しく理解し、指導計画・単元計画・学習指導案を作成することができる。

授業の計画			
	第1回	【テーマ】授業実践に必要な知識・理解・技能①(児童とのやり取りの進め方) 【計画内容】児童の意欲的な発話の引き出し方、児童とのやりとりの進め方について、講義を通して学ぶとともに、実際の小学校における外国語活動及び、外国語科の授業映像視聴を通して、その在り方について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】文部科学省提示の動画(ユーチューブ)を事前に視聴する。動画の指定は無い。	A、J
	第2回	【テーマ】授業実践に必要な知識・理解・技能②(読む・書く指導) 【計画内容】児童の読む活動、書く活動への導き方・指導展開の在り方について、講義を通して理解するとともに、実際の小学校における外国語活動及び、外国語科の授業映像視聴を通して理解を深める。 【授業時間外の学修内容】文部科学省のホームページに示されている指導事例を事前に読む。指導案の特定はない。	A、J
	第3回	【テーマ】授業実践に必要な知識・理解・技能③(教材活用の実際) 【計画内容】文部科学省の示す教材及び各教科書等で示されている教材の活用の仕方について、実際の小学校における外国語活動及び、外国語科の授業映像視聴を通して理解を深めつつ、同時に情報機器を個々で操作し情報機器の操作および教材等の活用についての理解を深め習熟を図る。 【授業時間外の学修内容】講義で使用する冊子のウエブサイトにある音声教材等を事前に操作してみる。	A、B、J
	第4回	【テーマ】授業実践に必要な知識・理解・技能④(年間指導計画・単元計画作成の仕方) 【計画内容】小学校外国語活動及び、外国語科の年間指導計画・単元計画の作成について、講義を通して理解するとともに、単元計画案例を作成する課題を通して理解を深める。 【授業時間外の学修内容】文部科学省外国語研修ブックから単元計画にかかわる箇所を事前に読む。	A、B
	第5回	【テーマ】授業実践に必要な知識・理解・技能⑤(外国語科・外国語活動の授業づくり) 【計画内容】外国語科・外国語活動の一単位時間の授業づくりについて、講義を通して理解するとともに、実際の指導案を通して理解を深める。 【授業時間外の学修内容】講義で配付済みの指導案について、その特徴と思われる箇所を考察してくる。	A、B
	第6回	【テーマ】授業実践に必要な知識・理解・技能⑥(外国語科・外国語活動の授業づくりの実際) 【計画内容】外国語活動及び外国語活動の一単位時間の授業づくりについて、講義を通して理解するとともに、実際の指導案作成を通して理解を深める。 【授業時間外の学修内容】第5回講義の内容を加味し、教材としてある指導案の要点を再考してくる。	A、B
	第7回	【テーマ】授業実践に必要な知識・理解・技能⑦(模擬授業・作成指導案についての考察) 【計画内容】作成した小学校外国語活動及び外国語の一単位時間の授業の指導案をもとに模擬授業を行い、解説や講評・相互評価を通して、小学校における外国語教育の指導の在り方について考察する。 【授業時間外の学修内容】模擬授業幼指導案を作成する。	B、E
	第8回	【テーマ】授業実践に必要な知識・理解⑩(まとめと振り返り) 【計画内容】これまでの授業について自身の学習を振り返るとともに、児童の意欲を喚起する授業の在り方についてという観点で、討議を通して再考察する。 【授業時間外の学修内容】児童の意欲を喚起する要素について、事前考察をする。	A

テキスト	文部科学省、2018年、『児童用冊子3.　4年生用』 文部科学省、2018年、『指導書・教材・ワークシート』 2020年、『ニューホライズン　エレメンタリー』、東京書籍
参考書	札幌市教育委員会、2020年、『指導の手引き(外国語関係)』 文部科学省、2017年、『小学校学習指導要領』 文部科学省、2018年、『研修ガイドブック』

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%	30%	30%		10%	
	補足						

課題に関するフィードバックの方法	講義毎に課す課題への指導・評価・評定を行い、学生にフィードバックする。

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	小学校教諭の経験に基づき授業を展開する。

質問への対応	講義の中で受けるが、研究室への来訪にも対応する。
資格	[こ]小2種_選必
その他	

科目名	生徒指導(進路指導を含む)	授業形態	講義	単位数	2
教員名	荒川　巌				

授業の目的		
	ねらい	生徒指導は、児童の人格の健全な育成を図るため、全ての教育活動において行われるものです。非行や問題行動への対応など生徒指導の消極的な側面ばかりでなく、多くの教育活動における子どもの生徒指導の積極的な側面における望ましい生徒指導及び進路指導を学びます。小学校教育の各発達段階における、生徒指導や進路指導のあり方を学ぶとともにそれを推進するための資質や態度について学びます。
	到達目標	(1)子どもが置かれている現状について興味を持って調べることができる。 (2)子どもをめぐる今日的な課題について、多様な解決策を考えることができる。 (3)個に応じた望ましい生徒指導ができる。 (4)児童理解のあり方がわかる。

授業の計画						
	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】講義概要、受講の心得、講義の進め方、グループ編成、評価方法等。 【授業時間外の学修内容】次回のテーマと事例を読み、自分の経験や考えをまとめておくこと	A	第9回	【テーマ】問題行動の理解と対応及び指導① 【計画内容】個別の課題を抱える児童生徒への指導(いじめの実態と対処法)を学びます。 【授業時間外の学修内容】これまでに体験した「いじめ」とその対処法について調べておくこと。	H
	第2回	【テーマ】生徒指導の基本原理 【計画内容】生徒指導の範囲、生徒指導と進路指導とのかかわりについて学びます。 【授業時間外の学修内容】私が受けた生徒指導と進路指導の具体例を思い出しておくこと。	K	第10回	【テーマ】問題行動の理解と対応及び指導② 【計画内容】個別の課題を抱える児童生徒への指導(不登校の実態と対処法)を学びます。 【授業時間外の学修内容】学校基本調査の結果や報道資料等を基に、不登校の実態を調べておくこと。	H
	第3回	【テーマ】進路指導及びキャリア教育の基本原理 【計画内容】進路指導及びキャリア教育の目的や意義、視点と指導の在り方について学ぶとともに、教職員や関係機関との組織的連携の重要性について学びます。 【授業時間外の学修内容】自分が経験したキャリア教育(インターンシップを含む)を想起し、自分の進路に与えた影響を考えておくこと。	K	第11回	【テーマ】小学校低学年段階における進路指導及びキャリア教育のあり方 【計画内容】小学校低学年における進路指導及びキャリア教育の実践例からカリキュラム・マネジメントと全体指導を行うガイダンス機能を生かした授業の実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】小学校低学年の段階でふれあう周りの大人や地域環境について想像し、配付資料を参考にキャリア教育への可能性を考えておくこと。	H
	第4回	【テーマ】小学校教育と生徒指導 【計画内容】生徒指導と各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動などとの関連。 【授業時間外の学修内容】小学校学習指導要領で生徒指導が触れられているところを調べておくこと。	H	第12回	【テーマ】小学校中学年段階における進路指導及びキャリア教育のあり方 【計画内容】小学校中学年における進路指導及びキャリア教育の実践例からカリキュラム・マネジメントと校内外の組織作り及び授業の実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】小学校中学年の段階でふれあう周りの大人や地域環境について想像し、配付資料を参考にキャリア教育への可能性を考えておくこと。	H
	第5回	【テーマ】学校における生徒指導体制のあり方・校務分掌間の連携 【計画内容】学校に於ける生徒指導の指導体制について学びます。 【授業時間外の学修内容】校務分掌から、生徒指導がどのように行われているか資料を収集しておくこと。	A、K	第13回	【テーマ】小学校高学年段階における進路指導及びキャリア教育のあり方 【計画内容】小学校高学年における進路指導及びキャリア教育の実践例からカリキュラム・マネジメントとポートフォリオを活用した授業の実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】小学校高学年の段階でふれあう周りの大人や地域環境について想像し、配付資料を参考にキャリア教育への可能性を考えておくこと。	H
	第6回	【テーマ】児童の心理と児童理解の基本 【計画内容】児童理解の実際を学びます。 【授業時間外の学修内容】児童理解の方法を資料を見ながら考察しておくこと。	A、K	第14回	【テーマ】生徒指導の危機管理 【計画内容】学校と家庭、地域社会や関係機関との連携について学びます。 【授業時間外の学修内容】学校での事故における危機管理を想起し、配付資料を参考に必要な対策を考えておくこと。	A、K
	第7回	【テーマ】教育相談の実際とカウンセリングの基礎知識 【計画内容】教育相談における担任教師の役割と教師間の連携、カウンセリングの基礎知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】自分の受けた教育相談の実際を調べておくこと。	K、H	第15回	【テーマ】生徒指導のまとめと振り返り 【計画内容】生徒指導の成果と課題を明確にします。 【授業時間外の学修内容】講義全体を振り返っておくこと。	A、K
	第8回	【テーマ】生徒指導の今日的課題と問題行動 【計画内容】生徒指導の今日的な課題を学びます。 【授業時間外の学修内容】生徒指導の課題をメディアから調べておくこと。	A、K			

テキスト	文部科学省、2008年、『生徒指導提要』、教育図書
参考書	プリントを使用します 文部科学省、2018年、『小学校学習指導要領』、東洋館出版社

成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分			30%		40%	30%
	補足			レポート・事例研究			講義記録

課題に関するフィードバックの方法	毎回記入する振り返りシートへのコメント

実務経験と授業の関連			
	該当	経験内容	小学校教諭
		科目との関連	生徒指導の具体場面と児童理解及び指導の実際について

質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。
資格	[こ]小2種_必修
その他	学習指導と生徒指導は皆さんのこれまでの学校生活の中心をなしてきたことですが、学習指導以外で学んだことも非常に多く、現在のあなたを形づくる一部になっているはずです。幼稚園から高校までの生活を振り返り、教科の学習以外で学んだことを思い起こしてください。

科目名	小学校教育授業研究	授業形態	講義	単位数	2
教員名	高橋　さおり、荒川　巌、菊地　達夫、類家　斉				

授業の目的

ねらい	小学校教科「国語」「社会」「算数」「理科」の学習指導案の作成および模擬授業の実践、さらに、相互分析・検討を通して、より良い授業を構築するための構想力・展開力・評価力（省察力）を高める。
到達目標	(1)学習指導案の作成・分析、模擬授業の実践・分析を通して、授業の構想および展開する力を高めることができる。 (2)模擬授業の実践・分析・検討を通して、省察力を高めることができる。

授業の計画

第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】授業のねらい、到達目標、授業計画、成績処理方法、参考文献について説明します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容をよく読んでおくこと。教育実習で実践した授業のふりかえりを行っておくこと。	A、L	第9回	【テーマ】学習指導案の作成・分析④ 【計画内容】学習指導案の作成や分析を行います。(高橋) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L
第2回	【テーマ】授業づくり、教材研究の意義について 【計画内容】授業づくりの基本について説明し、教材研究の意義について考えます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	A、H、L	第10回	【テーマ】授業実践・検討④ 【計画内容】模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析・検討を行います。(高橋) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L
第3回	【テーマ】学習指導案の作成・分析① 【計画内容】学習指導案の作成や分析を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L	第11回	【テーマ】学習指導案の作成・分析⑤ 【計画内容】学習指導案の作成や分析を行います。(荒川) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L
第4回	【テーマ】授業実践・検討① 【計画内容】模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析・検討を行います。(全教員) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L	第12回	【テーマ】授業実践・検討⑤ 【計画内容】模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析・検討を行います。(荒川) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L
第5回	【テーマ】学習指導案の作成・分析② 【計画内容】学習指導案の作成や分析を行います。(菊地) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L	第13回	【テーマ】授業の構想① 【計画内容】授業実践を振り返り、授業計画の修正・改善について再検討します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容について十分整理(振り返り)しておくこと。	H、L
第6回	【テーマ】授業実践・検討② 【計画内容】模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析・検討を行います。(菊地) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L	第14回	【テーマ】授業の構想② 【計画内容】授業実践を振り返り、授業計画の修正・改善について再検討します。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容について十分整理(振り返り)しておくこと。	H、L
第7回	【テーマ】学習指導案の作成・分析③ 【計画内容】学習指導案の作成や分析を行います。(類家) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L	第15回	【テーマ】授業の振り返り 【計画内容】授業の計画・実践・省察を通して、授業構想について理解を深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容について十分整理(振り返り)しておくこと。	L
第8回	【テーマ】授業実践・検討③ 【計画内容】模擬授業の実践・分析や公開授業の参観・分析・検討を行います。(類家) 【授業時間外の学修内容】参考書等を活用しながら、関連内容について予習しておくこと。	B、H、L			

テキスト	文部科学省、『小学校学習指導要領解説』、東洋館出版社
参考書	適宜、担当者から教科指導に向けた資料・図書を紹介します。

成績評価の方法

	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
配分			70%		30%	
補足						

課題に関するフィードバックの方法	授業内で課す中間課題等については随時講評します。

実務経験と授業の関連	該当	経験内容	荒川巌、類家斉／小学校教諭
		科目との関連	荒川巌、類家斉／小学校教諭の経験に基づく授業を展開する。

質問への対応	初回授業時に具体的に説明します。
資格	
その他	1年次科目「小学校教育教材研究」からの継続的な履修が望ましいです。 学外の授業研究会等へ参加する場合があります。

講義要綱

SYLLABUS

短期大学部　2 年次

2020年 4 月　発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511　江別市文京台23番地
TEL（011）386－8011
FAX（011）387－1542